

---

---

鳴門市  
子育てに関するアンケート調査

---

---

調査結果報告書



鳴門市マスコットキャラクター  
「うずひめちゃん」 & 「うずしお君」

平成31年3月

鳴門市

# 目次

I 調査の概要	1
II 調査結果《就学前児童》	3
あて名のお子さんご家族の状況	3
子どもの育ちをめぐる環境	7
保護者の就労状況	14
平日の定期的な教育・保育事業の利用	25
地域の子育て支援事業の利用状況	32
土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用	39
希望について	43
「幼児教育・保育無償化」	43
病気の際の対応	46
不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用	52
小学校就学後の放課後の過ごし方	61
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度	70
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	81
行政への要望	84
III 調査結果《小学生児童》	86
受け取られたお子さんご家族の状況について	87
子どもの育ちをめぐる環境について	90
保護者の就労状況について	96
病気の際の対応について	103
不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用	108
放課後の過ごし方について	114
育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	122
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について	132
行政への要望	135
IV 自由記載	137

## I 調査の概要

# 1 調査の目的

本調査は、平成32年度(2020)に策定する「第2期鳴門市子ども・子育て支援事業計画の基礎資料として、教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握し、本市で確保すべき教育・保育・子育て支援に関する「量の見込み」を算出するため、鳴門市内の就学前児童・小学生児童の保護者の方を対象にアンケート(ニーズ)調査として実施しました。

## 2 調査概要

- (1)調査地域：鳴門市全域
- (2)調査対象者：①就学前児童 鳴門市内在住の0～6歳の未就学の子どもがいる世帯  
(対象児童数2,594人：平成30年9月30日現在)  
②小学生児童 鳴門市内の小学校に通う1～3年生の子どもがいる世帯  
(対象児童数1,260人：平成30年9月30日現在)
- (3)抽出方法：住民基本台帳より、対象児童のいる世帯を全数調査
- (4)調査時期：平成31年1月7日～1月21日
- (5)調査方法：郵送と学校配布、郵送回収による郵送調査法

調査票	調査対象世帯数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,804世帯	889	49.3%
小学生児童	1,260世帯	483	38.3%

## 3 報告書の見方

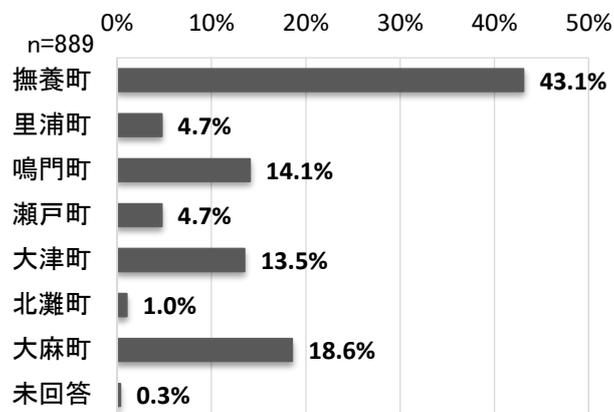
- ・回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100%にならない場合があります。このことは、本報告書の分析文章、グラフ及び表においても反映しています。
- ・複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- ・グラフ及び表中に「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・グラフ及び表中のn(number of case)は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を現しています。

## Ⅱ 調査結果

## あて名のお子さんご家族の状況についておうかがいします

問1 お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

地区別に世帯の居住状況をみると、上位から「撫養町」43.1%、「大麻町」18.6%、「鳴門町」14.1%となっています。

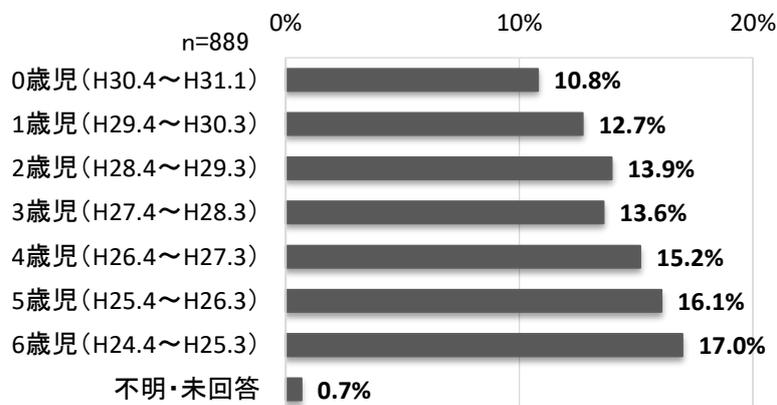


問2 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。(数量回答)

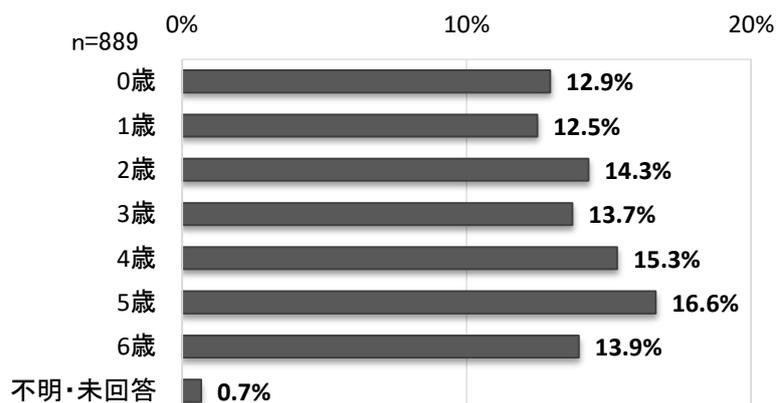
対象の子どもの年齢は、上位から「6歳児」17.0%、「5歳児」16.1%、「4歳児」15.2%となっています。下は0歳児10.8%から年齢ごとに多くなり、6歳児17.0%との差は僅か6.2ポイントで、まんべんなく分布しています。

3歳未満は37.4%、3歳以上は61.9%となっています。

●子どもの年齢 (平成30年4月起算)



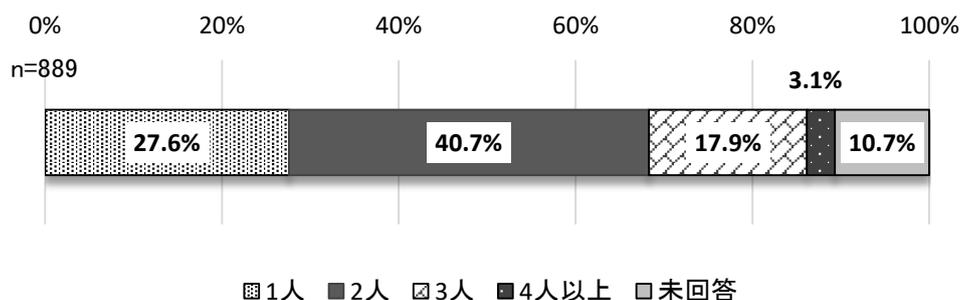
(参考) 子どもの年齢 (平成31年1月現在)



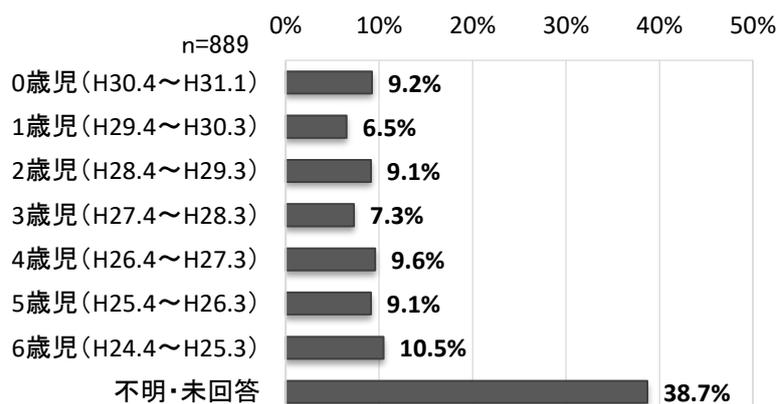
問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年少のお子様の生年月月をご記入ください。(数量回答)

子どもの人数は、上位から「2人」40.7%、「1人」27.6%、「3人」17.9%となっています。子どもが二人以上いる場合の末子の年齢は、「6歳児」10.5%で最も高く、「0歳児」から「5歳児」まで全て1割弱となっています。「0歳児」は9.2%となっています。3歳未満は24.8%、3歳以上は36.5%となっています。

●子どもの数

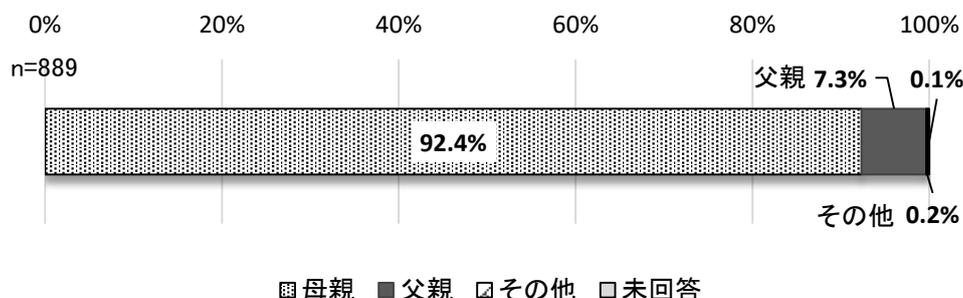


●子どもが二人以上の場合の末子の年齢（平成30年4月起算）



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた見た関係でお答えください。(1つに○)

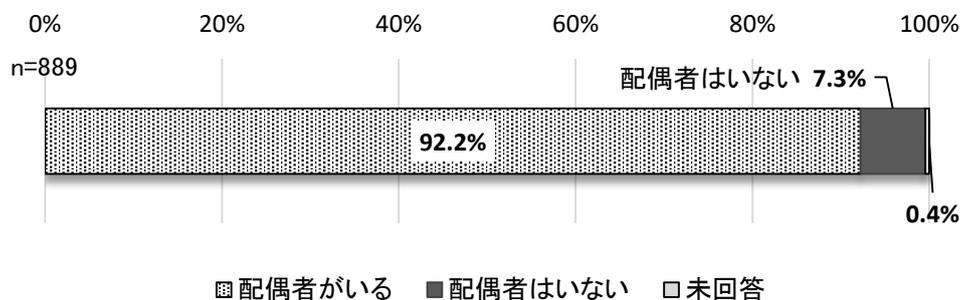
回答者は、「母親」92.4%でほとんどを占めています。「父親」は7.3%となっています。



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

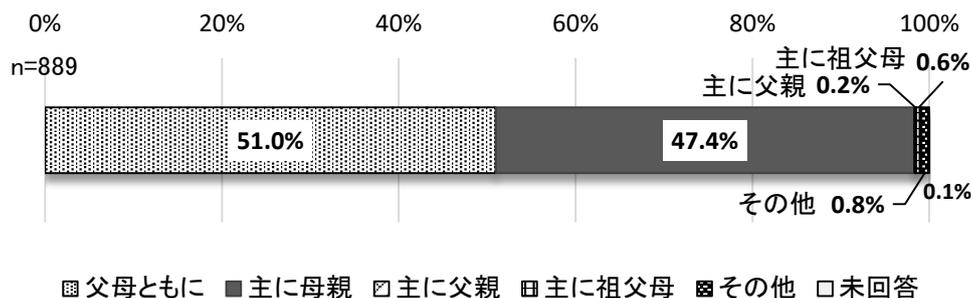
(1つに○)

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」92.2%でほとんどを占めています。「配偶者がいない」は7.3%となっています。



問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた見た関係でお答えください。(1つに○)

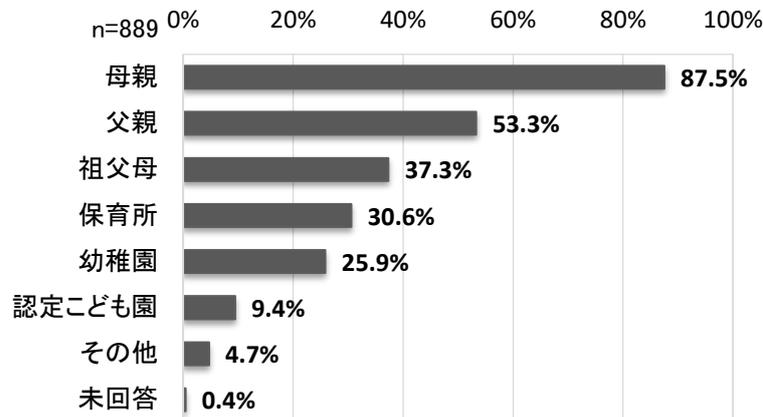
子育てを行っている方は、「父母ともに」51.0%、次いで「主に母親」47.4%となっています。



## 子どもの育ちをめぐる環境についておうかがいします

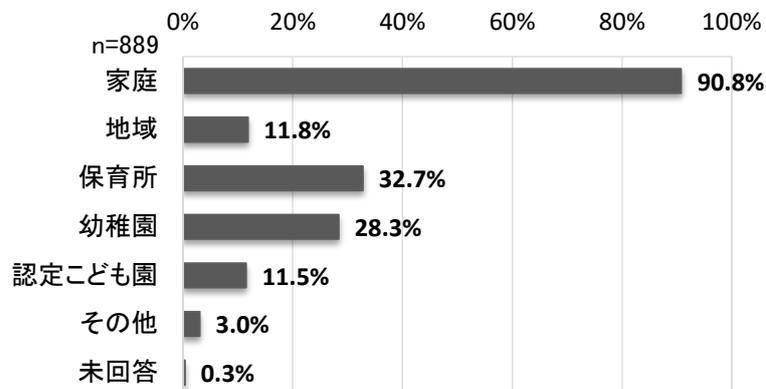
問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんから見た関係でお答えください。(あてはまるものすべてに○)

日常的に子育てに関わっている方は、「母親」87.5%と最も高く、次いで「父親」53.3%、「祖父母」37.3%となっています。



問8 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に、最も影響すると思われる環境についてお答えください(あてはまるものすべてに○)

子育てに最も影響すると思われる環境は、「家庭」90.8%と最も高く、次いで「保育所」32.7%、「幼稚園」28.3%となっています。

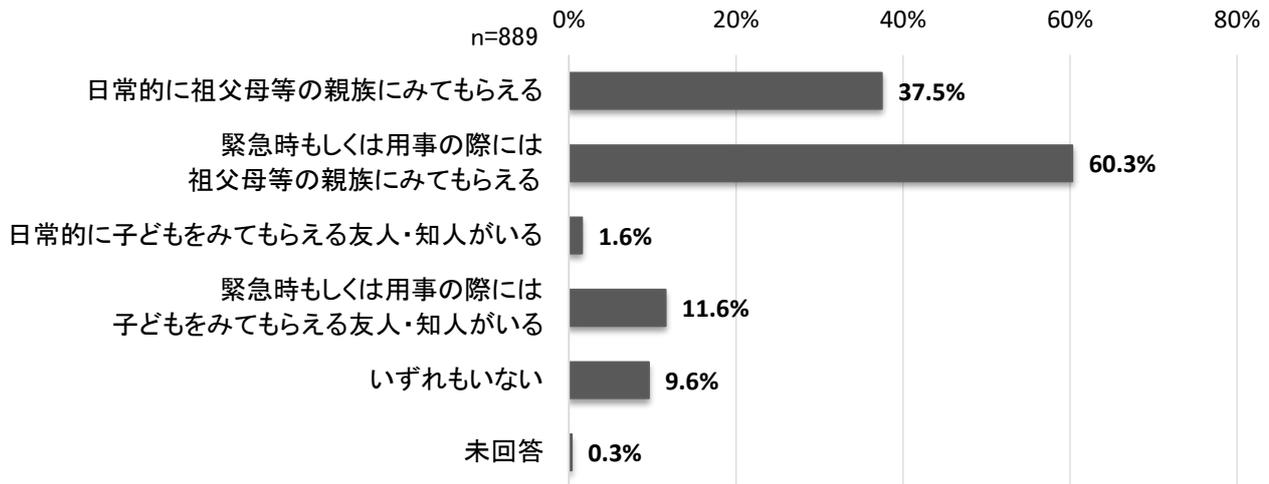


問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

■みてもらえる人の有無（あてはまるものすべてに○）

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際は祖父母などの親族にみてもらえる」60.3%、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」37.5%となっています。

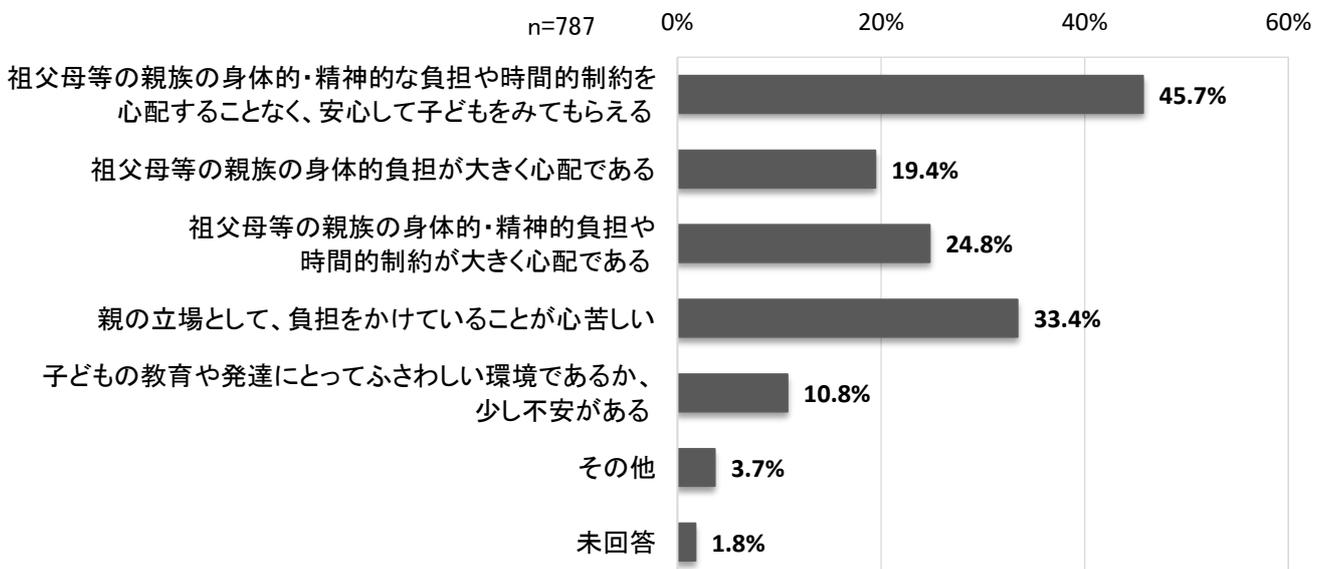
また、「いずれもない」は9.6%となっています。



■祖父母等の親族にみてもらっている状況（あてはまるものすべてに○）

※「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた方

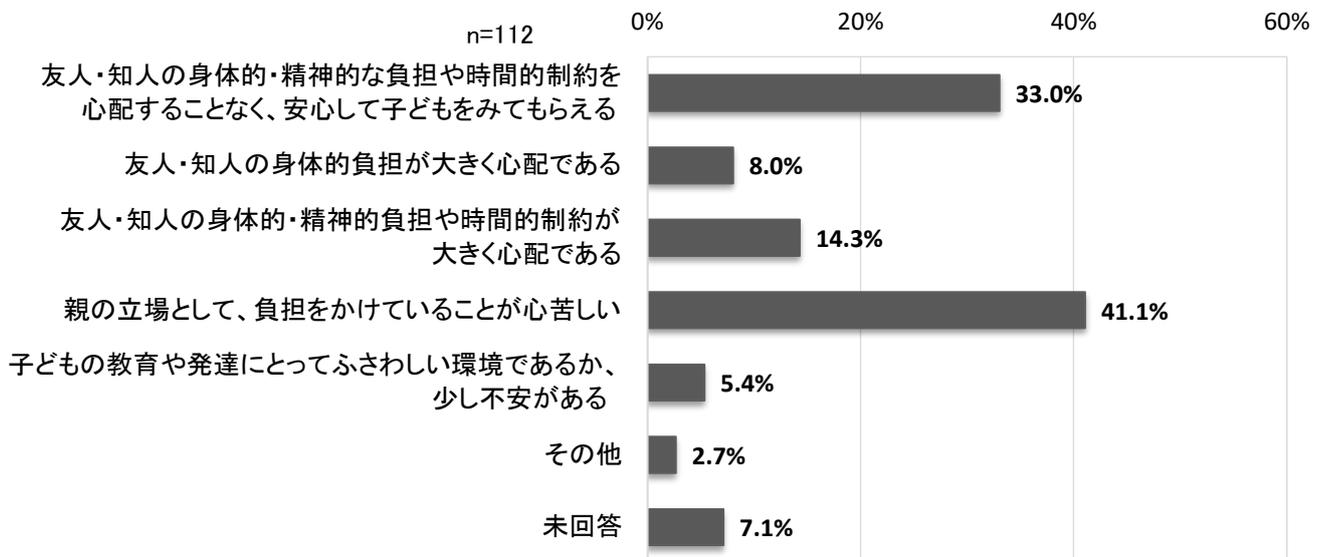
祖父母などの親族にみてもらっている状況は、上位から「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」45.7%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」33.4%、「祖父母などの親族の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」24.8%となっています。



■友人・知人にみてもらっている状況（あてはまるものすべてに○）

※「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と答えた方

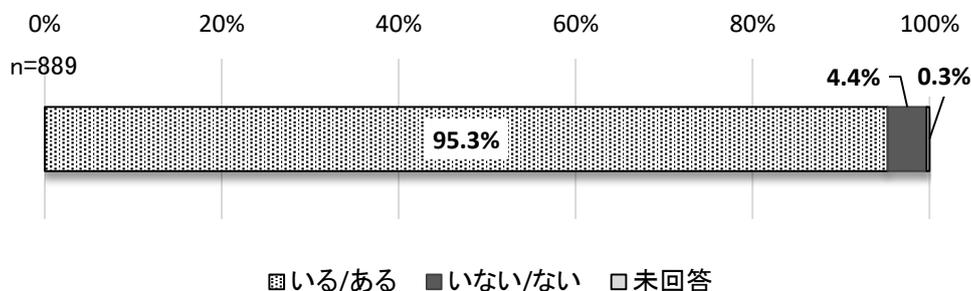
友人・知人にみてもらっている状況は、上位から「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」41.1%、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」33.0%、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約が大きく心配である」14.3%となっています。



問10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

■相談先の有無（1つに○）

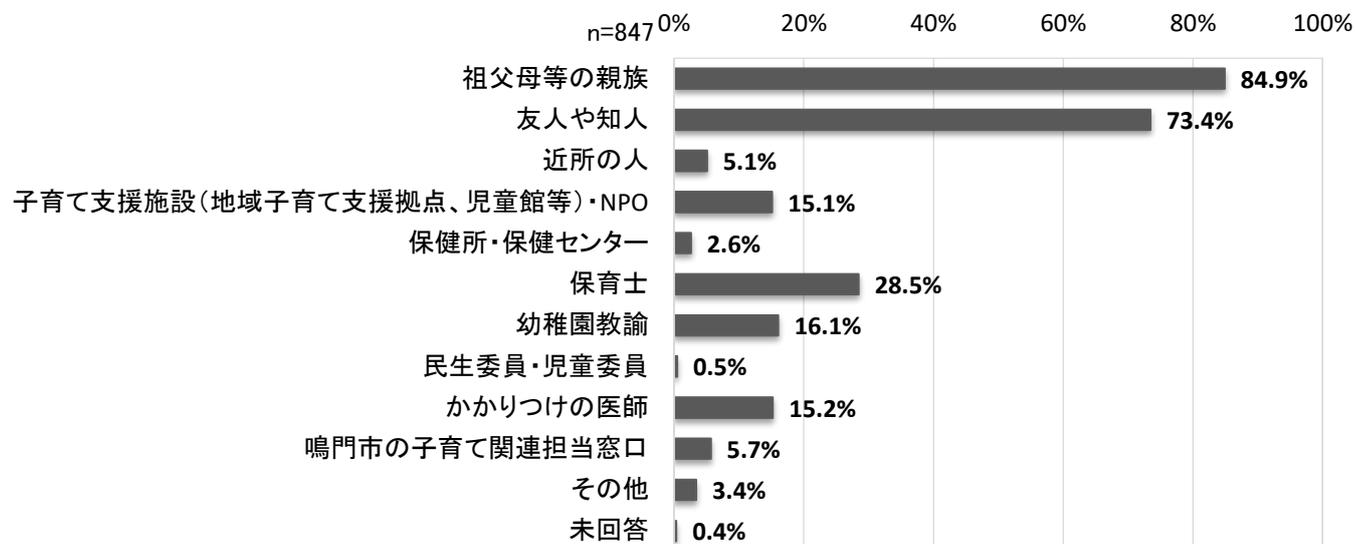
相談先の有無は、「いる／ある」95.3%でほとんどを占めています。「いない／ない」は4.4%となっています。



■相談相手（場所）（あてはまるものすべてに○）

※「1. いる／ある」と答えた方

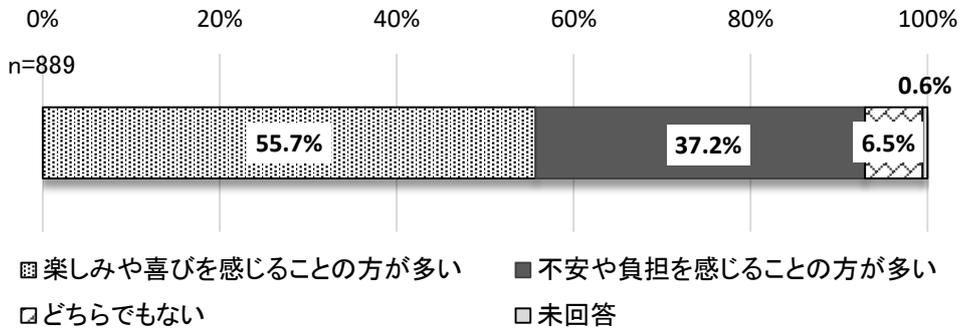
気軽に相談できる先は、上位から「祖父母などの親族」84.9%、「友人や知人」73.4%、「保育士」28.5%となっています。



問11 あなたは、子育てに関して不安や負担などを感じていますか。

■子育てについて（1つに○）

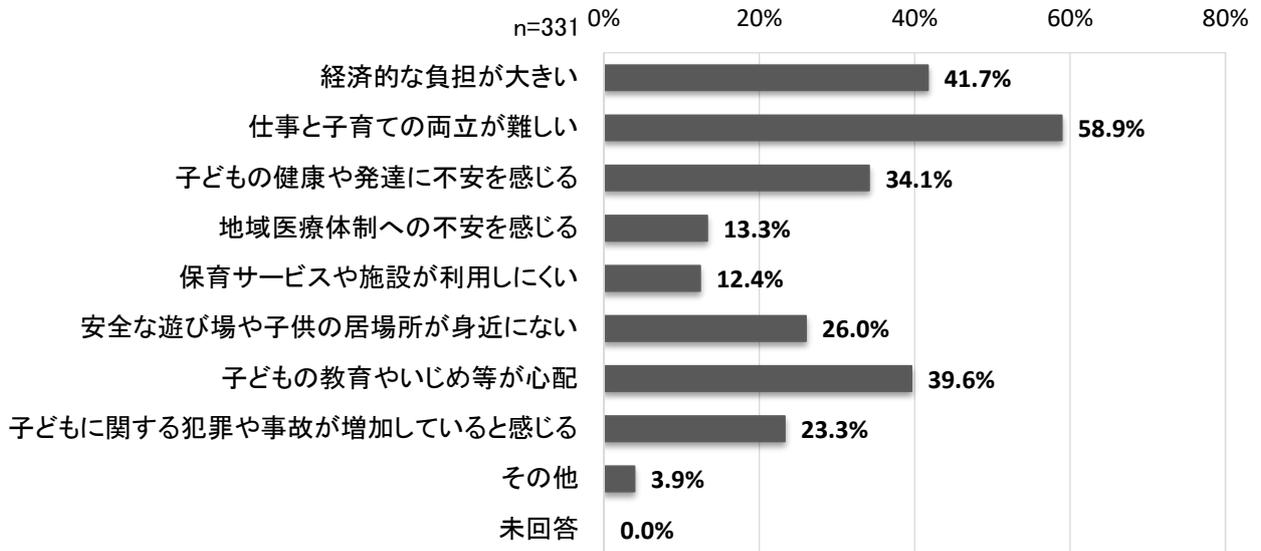
子育てについては、「楽しみや喜びを感じることの方が多い」55.7%で半分を占め、「不安や負担を感じることの方が多い」37.2%となっています。



■不安や負担を感じる理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 不安や負担を感じることの方が多い」と答えた方

子育てでの不安や負担を感じる理由は、上位から「仕事と子育ての両立が難しい」58.9%、「経済的負担が大きい」41.7%、「子どもの教育やいじめ等が心配」39.6%となっています。



問 12 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいと思いますか。(全回答数：309 件)

■子育て支援施設について(回答数：92 件)

- ・緊急時、一時的、学級閉鎖時に、また放課後や休日・長期休暇中に保護者なしで利用でき、無料で子どもをみてもらえる施設・託児サービス。(55 件)
- ・子供の遊び場所がもう少しあればいいなと思う。(15 件)
- ・子どもを気軽に預かり、教育的な事を教えてもらえるサポートがあれば良い。(5 件)
- ・近くに子どもが無料で自由に遊べる屋内施設がほしい。(2 件)
- ・土日に利用できる子育てサークルや、相談できる機関がほしい。(2 件)

■子育て支援サービスについて(回答数：86 件)

- ・電話かメールで気軽に相談できるサービスが、産前から継続してあれば、より安心できたかと思う。(21 件)
- ・教育相談の充実。気楽に専門家にすぐに相談できるとありがたい。(9 件)
- ・3歳児健診で終りにせず、その後もすべての子供が対象となる検診を行ってほしい。(5 件)
- ・定期的な子どもと遊べるイベント。(5 件)
- ・送迎サービスがほしい。(4 件)
- ・行政に対しては、手続きの簡素化をお願いしたい。

■幼稚園・保育所について(回答数：41 件)

- ・平日の夕方にもっと遅い時間まで、保育所や幼稚園で預かってもらえたら、ありがたいと思う。(12 件)
- ・一時預かりの充実、一時預かりの園を増やしてほしい。(6 件)
- ・幼稚園の開始時間を早くしてほしい。(3 件)
- ・発熱等の体調不良のとき、幼稚園などからの呼び出しではなく、看護師等が駐在して、仕事が一段落するまで待ってもらえるようにしてほしい。(2 件)
- ・休暇中のお弁当作りの負担が大きいと感じている。子供たちには給食で温かいご飯を食べさせてやりたい。
- ・保育所の一時保育で、トイレトレーニング、着衣の脱ぎ着の練習を、積極的に取り組んでほしい。自立に向けてサポートしてほしい。

■経済的支援・援助について(回答数：33 件)

- ・経済的なサポートをして頂いたらありがたい。(25 件)
- ・医療費免除などの年齢を上げてほしい (3 件)
- ・インフルエンザの予防接種は無料などの経済的サポートがほしい。(2 件)

■病児保育について(回答数：28 件)

- ・病児保育の充実。(小児科との連携、預かることのできる人数の増枠、日曜日開設、送迎など) (15 件)
- ・病児保育施設の増設。(10 件)
- ・病児保育の無償化。(2 件)

■地域・社会環境について(回答数：22件)

- ・地域ぐるみで子どもを守り、交流できるサポートがほしい。(7件)
- ・地域のお年寄りも含めた集まりがあれば、世代を超えた知り合いができていいと思う。(5件)
- ・徒歩通学のため、集団登校の見守りをしてほしい。(5件)

■広報について(回答数：15件)

- ・不安や悩みがあった時、相談できる窓口や、病院、施設、教室、専門家をまとめた一覧表などがあると助かる。(6件)
- ・関わる人によって子どもへの教育や考えが異なるので、セオリーやタブーをまとめた、世代ごとの子育てガイドラインがあればいいと思う。(5件)
- ・検診や予防接種の時期のお知らせ。子育てイベントのお知らせ。(4件)
- ・保育園、幼稚園、小学校などの情報がほしい。(3件)

■学校・学習について(回答数：12件)

- ・4年生以上の子供を見てくれる学校内の児童クラブがあれば、夏休みなども安心だ。(5件)
- ・高校受験の際の学区内・外をなくしてほしい。鳴門にいと選択の自由がない。未就学ばかりでなく高校まで、教育関係をもう少し負担を軽くしてほしい。
- ・発達障害児等の学校等の受け入れ体制を、積極的に整えてほしい。(進路指導も含めて)

■民間支援施設・サービスについて(回答数：8件)

- ・深夜の医療体制の充実。(3件)
- ・学校から送迎してくれる「子ども食堂」がほしい。(2件)
- ・スーパーなどの買い物中に、少しだけ子供を見てもらえるところが、スーパーの建物内にあれば助かる。

■働き方・仕事と子育てとの両立について(回答数：5件)

- ・小さい子供をかかえての、仕事と家事の両立は大変であるという現状。(2件)
- ・勤務する上で、制度的に、育児短時間勤務の取得をできることになっているが、職場での職員の数が少なく取りづらいので、取りやすい状況になればと思う。
- ・夏休みなど長期の休みがあるため、子どもを看るために、希望する間はずっと短時間勤務で働かせてほしい。

■その他(回答数：13件)

- ・十分サポートしてもらっていると感じている。(4件)
- ・子供の成長を一緒に見守ってもらえる人がいると心強く感じる。(2件)

## あて名のお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします

問13・14 あて名のお子さんの保護者（母親・父親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についておうかがいします。

(1) 保護者（母親・父親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間も含む)。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

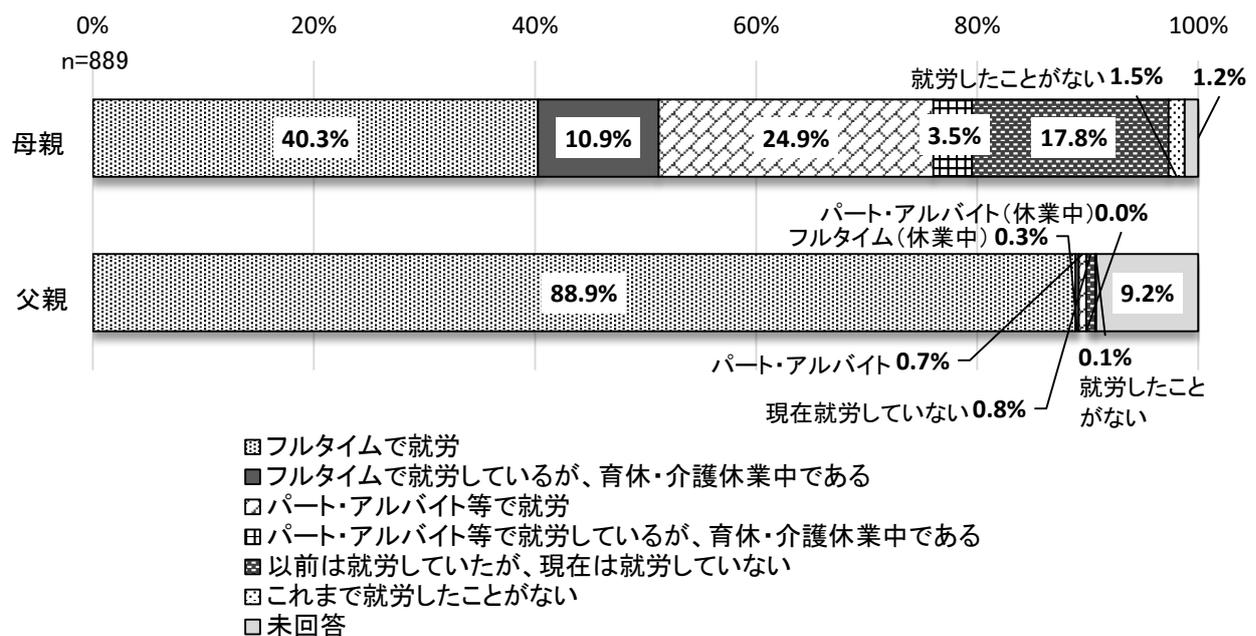
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

(※フルタイム…1週間5日程度・1日8時間程度の就労のこと)

(※パート・アルバイト…フルタイム以外の就労のこと)

### ■現在の就労状況（1つに○）

保護者の現在の就労状況は、母親は「フルタイムで就労」40.3%の割合が最も高くなっています。産休・育休・介護休業中も含めると、フルタイム51.2%、パート・アルバイト28.4%となっています。父親は「フルタイムで就労」88.9%の割合が最も高くなっています。産休・育休・介護休業中も含めると、フルタイム89.2%となっています。



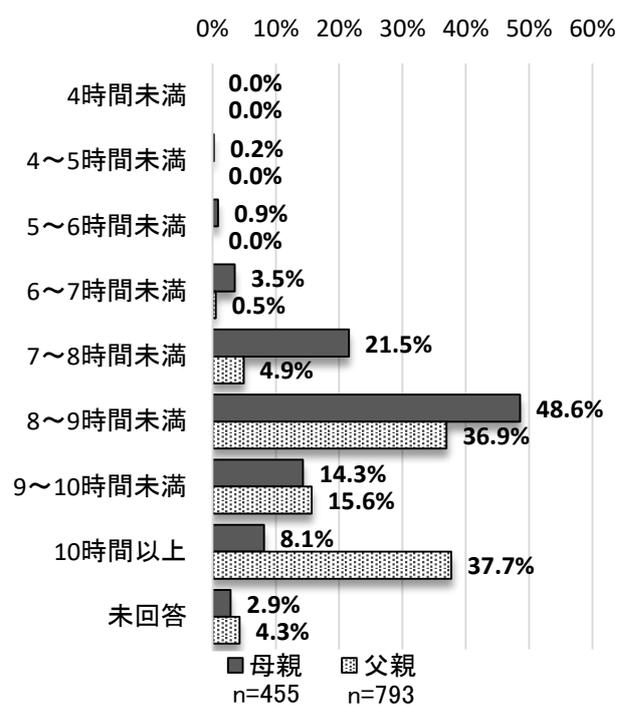
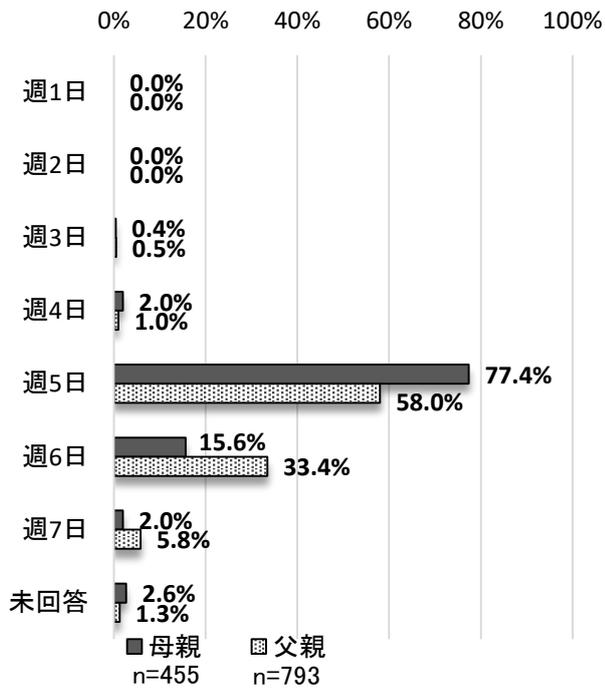
■現在の就労日数（1週当たり）および就労時間（1日当たり）（数量回答）

※「1. フルタイムで就労」「2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

フルタイムで就労している保護者の状況は、1週当たりの就労日数では、母親・父親とも「5日」、次いで「6日」となっています。1日当たりの就労時間では、母親は「8～9時間未満」48.6%と最も高く、父親は「10時間以上」37.7%が最も高くなっています。

●1週間当たりの就労日数-フルタイム

●1日当たりの就労日数-フルタイム

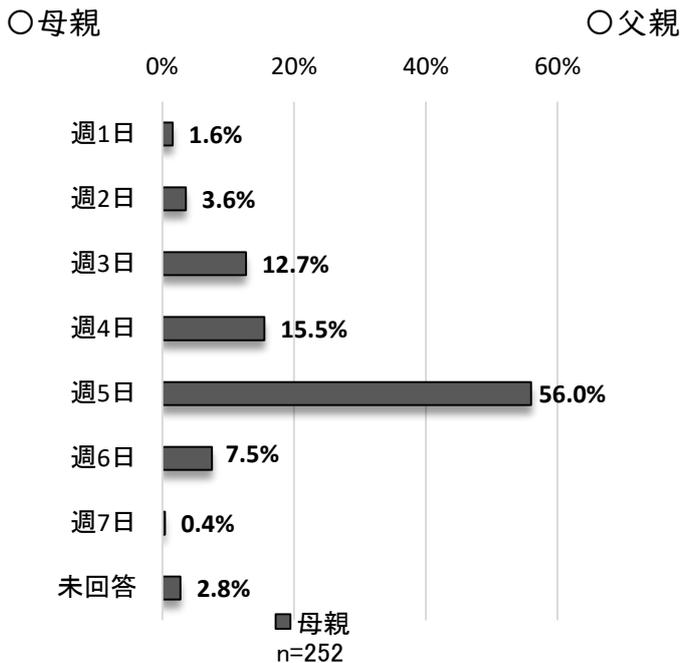


■現在の就労日数（1週当たり）および就労時間（1日当たり）（数量回答）

※「3. パート・アルバイトなどで就労」「4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

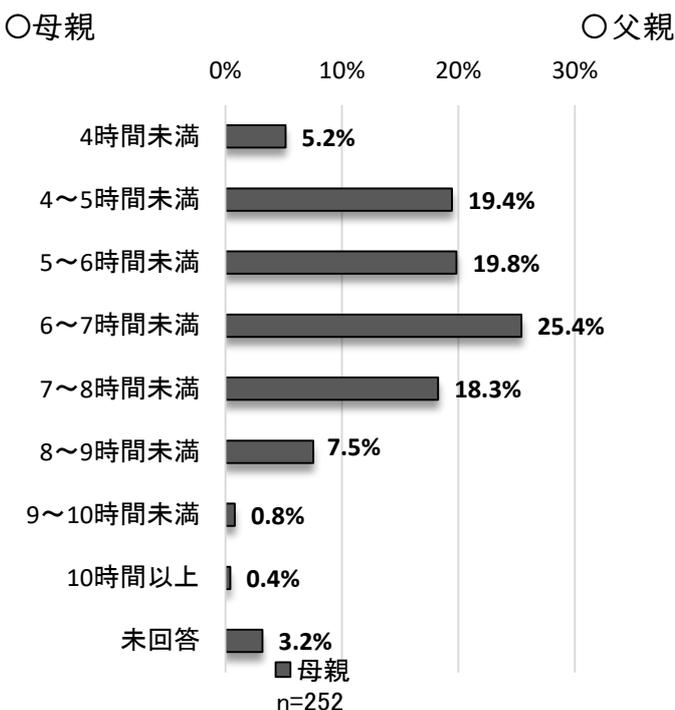
パート・アルバイトなどで就労している保護者の状況は、1週当たりの就労日数では、母親は「5日」56.0%が最も高く、父親は「3日」3件、「5日」2件となっています。1日当たりの就労時間では、母親は「6～7時間未満」25.4%、次いで「5～6時間未満」19.8%、父親は「7～8時間未満」「8～9時間未満」にそれぞれ2件ずつ回答がありました。

●1週間当たりの就労日数-パート・アルバイト



週当たり就労日数・パート・アルバイト	父親	
	件数	割合 (%)
週1日	0	0.0%
週2日	0	0.0%
週3日	3	50.0%
週4日	0	0.0%
週5日	2	33.3%
週6日	1	16.7%
週7日	0	0.0%
未回答	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>6</b>	<b>100.0%</b>

●1日当たりの就労日数-パート・アルバイト



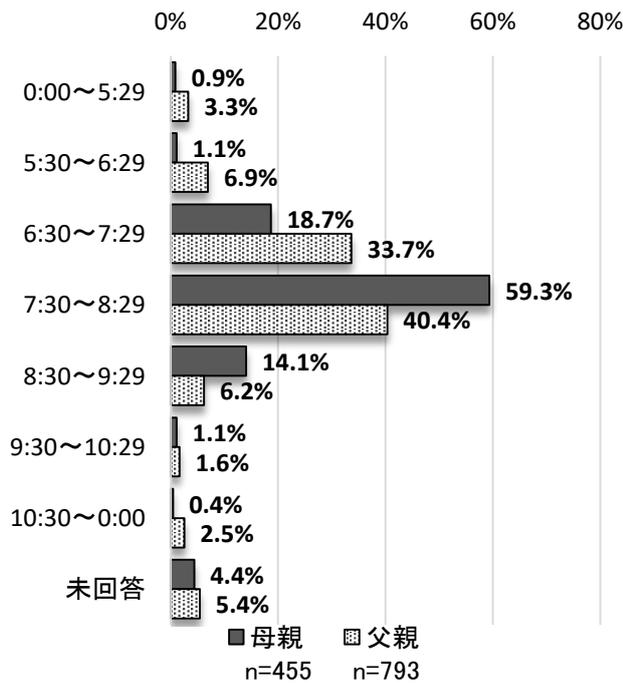
日当たり就労時間・パート・アルバイト	父親	
	件数	割合 (%)
4時間未満	0	0.0%
4～5時間未満	1	16.7%
5～6時間未満	1	16.7%
6～7時間未満	0	0.0%
7～8時間未満	2	33.3%
8～9時間未満	2	33.3%
9～10時間未満	0	0.0%
10時間以上	0	0.0%
未回答	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>6</b>	<b>100.0%</b>

■家を出る時間および帰宅時間（数量回答）

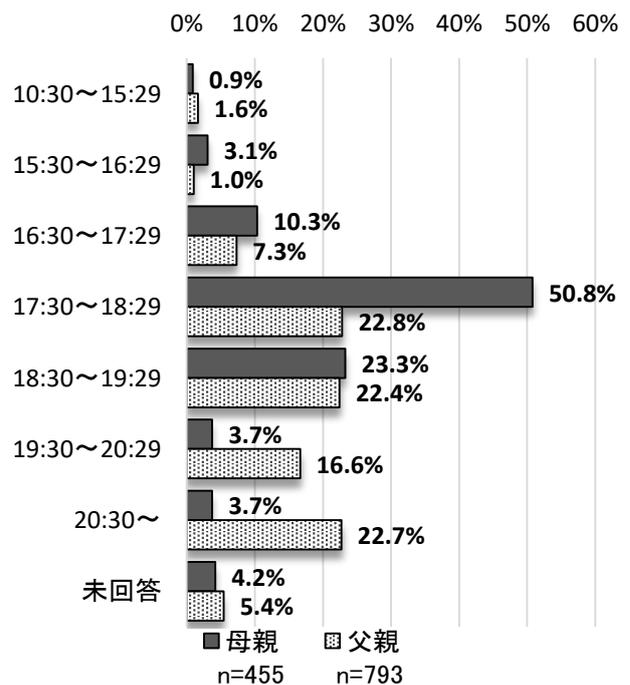
※「1. フルタイムで就労」「2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

フルタイムの出発時間と帰宅時間は、出発時間については、母親・父親ともに「7:30～8:29」の割合が最も高くなっています。帰宅時間についても、母親・父親ともに「17:30～18:29」の割合が最も高くなっています。

●出発時間-フルタイム



●帰宅時間-フルタイム



■家を出る時間および帰宅時間（数量回答）

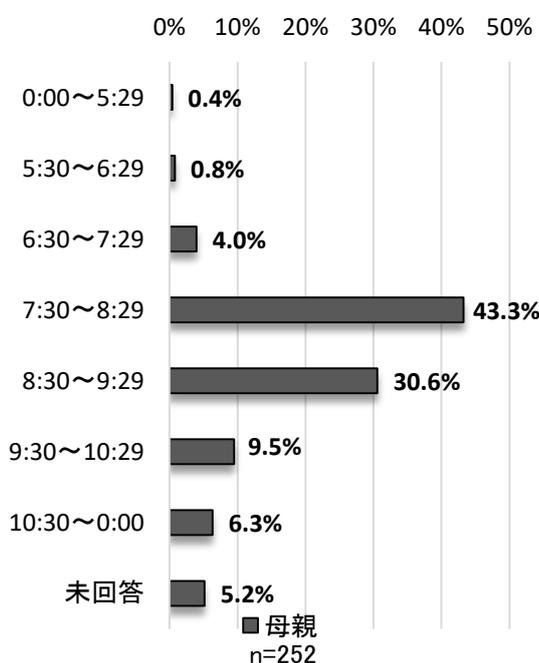
※「3. パート・アルバイトなどで就労」「4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

パート・アルバイト等の出発時間と帰宅時間は、出発時間については、母親は「7:30～8:29」43.3%で割合が最も高く、次いで「8:30～9:29」30.6%となっています。父親は、「7:30～8:29」、「8:30～9:29」ともに2件の回答がありました。

帰宅時間については、母親は「10:30～15:29」26.6%で最も高く、次いで「16:30～17:29」23.4%となっています。父親は「17:30～18:29」が3件で最も高くなっています。

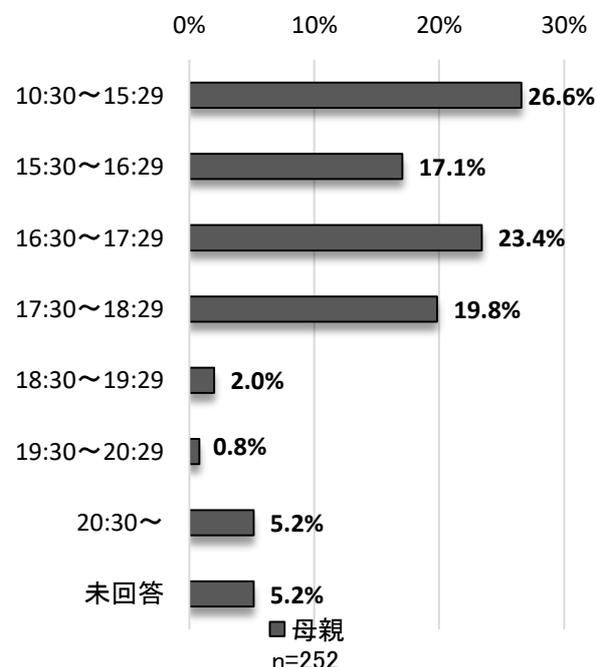
●出発時間-パート・アルバイト

○母親



●帰宅時間-パート・アルバイト

○母親



○父親

出発時間・パート・アルバイト	父親	
	件数	割合 (%)
0:00～5:29	0	0.0%
5:30～6:29	0	0.0%
6:30～7:29	0	0.0%
7:30～8:29	2	33.3%
8:30～9:29	2	33.3%
9:30～10:29	1	16.7%
10:30～0:00	1	16.7%
未回答	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>6</b>	<b>100.0%</b>

○父親

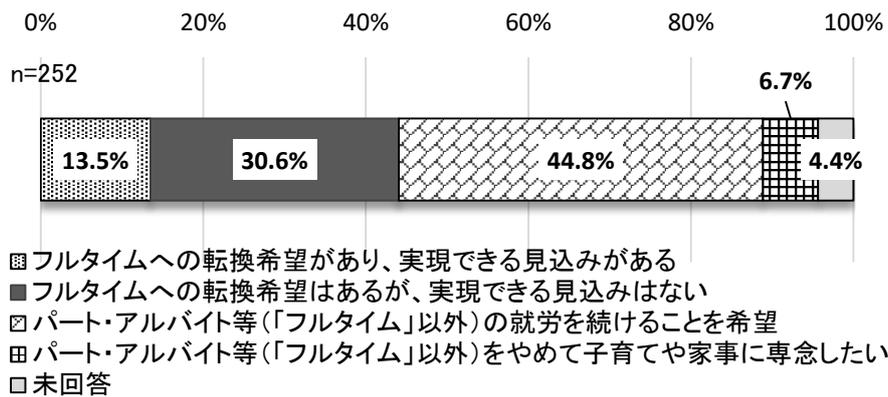
帰宅時間・パート・アルバイト	父親	
	件数	割合 (%)
10:30～15:29	1	16.7%
15:30～16:29	1	16.7%
16:30～17:29	0	0.0%
17:30～18:29	3	50.0%
18:30～19:29	0	0.0%
19:30～20:29	0	0.0%
20:30～	1	16.7%
未回答	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>6</b>	<b>100.0%</b>

(2) フルタイムへの転職希望はありますか。(1つに○)

※「3. パート・アルバイトなどで就労」「4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転職希望は、母親は「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」44.8%で割合が最も高く、父親は「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない」が3件と最も高くなっています。母親のフルタイムへの転職希望は44.1%となっています。

●母親



●父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある	1	16.7%
フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない	3	50.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	2	33.3%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
未回答	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>6</b>	<b>100.0%</b>

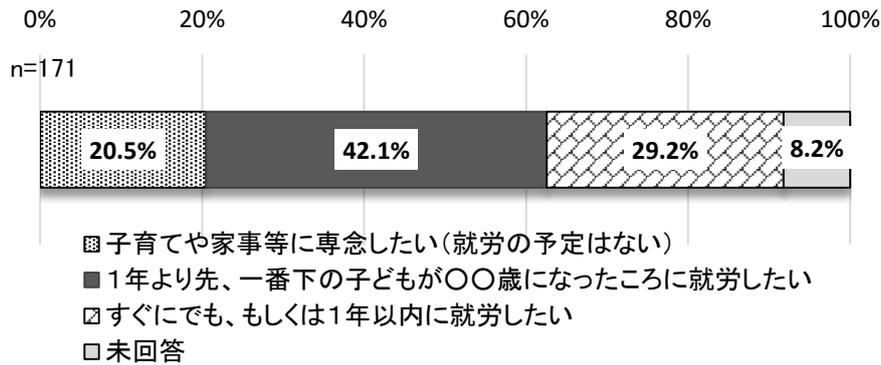
(3) 就労したいという希望はありますか。(1つに○)

※「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」と答えた方

現在就労していない方の就労希望は、母親は「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころ就労したい」42.1%の割合が最も高く、父親は「子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)」4件で最も高くなっています。

また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかは、母親は「7歳以上」37.5%、次いで「4歳」「6歳」が共に15.3%となっています。

●母親



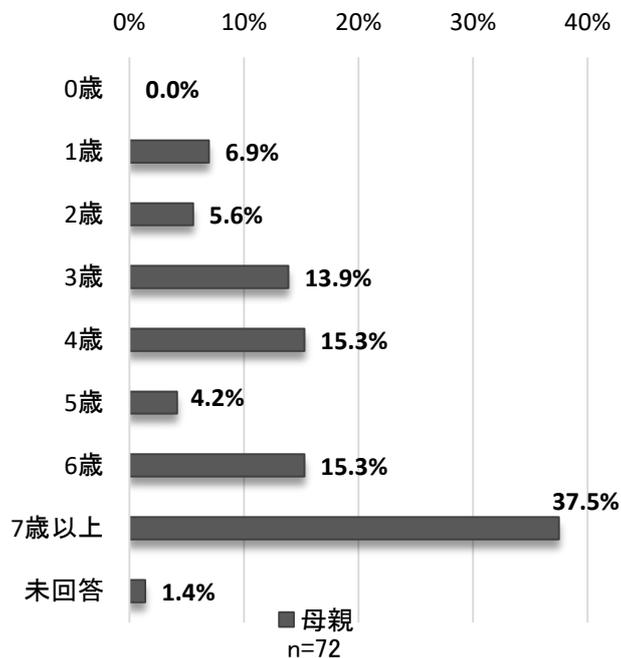
●父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)	4	50.0%
1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい	0	0.0%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3	37.5%
未回答	1	12.5%
<b>合計</b>	<b>8</b>	<b>100.0%</b>

■就労を希望する上での一番下の子どもの年齢（数量回答）

※「2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」と答えた方

●母親



●父親

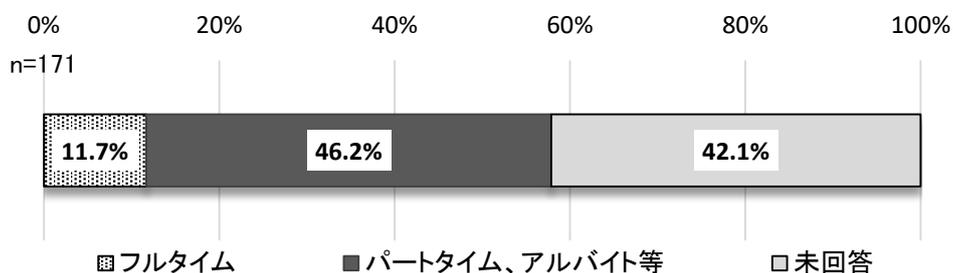
父親の回答はありませんでした。

■希望する就労形態（1つに○）

※「2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた方

就労したい方の希望する就労形態は、母親は「パートタイム、アルバイト等」46.2%と割合が最も高く、父親は「フルタイム」2件と最も高くなっています。

●母親



●父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
フルタイム	2	25.0%
パートタイム、アルバイト等	1	12.5%
未回答	5	62.5%
合計	8	100.0%

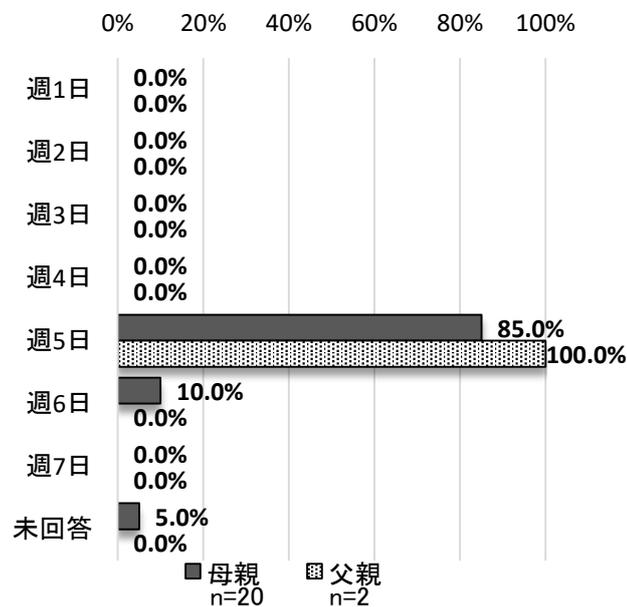
■希望する就労日数（1週当たり）および就労時間（1日当たり）（数量回答）

※「2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた方

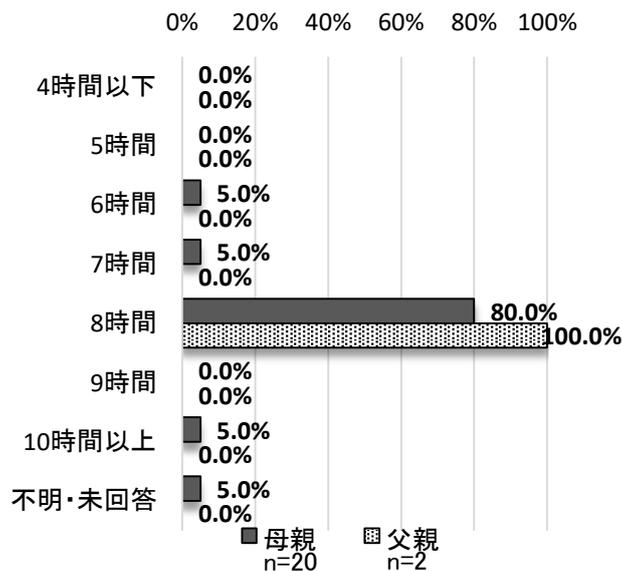
フルタイムで希望する1週間当たりの就労日数については、母親・父親ともに「5日」の割合が最も高くなっています。フルタイムで希望する1日当たりの就労時間についても、母親・父親ともに「8時間」の割合が最も高くなっています。

パート・アルバイトなどで希望する1週間当たりの就労日数は、母親は「週5日」38.0%と最も高く、次いで「週4日」30.4%となっています。パート・アルバイトで希望する1日当たりの就労時間は、母親は「5時間」40.5%と割合が最も高く、次いで「4時間以下」31.6%となっています。

●フルタイムで希望する1週間当たりの就労日数

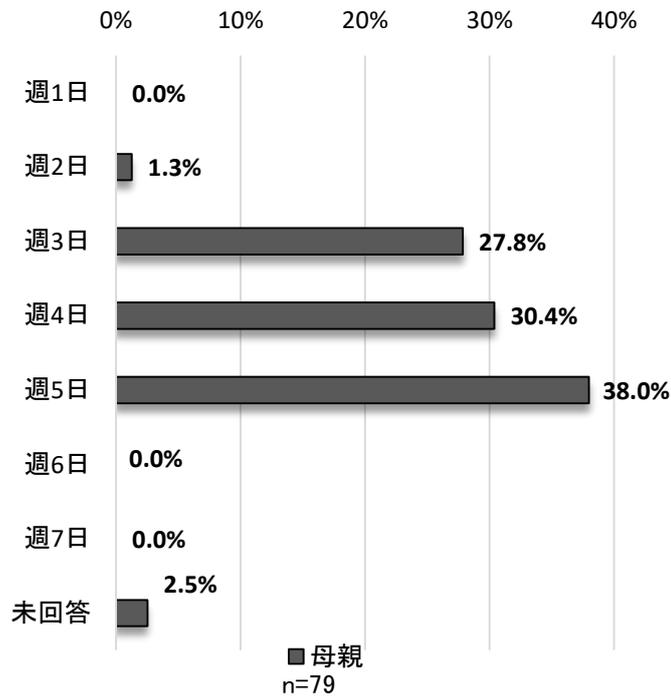


●フルタイムで希望する1日当たりの就労時間



●パートタイム・アルバイトで希望する1週間当たりの就労日数

○母親

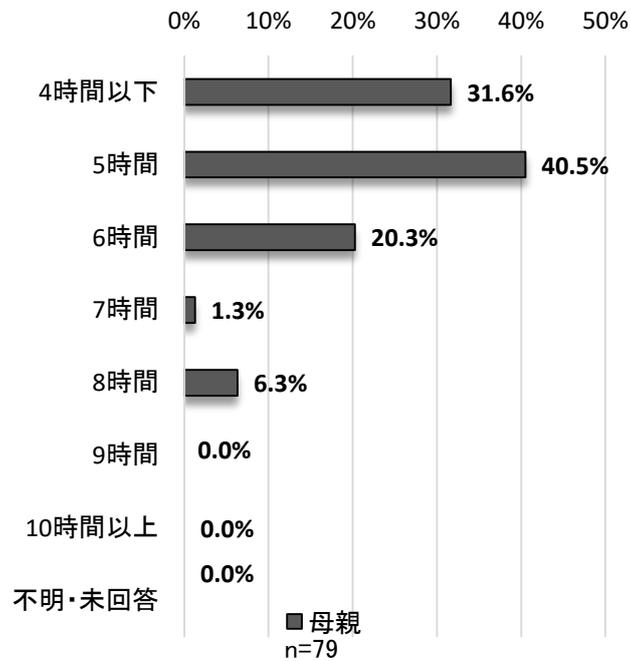


○父親

「週3日」に1件の回答がありました。

●パート・アルバイトで希望する1日当たりの就労時間

○母親



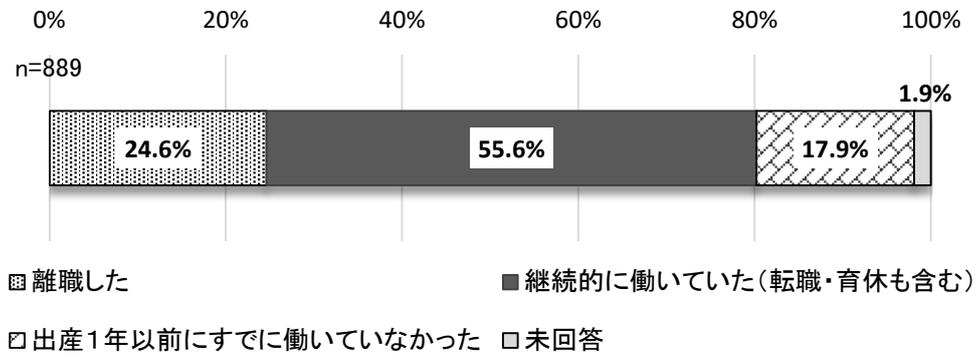
○父親

「6時間」に1件の回答がありました。

問15 母親の出産前後の状況をおうかがいします。あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。

■母親の出産前後の就労状況（1つに○）

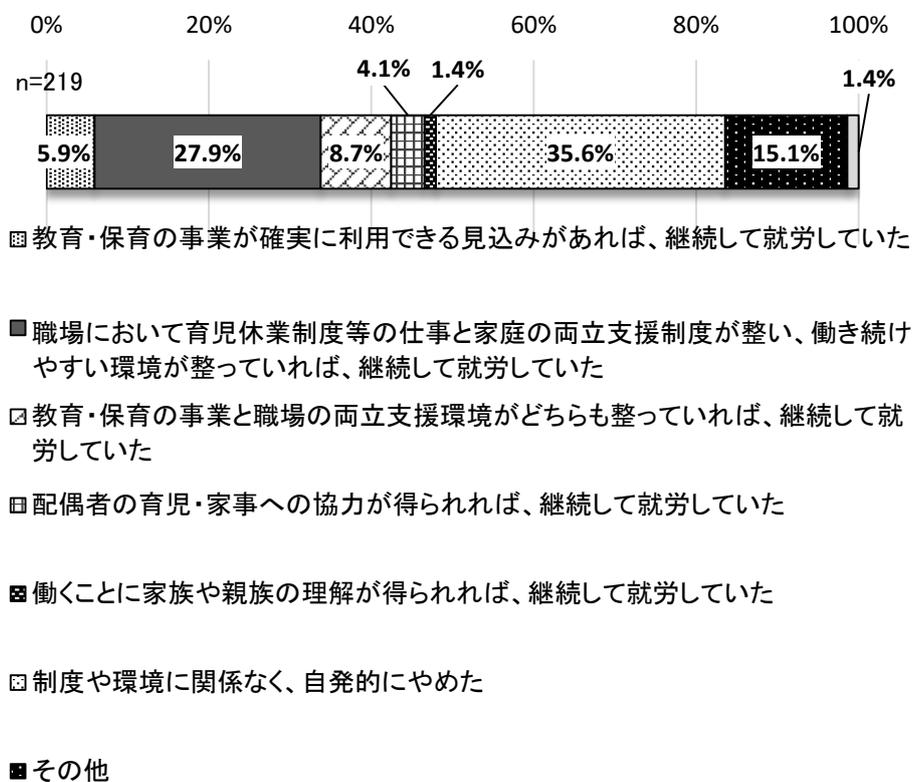
出産前後に離職したかについては、「継続的に働いていた（転職・育集も含む）55.6%の割合が最も高くなっています。「離職した」は24.6%となっています。



■仕事と家庭の両立を支援する教育・保育の事業や環境が整っていたら、就労を継続しましたか。（1つに○）

※「1. 離職した」と答えた方

仕事家庭の両立を支援する教育・保育の事業や環境が整っていたら、就労を継続したかについては、「制度や環境に関係なく、自発的にやめた」35.6%、次いで「職場において育児休業制度などの仕事と家庭の両立制度が整い、働きやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」27.9%となっています。

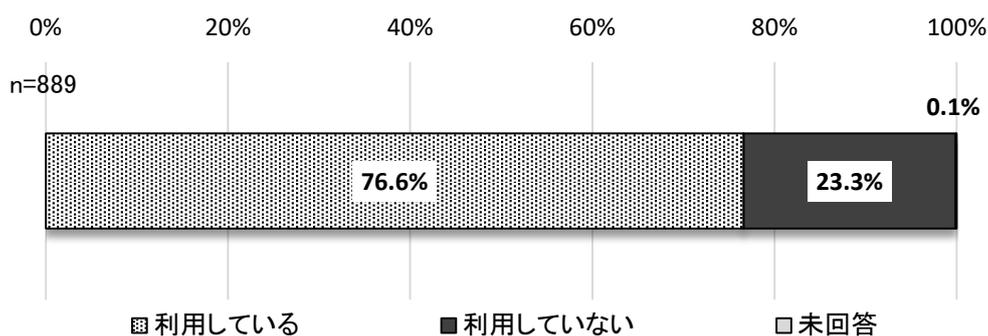


## あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用についておうかがいします

問16 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

### ■利用の有無（1つに○）

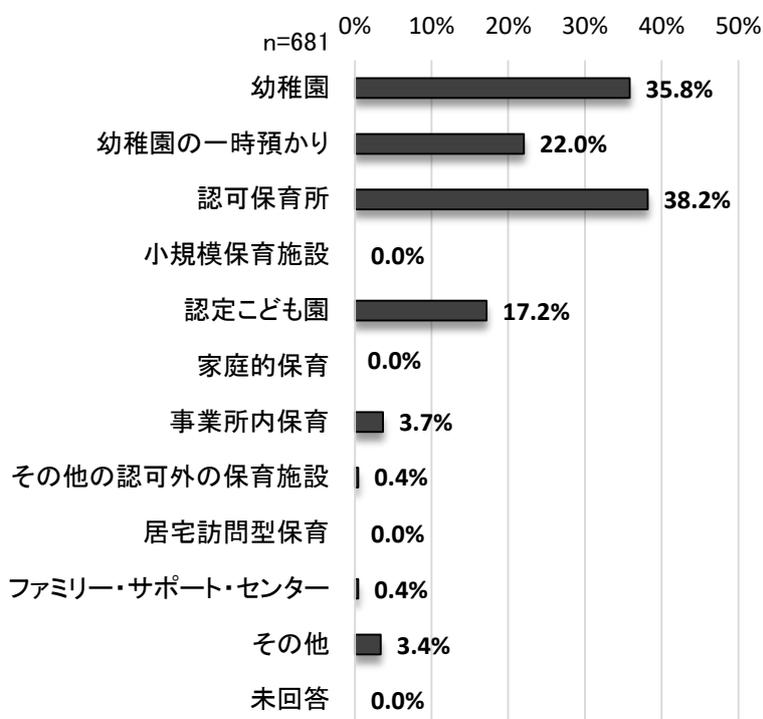
平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無については、「利用している」76.6%、「利用していない」23.3%となっています。



### ■「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

#### ※「1. 利用している」と答えた方

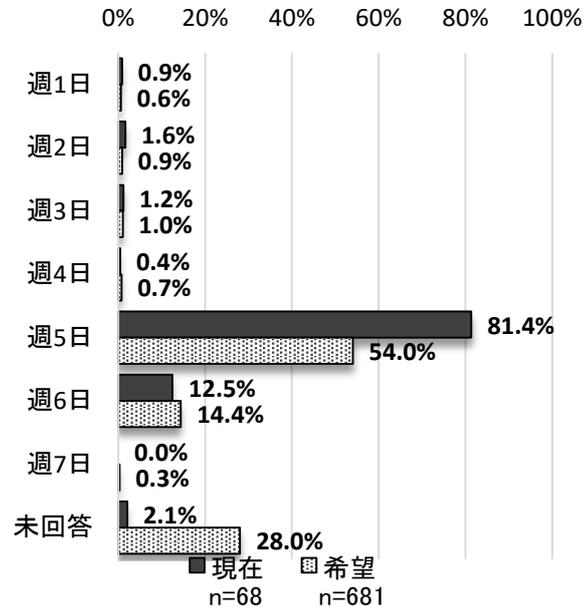
平日の定期的な教育・保育事業の利用は、上位から「認可保育所」38.2%、「幼稚園」35.8%、「幼稚園の一時預かり」22.0%となっています。



■現在の利用日数と希望の利用日数（1週当たり）（数量回答）

※「1. 利用している」と答えた方

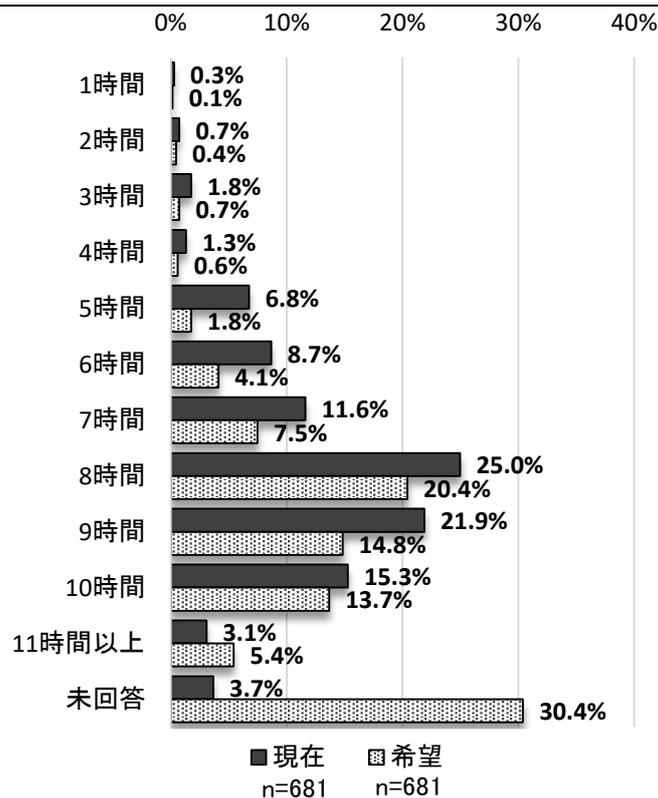
平日の利用している教育・保育事業の現在の状況と今後の利用希望は、1週間当たりの利用日数では、現在・希望ともに「5日」の割合が最も高く、それぞれ81.4%、54.0%となっています。



■現在の利用時間と希望の利用時間（1日当たり）（数量回答）

※「1. 利用している」と答えた方

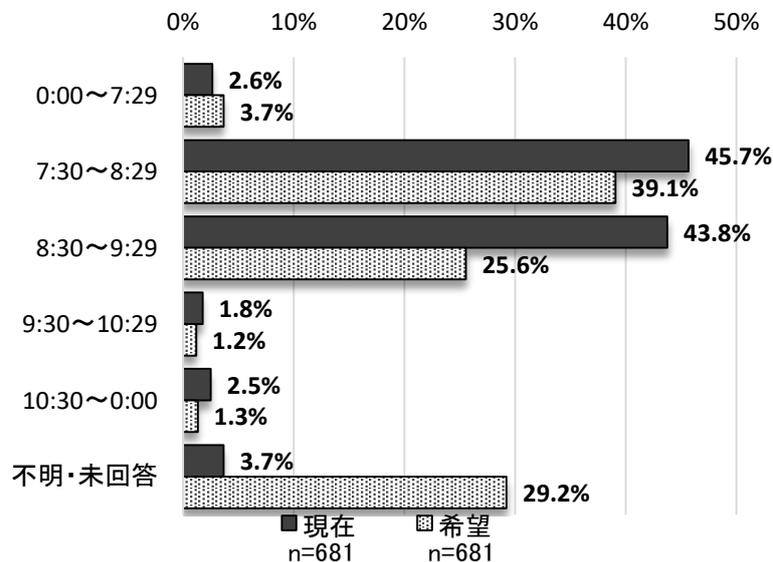
平日の利用している教育・保育事業の現在の状況と今後の利用希望は、1日当たりの利用時間では、現在・希望ともに「8時間」の割合が最も高く、それぞれ25.0%、20.4%となっています。次いで、現在・希望ともに「9時間」で、それぞれ21.9%、14.8%となっています。



■現在の利用開始時間と希望の利用開始時間（数量回答）

※「1. 利用している」と答えた方

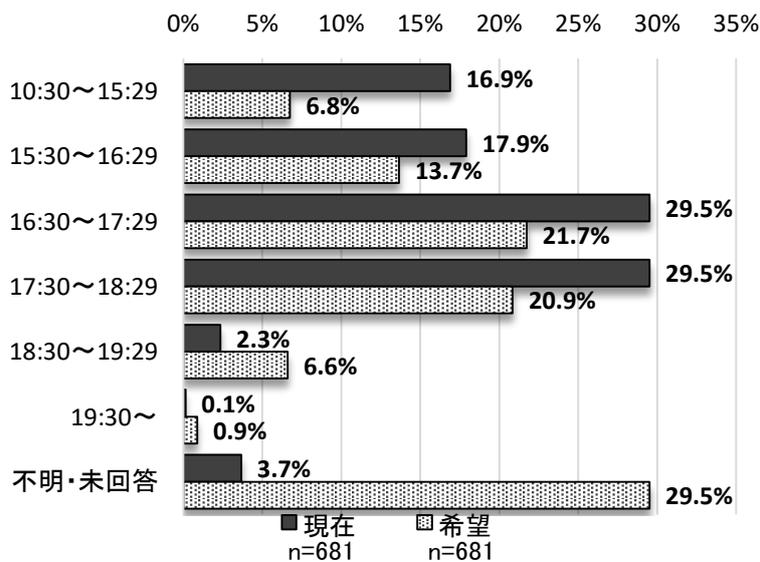
利用開始時間は、現在・希望ともに「7:30～8:29」の割合が最も高く、それぞれ45.7%、39.1%となっています。



■現在の利用終了時間と希望の利用終了時間（数量回答）

※「1. 利用している」と答えた方

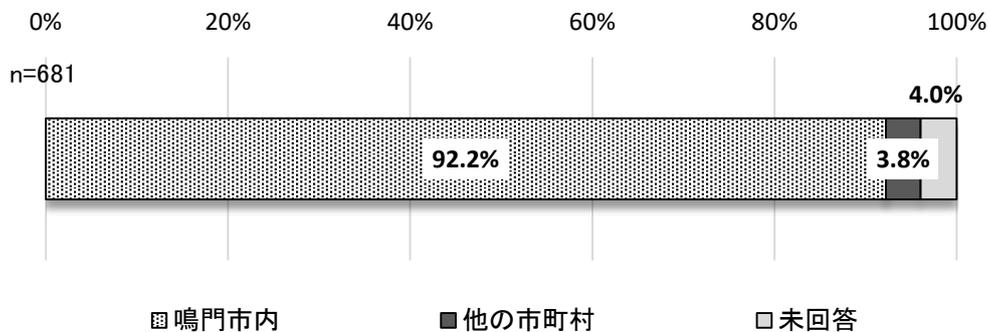
終了時間では、現在では「16:30～17:29」「17:30～18:29」が共に29.5%と割合が高く、次いで「15:30～16:29」17.9%となっています。希望は、「16:30～17:29」21.7%、次いで「17:30～18:29」20.9%となっています。



■利用している場所（1つに○）

※「1. 利用している」と答えた方

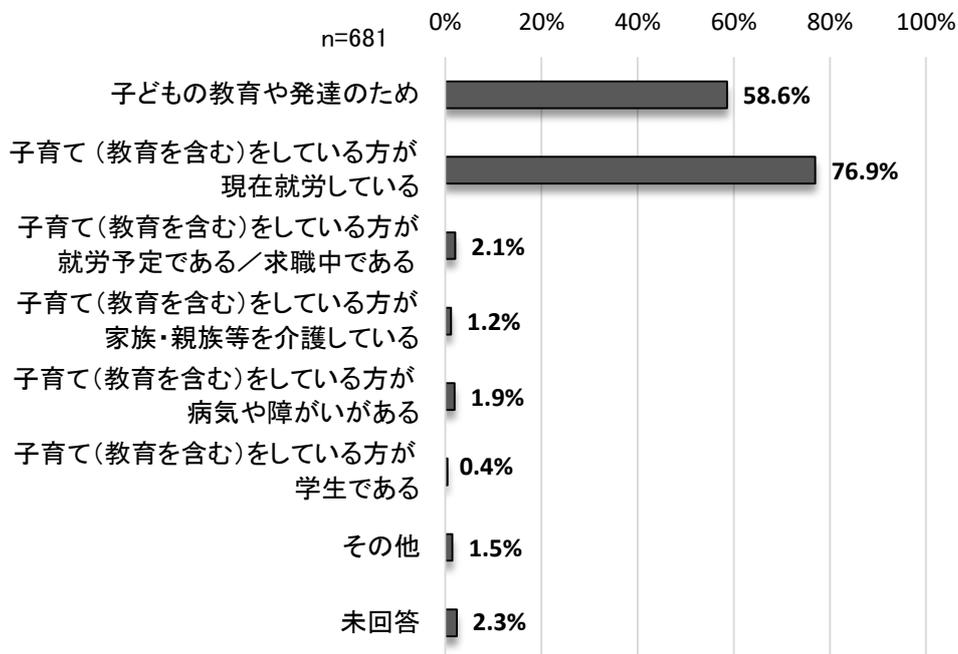
平日に利用している教育・保育事業の実施場所は、「鳴門市」92.2%とほとんどを占めています。



■利用している理由（あてはまるものすべてに○）

※「1. 利用している」と答えた方

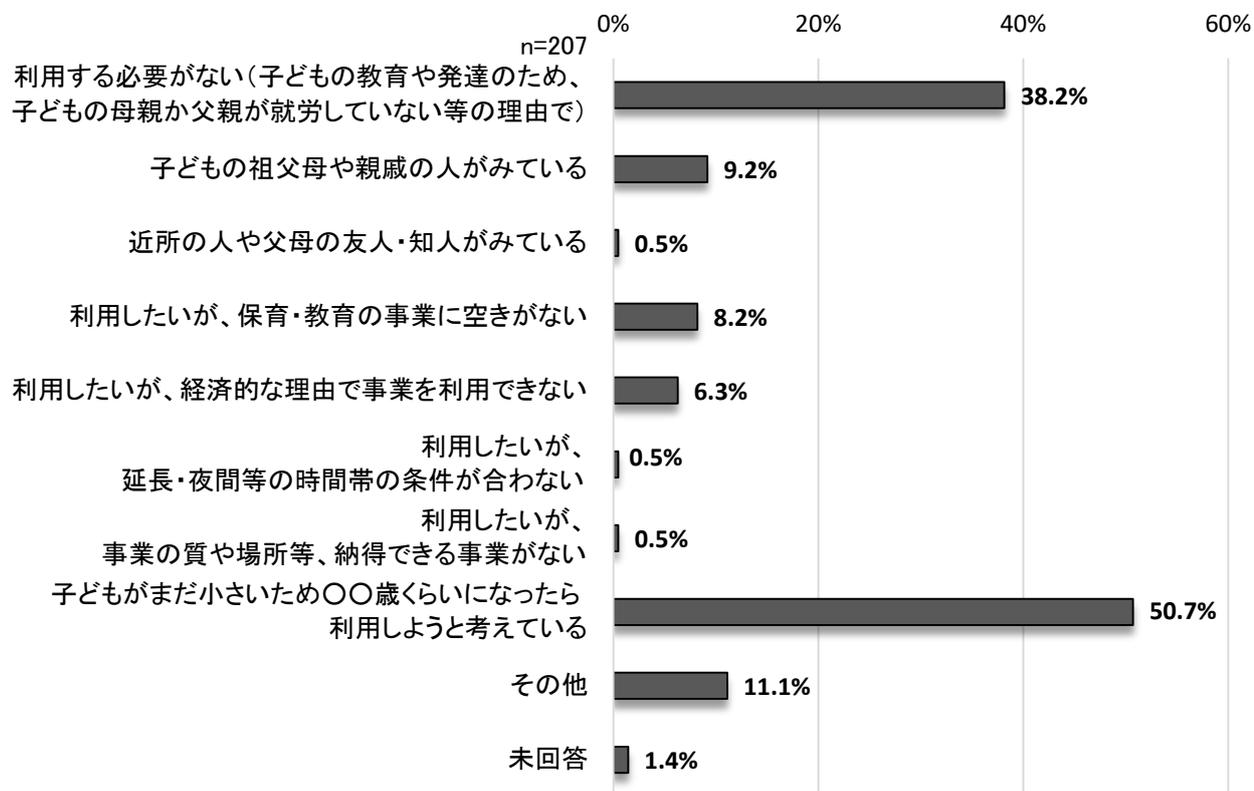
平日に教育・保育事業を利用している主な理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」76.9%、次いで「子どもの教育や発達のため」58.6%となっています。



■利用していない理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 利用していない」と答えた方

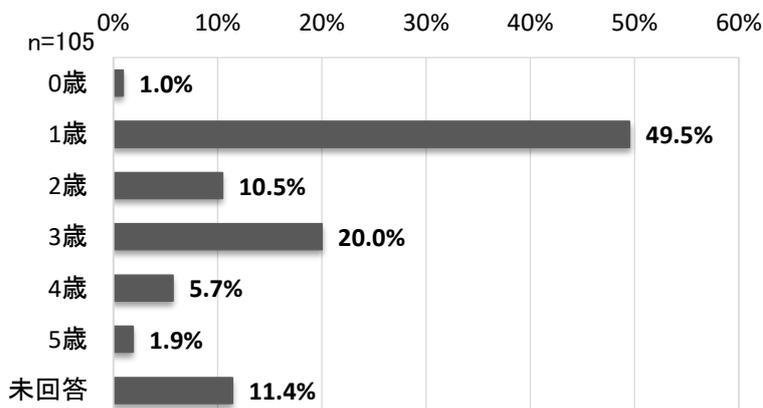
平日に教育・保育事業を利用していない主な理由は、「子どもがまだ小さいため〇〇歳くらいになったら利用しようと考えている」50.7%、次いで「利用する必要がない(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)」38.2%となっています。



■利用しようとする子どもの年齢（数量回答）

※「8. 子どもがまだ小さいため□歳くらいになったら利用しようと考えている」と答えた方

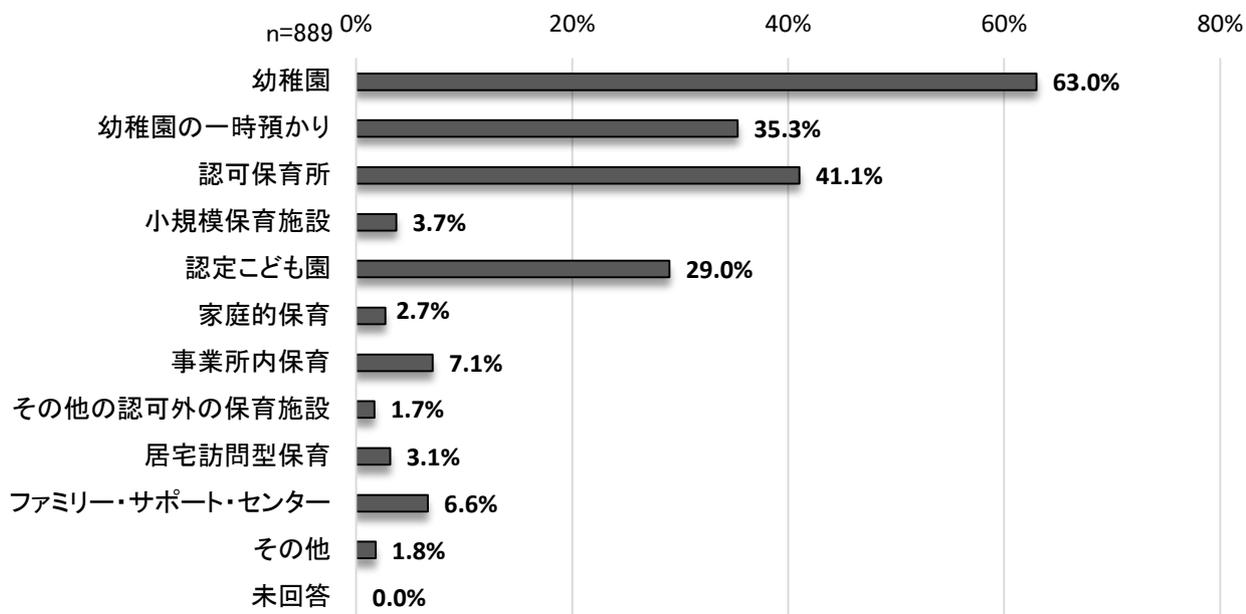
子どもがまだ小さいために教育・保育事業を利用していない方で、今後利用しようとするときの子どもの年齢については、「1歳」49.5%の割合が最も高く、次いで「3歳」20.0%、「2歳」10.5%となっています。



問17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。

■利用したい教育・保育事業（あてはまるものすべてに○）

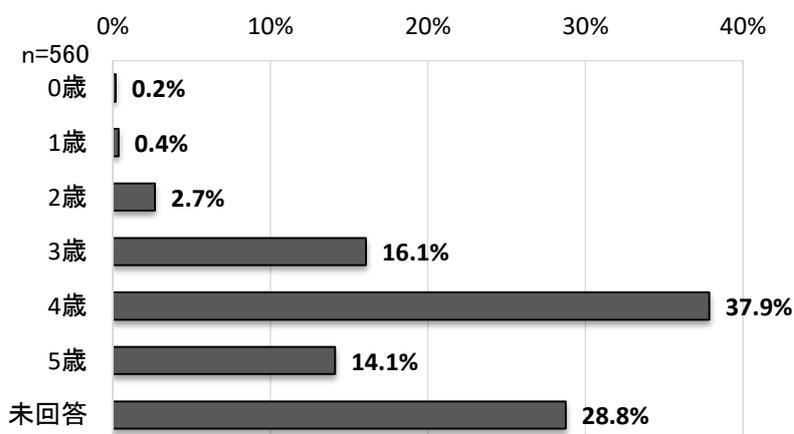
今後、平日に利用したいと考える教育・保育事業は、上位から「幼稚園」63.0%、「認可保育所」41.1%、「幼稚園の一時預かり」35.3%となっています。



■幼稚園の利用開始年齢（数量回答）

※「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」と答えた方

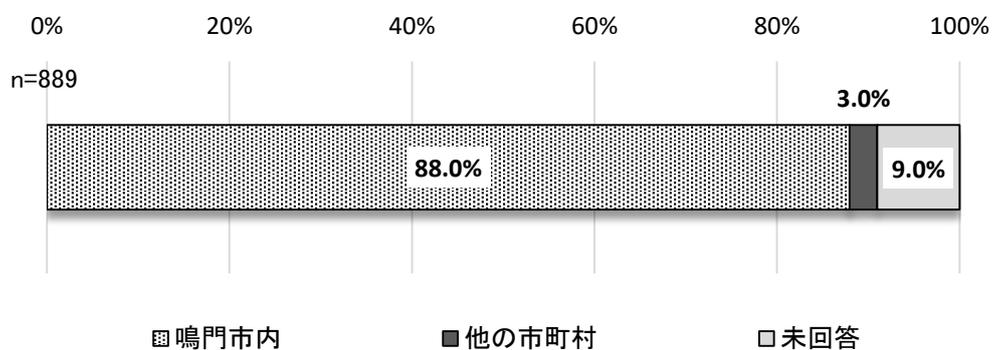
幼稚園の利用開始年齢については、上位から「4歳」37.9%、「3歳」16.1%、「5歳」14.1%となっています。



問17-1 教育・保育の事業を利用したい場所についておうかがいします。

(1つに○)

教育・保育事業を利用したい場所は、「鳴門市内」88.0%とほとんどを占めています。



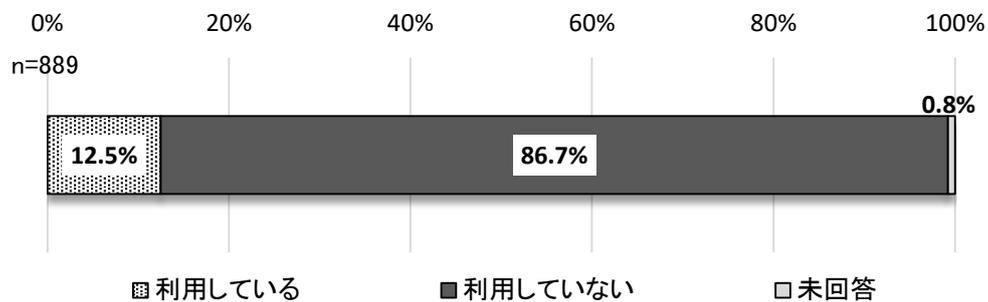
## あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の 利用状況についておうかがいします

問18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「地域子育て支援センター」や「にこにこ広場」などがあてはまります)を利用していますか。

また、おおよその利用回数(頻度)を枠内に数字でご記入ください。

### ■地域子育て支援拠点事業の利用の有無(1つに○)

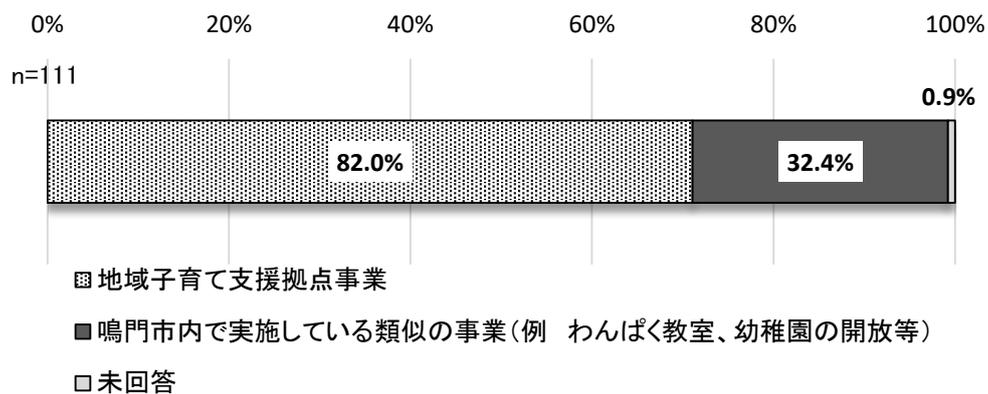
地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」86.7%、次いで「利用している」12.5%となっています。



### ■地域子育て支援拠点事業の利用場所(あてはまるものすべてに○)

#### ※「1. 利用している」と答えた方

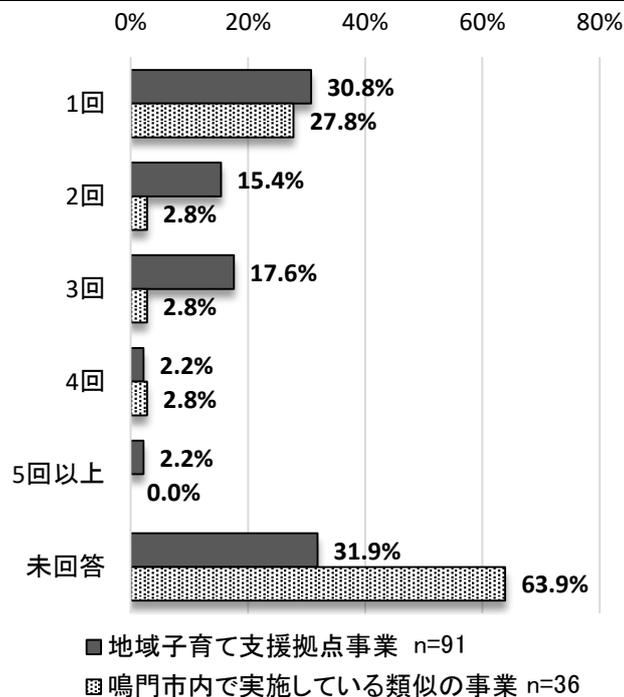
地域子育て支援拠点事業の利用場所は、「地域子育て支援拠点事業」82.0%、次いで「鳴門市内で実施している類似の事業(例 わんぱく教室、幼稚園の開放など)」32.4%となっています。



■地域子育て支援拠点事業の1週間当たりの利用回数（数量回答）

※「1. 利用している」と答えた方

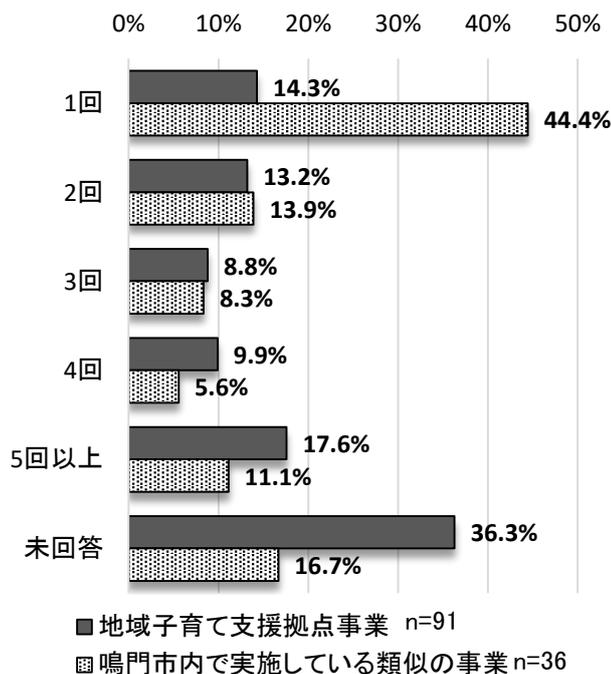
地域子育て支援拠点事業の1週当たりの利用回数は、「地域子育て支援事業」、「鳴門市で実施している類似の事業」とともに「1回」の割合が高くなっています。



■地域子育て支援拠点事業の1月当たりの利用回数（数量回答）

※「1. 利用している」と答えた方

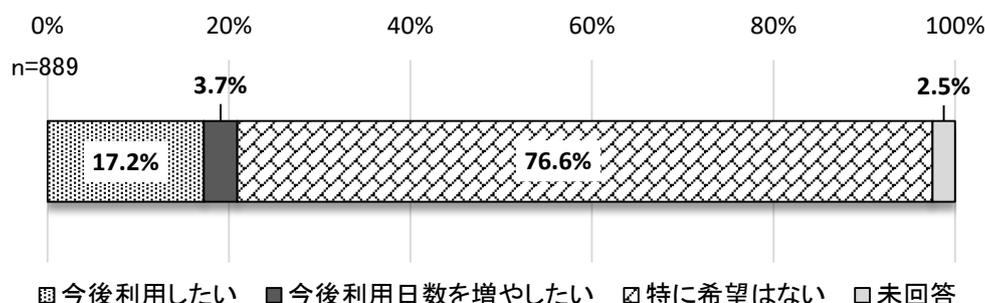
地域子育て支援拠点事業の1月当たりの利用回数は、「地域子育て支援事業」は、「1回」44.4%と割合が最も高く、「鳴門市で実施している類似の事業」は、「5回以上」の割合が高くなっています。



問19 問18のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

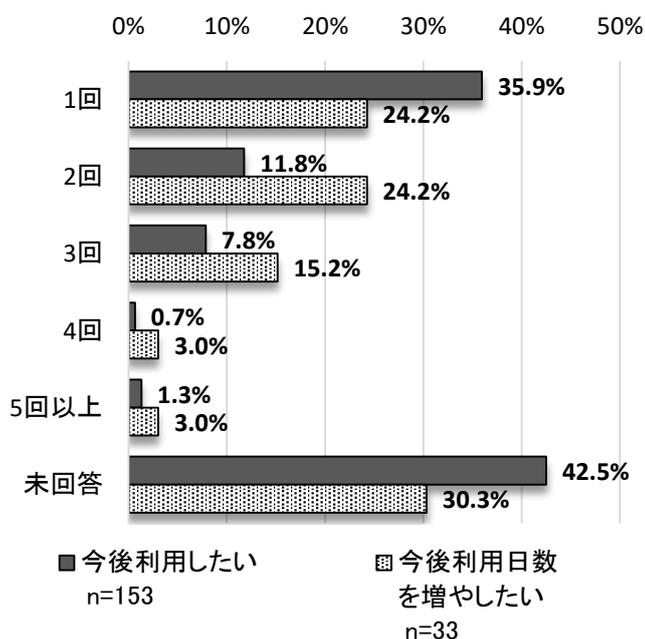
■地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望の有無（1つに○）

地域子育て支援拠点事業の今後の利用動向は、「特に希望はない」76.6%の割合が最も高くなっています。「今後利用したい」は17.2%、「今後利用日数を増やしたい」3.7%となっています。



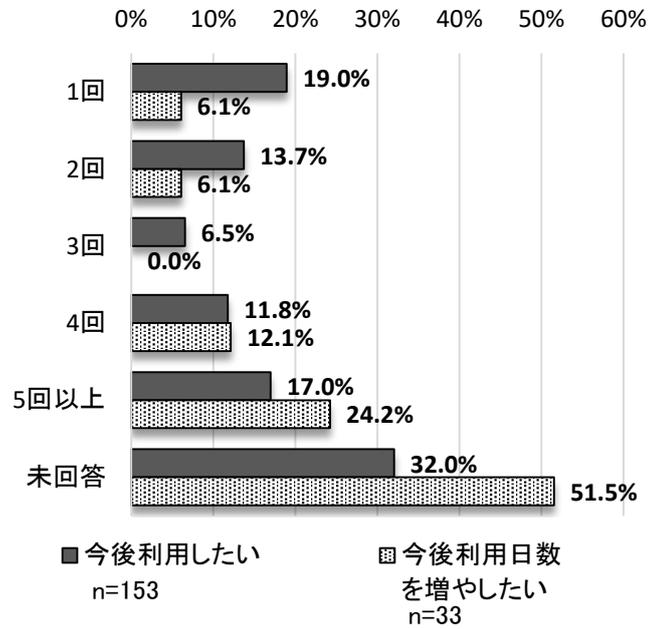
■地域子育て支援拠点事業の1週間当たりの利用希望回数（数量回答）

地域子育て支援拠点事業の今後の1週間当たりの利用希望回数は、「今後利用したい」では、「1回」35.9%の割合が最も高く、「今後利用日数を増やしたい」では、「1回」、「2回」がともに24.2%と高くなっています。



### ■地域子育て支援拠点事業の1月当たりの利用希望回数（数量回答）

地域子育て支援拠点事業の今後の1月当たりの利用希望回数は、「今後利用したい」では、「1回」19.0%の割合が最も高く、「今後利用日数を増やしたい」では、「5回以上」24.2%の割合が最も高くなっています。

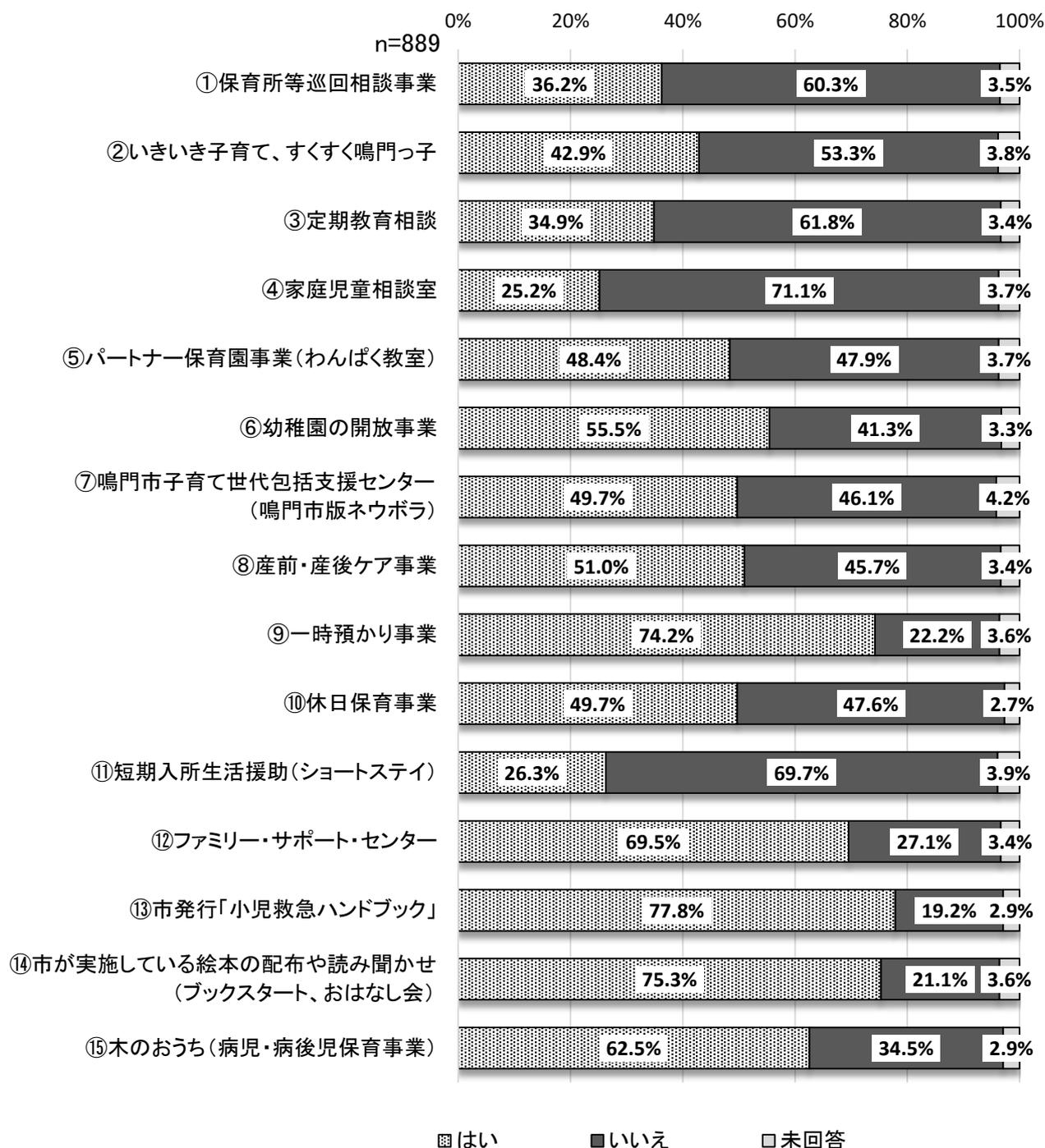


問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑮の事業ごとにお答えください。

■A 事業の認知度

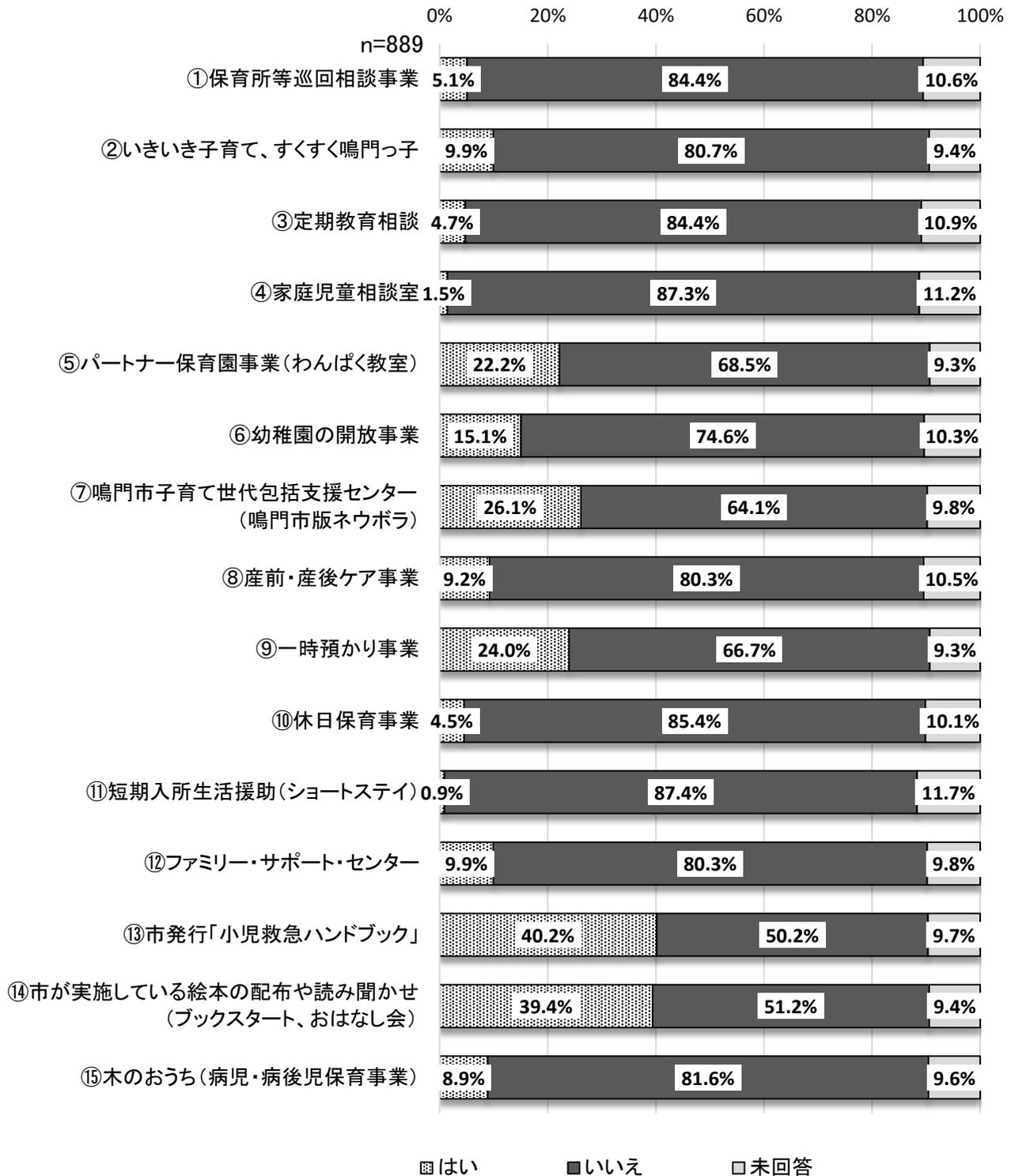
鳴門市で実施している子育て事業の認知度は、上位から「⑬市発行『小児救急ハンドブック』」77.8%、「⑭市が実施している絵本の配布や読み聞かせ（ブックスタート、おはなし会）」75.3%、「⑨一時預かり事業」74.2%となっています。

一方で、非認知度では、「④家庭児童相談室」71.1%と最も高くなっています。



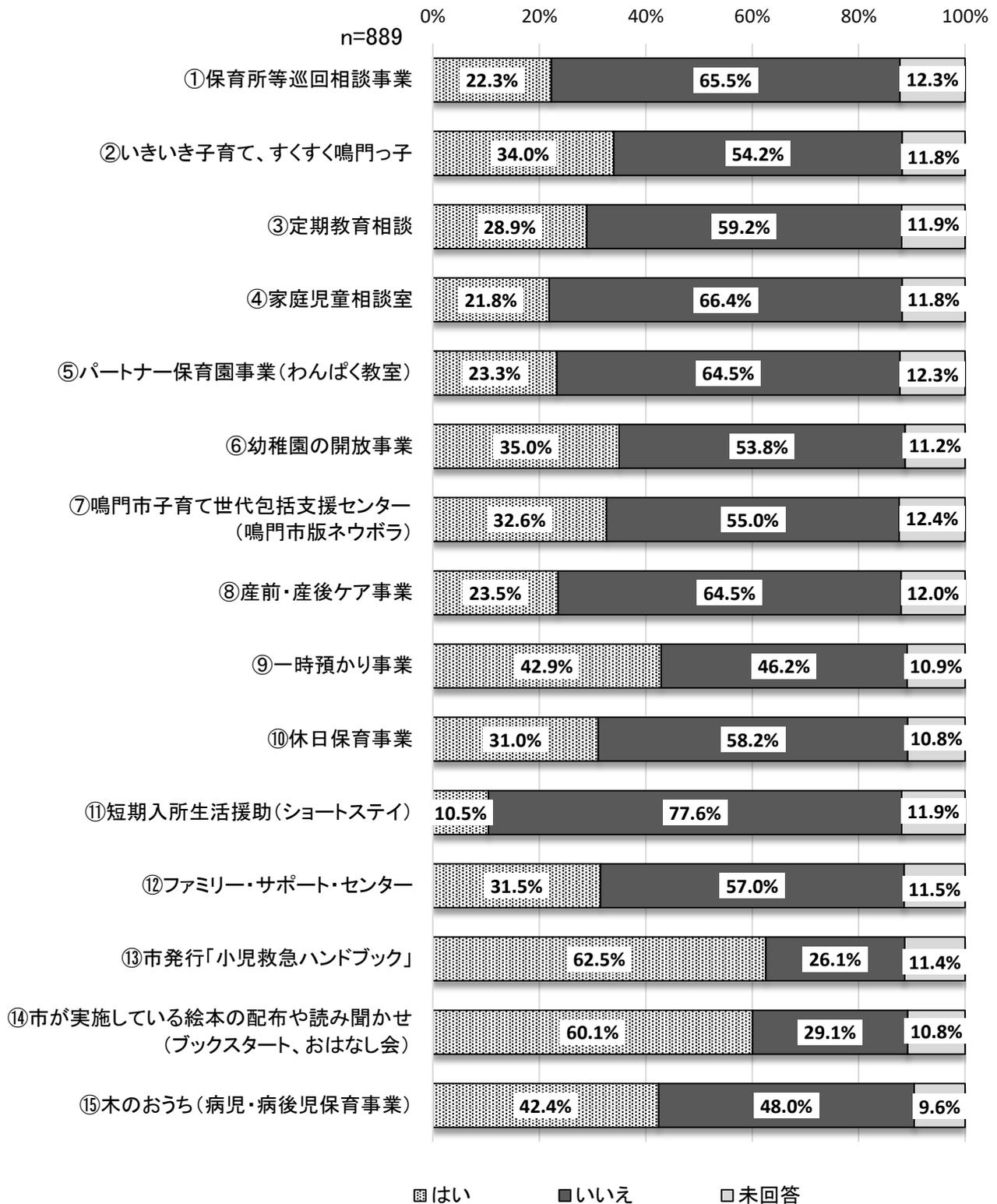
## ■B 事業の利用の有無

鳴門市で実施している子育て事業のこれまでの利用経験の有無は、上位から「⑬市発行『小児救急ハンドブック』」40.2%、「⑭市が実施している絵本の配布や読み聞かせ（ブックスタート、おはなし会）」39.4%、「⑦鳴門市子育て世代包括支援センター（鳴門市版ネウボラ）」26.1%となっています。



■C 事業の今後の利用意向

鳴門市で実施している子育て事業の今後の利用希望は、上位から「⑬市発行『小児救急ハンドブック』」62.5%、「⑭市が実施している絵本の配布や読み聞かせ（ブックスタート、おはなし会）」60.1%、「⑨一時預かり事業」42.9%となっています。

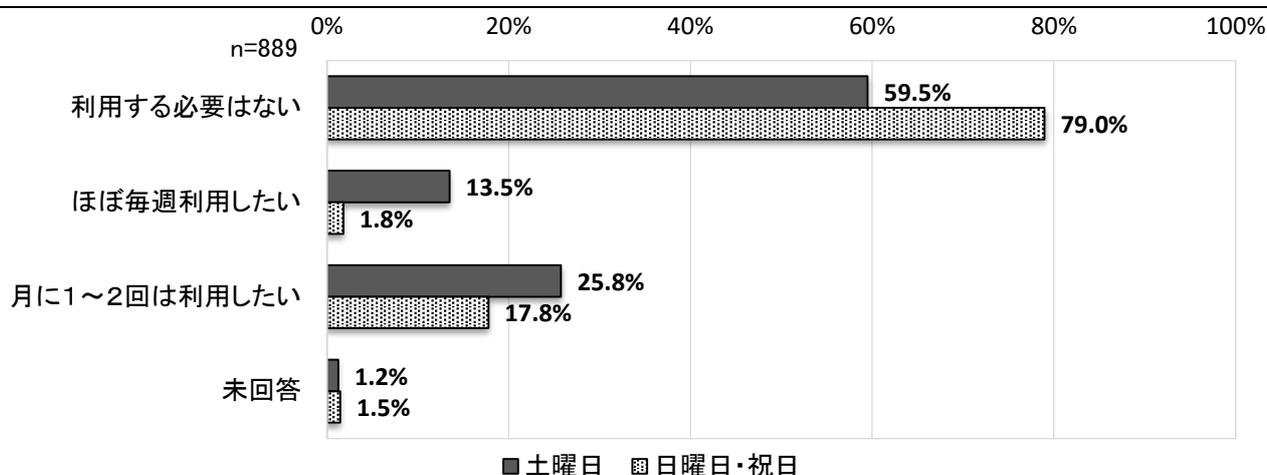


## あて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についておうかがいします

問21 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（1つに○）

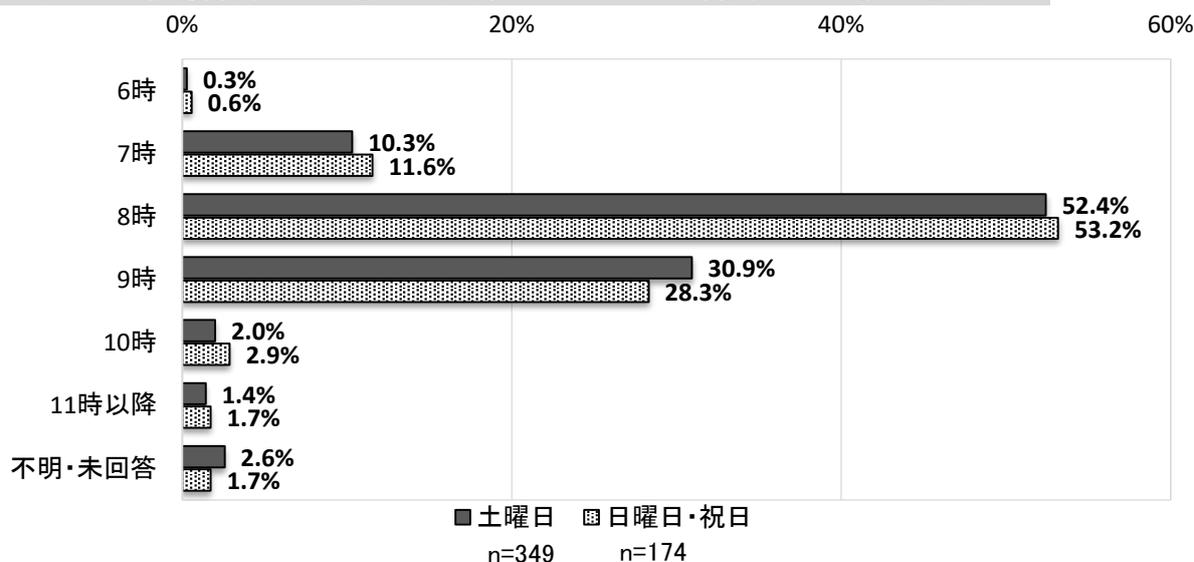
土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」の割合が最も高く、それぞれ59.5%、79.0%となっています。

希望する利用時間帯については、開始時間は土曜日、日曜日・祝日ともに「8時」の割合が最も高く、それぞれ52.4%、53.2%となっています。終了時間は、土曜日では「18時」の割合が最も高く、35.2%、日曜日・祝日では「17時」の割合が最も高く、37.9%となっています。



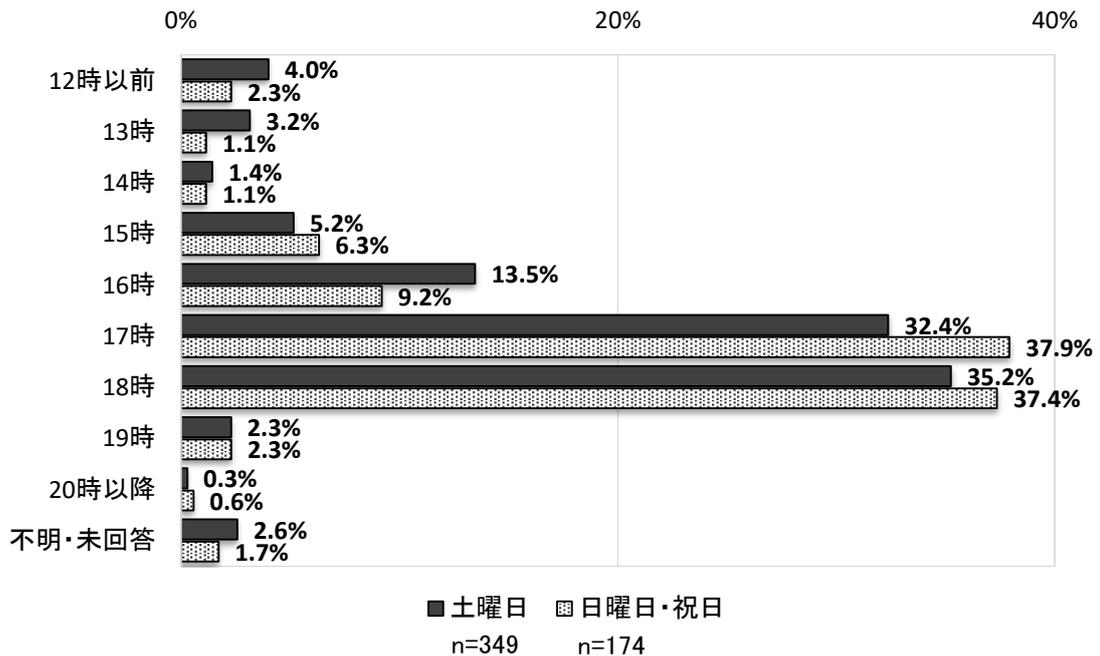
### ■ 希望する利用開始時間（数量回答）

※ 「2. ほぼ毎週利用したい」「3. 月に1~2回は利用したい」と答えた方



■希望する利用終了時間（数量回答）

※「2. ほぼ毎週利用したい」「3. 月に1～2回は利用したい」と答えた方

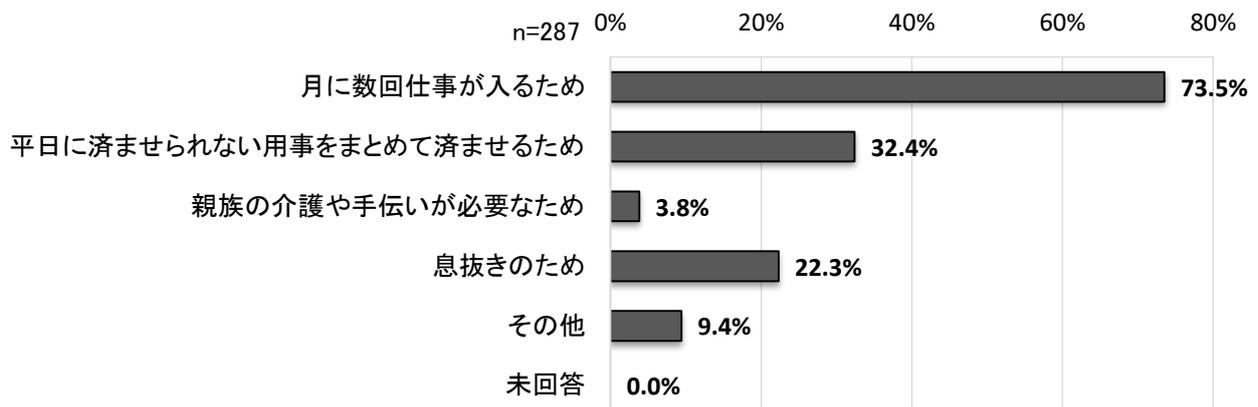


問21-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

※問21の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」と答えた方

毎週ではなくたまに利用したい方の理由は、上位から「月に数回仕事が入るため」が73.5%、「平日で済ませられない用事をまとめて済ませるため」32.4%、「息抜きのため」22.3%となっています。



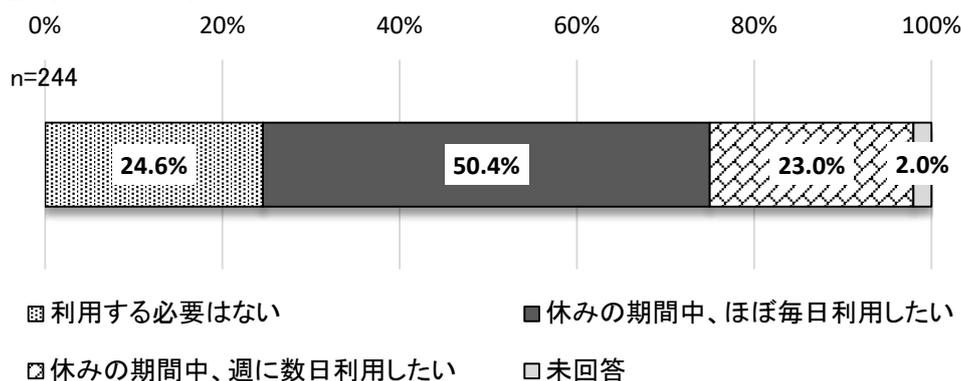
問22 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

※幼稚園を利用されている方

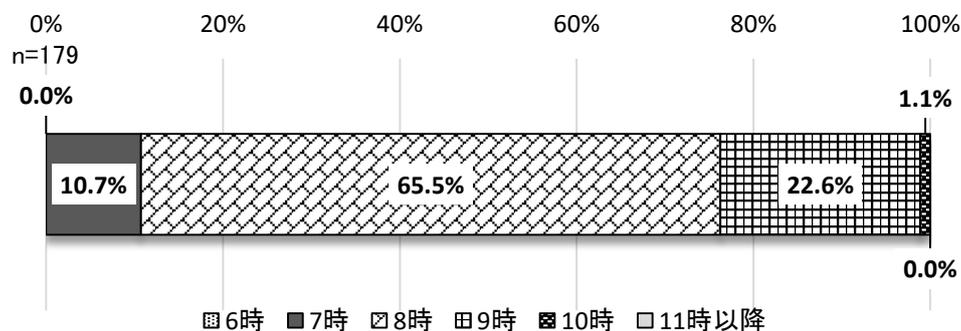
幼稚園を利用されている方の、長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」50.4%の割合が最も高く、次いで「利用する必要はない」24.6%となっています。

希望する利用時間帯は、開始時間が「8時」65.5%の割合が最も高く、終了時間は「18時」40.1%の割合が最も高く、次いで「17時」28.2%となっています。

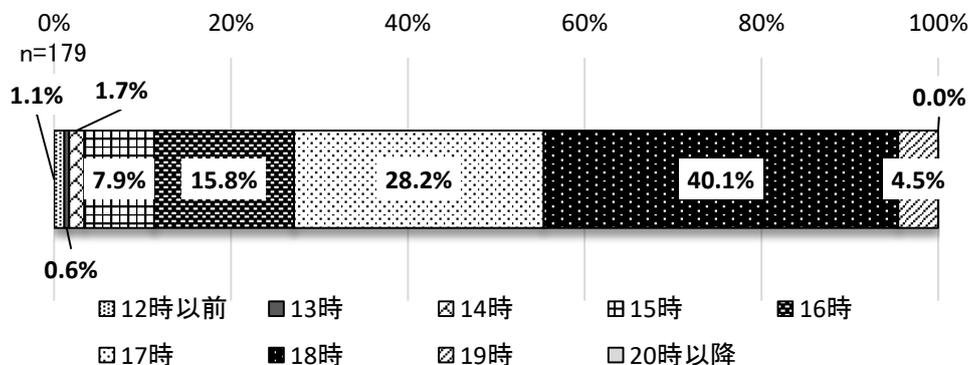
●利用の希望（1つに○）



●希望する利用開始時間（数量回答）



●希望する利用終了時間（数量回答）

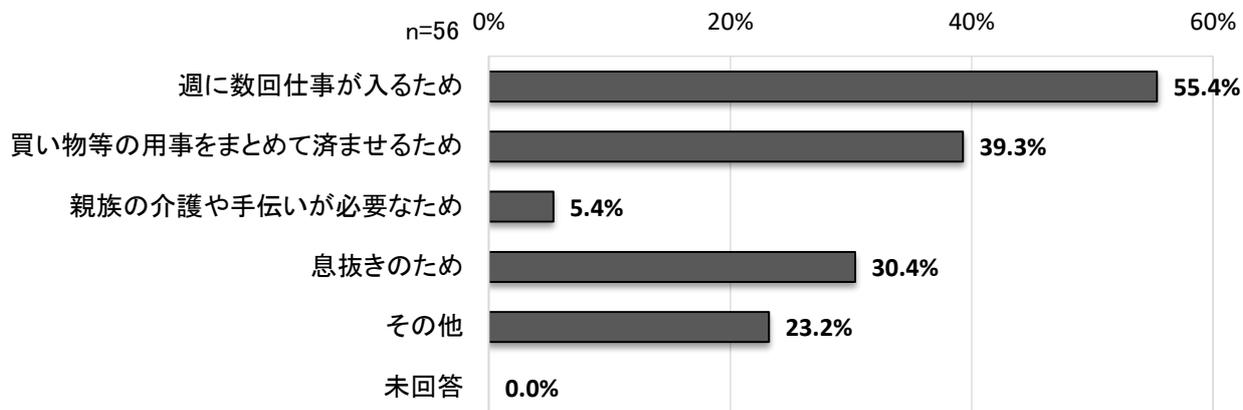


問22-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

※問22で、「3.休みの期間中、週に数日利用したい」と答えた方

幼稚園を利用されている方の長期の休暇期間中の教育・保育事業をたまに利用したい理由は、上位から「週に数回仕事が入るため」55.4%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」39.3%、「息抜きのため」30.4%となっています。



## 「幼児教育・保育無償化」についておうかがいします

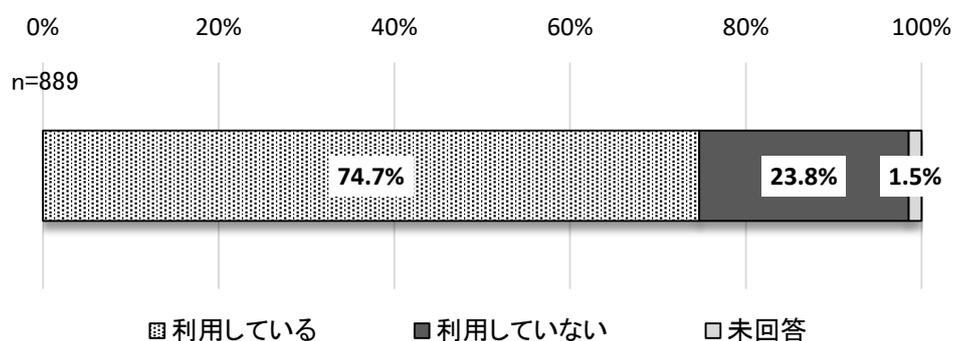
問23 現在、「教育・保育施設」を利用していますか。

利用している方は、幼児教育・保育無償化が実施された場合、教育・保育施設を継続して利用したいですか。それとも異なる教育・保育施設を利用したいですか。

利用していない方は、幼児教育・保育無償化が実施された場合、新たに教育・保育施設利用を希望しますか。

### ■教育・保育施設の利用状況（1つに○）

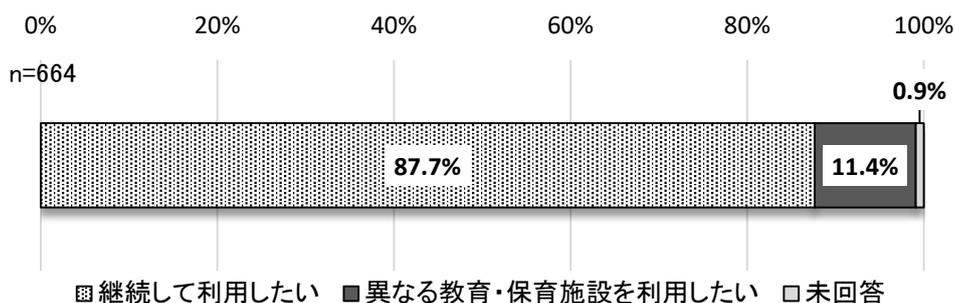
現在、教育・保育施設を利用しているかどうかは、「利用している」74.7%、「利用していない」23.8%となっています。



### ■利用している方の利用の意思（1つに○）

#### ※「1. 利用している」と答えた方

幼児教育・保育無償化が実施された場合、現在利用している教育・保育施設の継続利用の意思は、「継続して利用したい」87.7%でほとんどを占めています。「異なる教育・保育施設を利用したい」11.4%となっています。

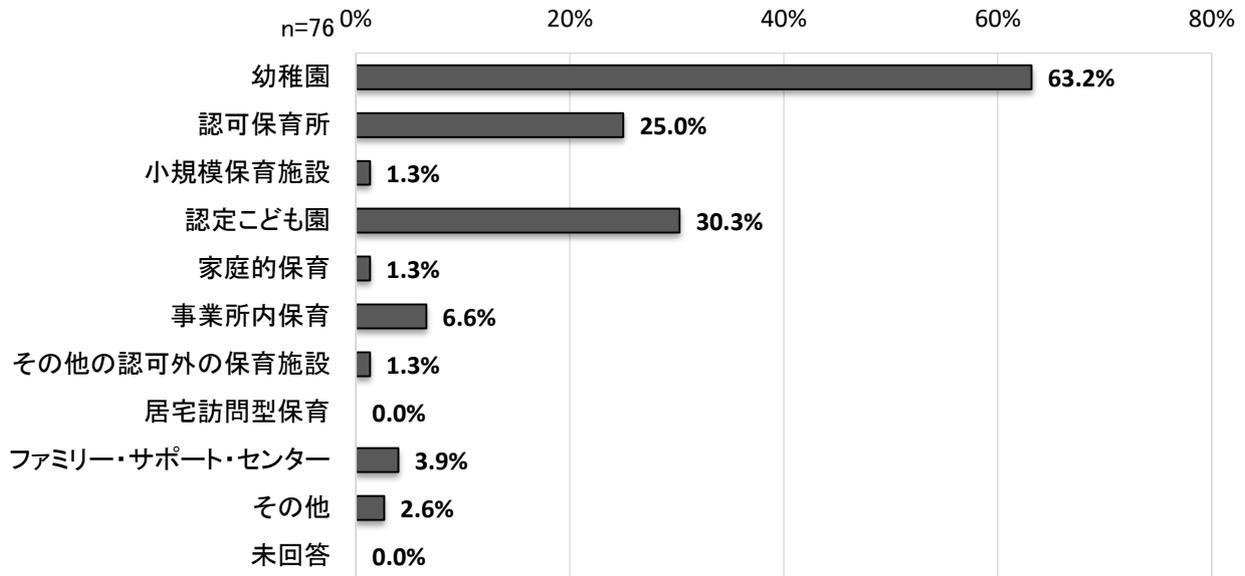


■異なる教育・保育施設を利用したい場合、どの教育・保育施設を利用したいですか。

(あてはまるものすべてに○)

※「2. 異なる教育・保育施設を利用したい」と答えた方

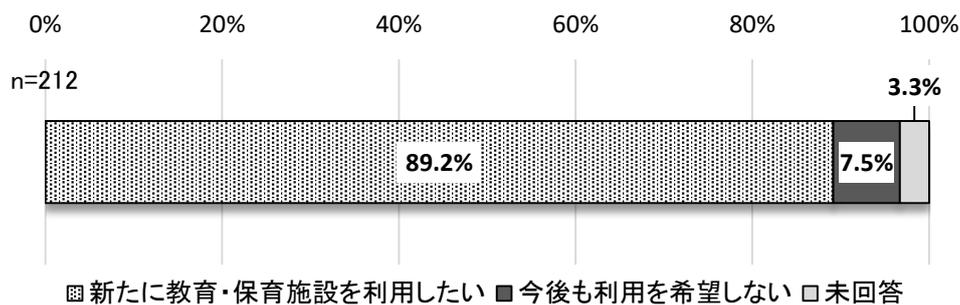
異なる教育・保育施設を利用したい方の利用場所は、上位から「幼稚園」63.2%、「認定こども園」30.3%、「認可保育所」25.0%となっています。



■利用していない方の利用の意思 (1つに○)

※「2. 利用していない」と答えた方

幼児教育・保育無償化が実施された場合、新たな教育・保育施設の利用希望は、「新たに教育・保育施設を利用したい」89.2%とほとんどを占めています。

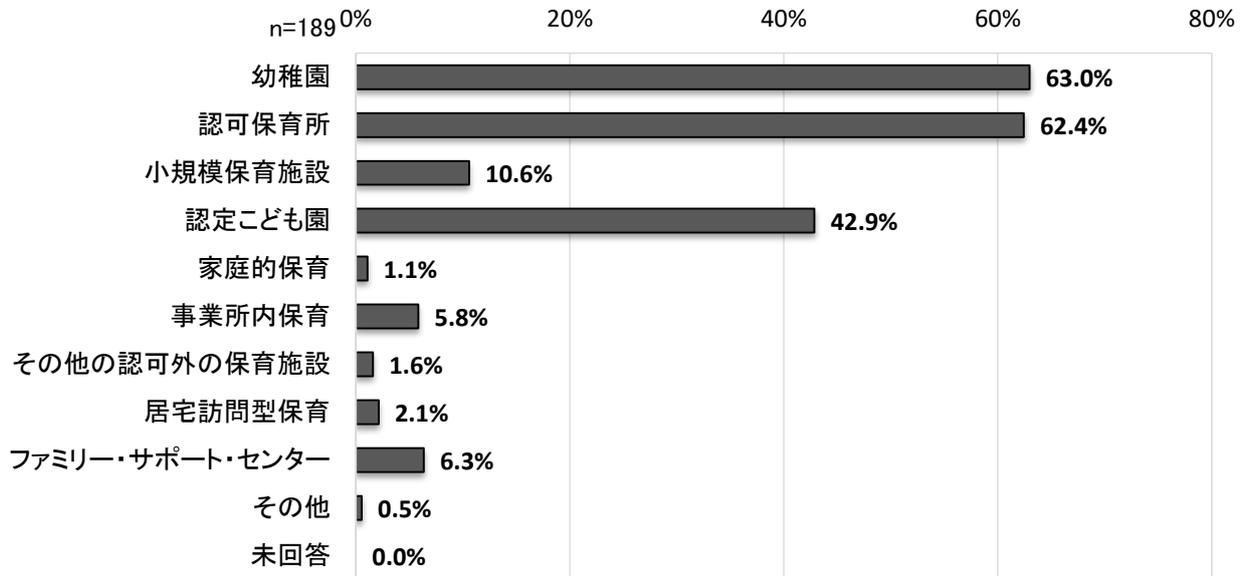


■新たに教育・保育施設を利用したい場合、どの教育・保育施設を利用したいですか。

(あてはまるものすべてに○)

※「1. 新たに教育・保育施設を利用したい」と答えた方

新たに教育・保育施設を利用する場合の施設は、上位から「幼稚園」63.0%、「認可保育所」62.4%、「認定こども園」42.9%となっています。



**あて名のお子さんの病気の際の対応についておうかがいします  
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

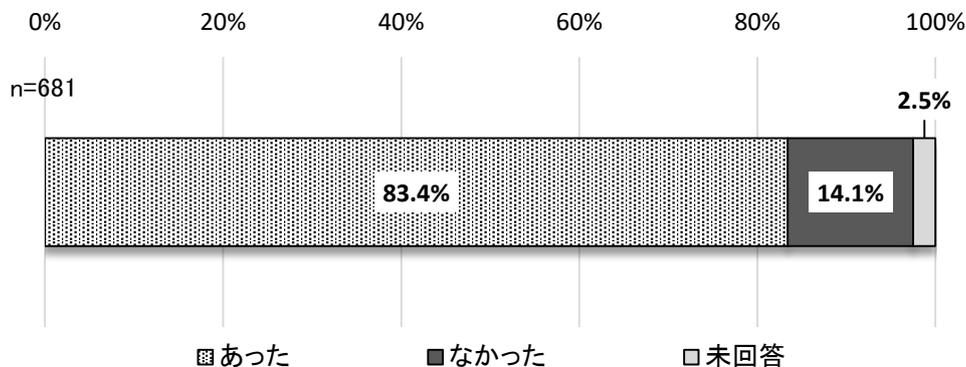
問24 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

また、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。

※平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた方(問16で「1. 利用している」と答えた方)

■通常の事業が利用できなかったことの有無(1つに○)

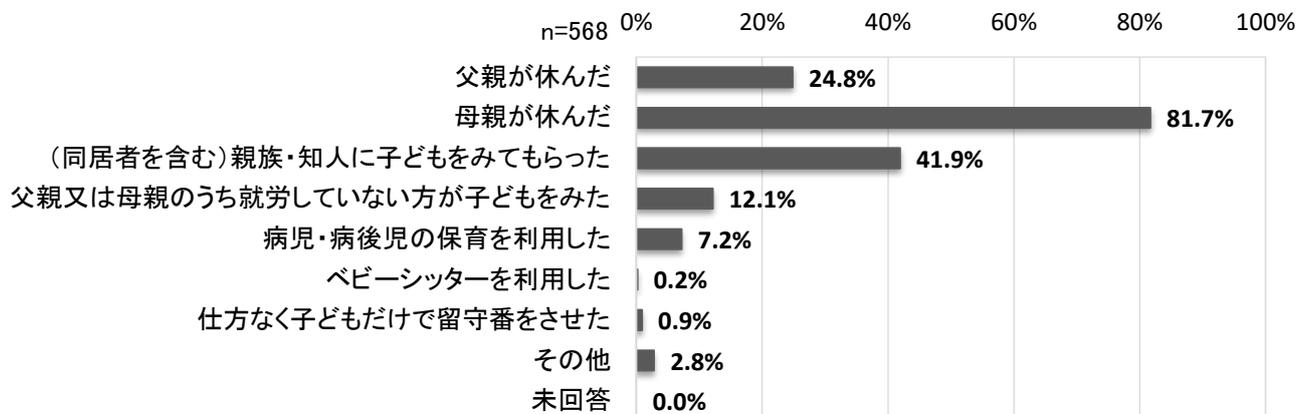
通常の事業が利用できなかったことの有無については、「あった」83.4%とほとんどを占めています。



■この1年間の対処方法(あてはまるものすべてに○)

※「1. あった」と答えた方

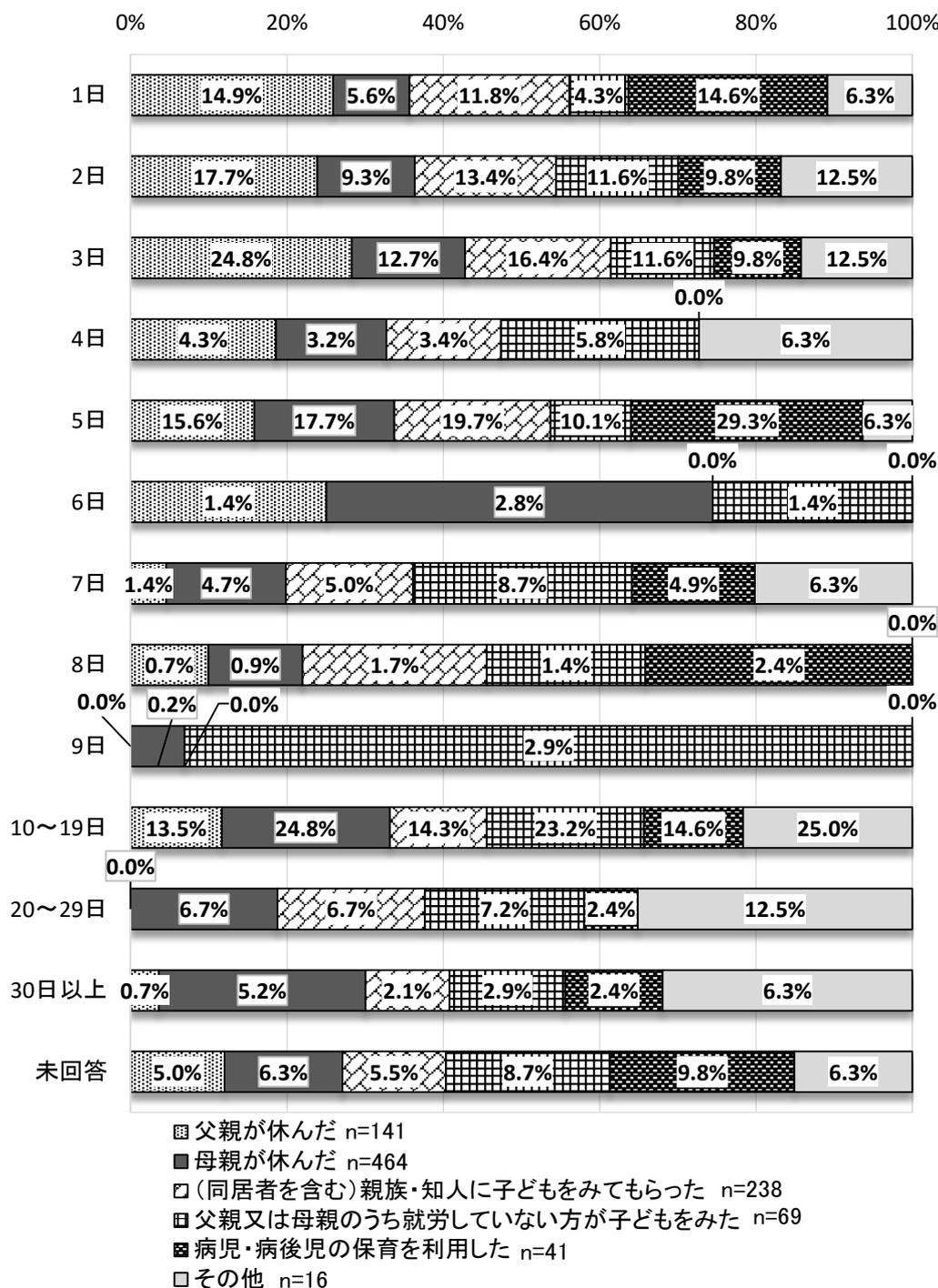
子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対処法についてみると、上位から「母親が休んだ」81.7%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」41.9%、「父親が休んだ」24.8%となっています。



■ 対処日数（数量回答）

※ 「1. あった」と答えた方

子どもが病気やケガの際のそれぞれの対処日数については、「母親が休んだ」では「10～19日」24.8%の割合が最も高くなっています。「父親が休んだ」では「3日」が24.8%、「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」では「5日」が19.7%と最も高くなっています。



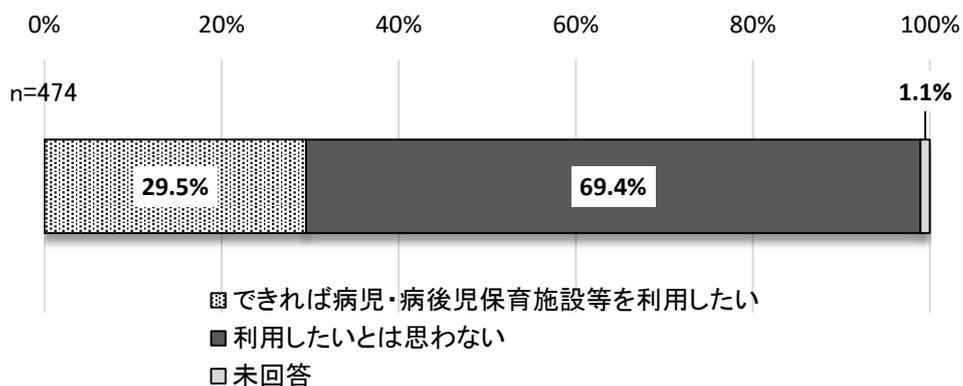
※ 「ベビーシッターを利用した」で、「2日」に1件の回答がありました。「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」では、「1日」に1件、「3日」に2件、「5日」に2件の回答がありました。

問24-1 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

※問24で「1.父親が休んだ」「2.母親が休んだ」と答えた方

■病気の際の利用の意向（1つに○）

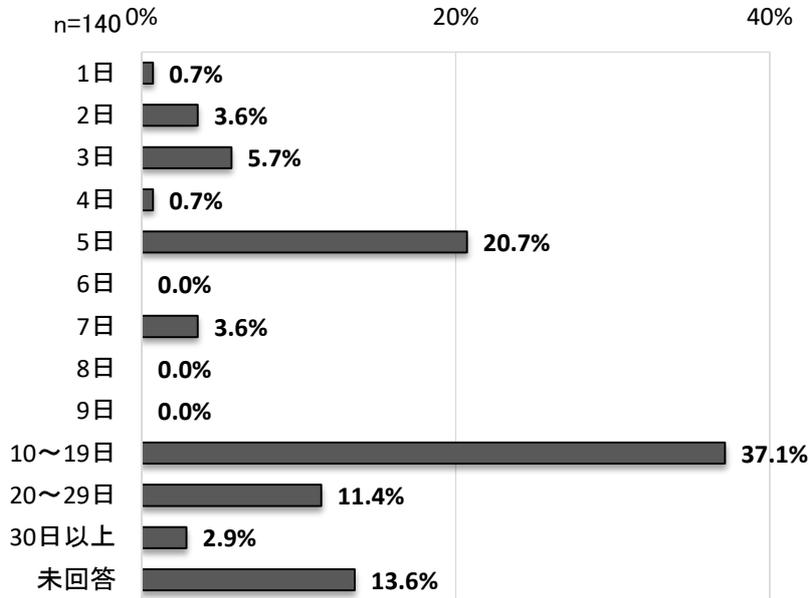
父親または母親が休んだ方のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選択した方は29.5%、「利用したいとは思わない」を選択した方は69.4%となっています。



■利用希望日数（数量回答）

※「1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と答えた方

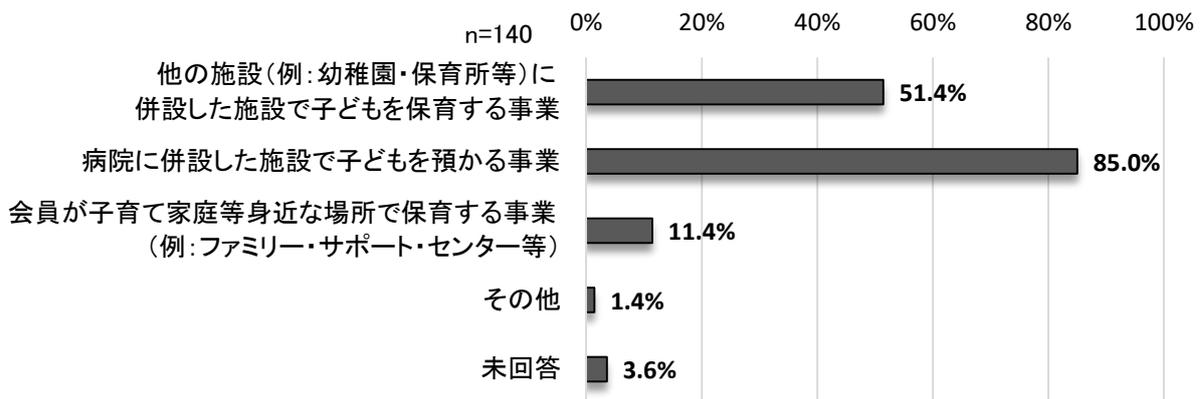
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数については、「10～19日」37.1%の割合で最も高く、次いで「5日」20.7%となっています。



■利用を希望する事業形態（あてはまるものすべてに○）

※「1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と答えた方

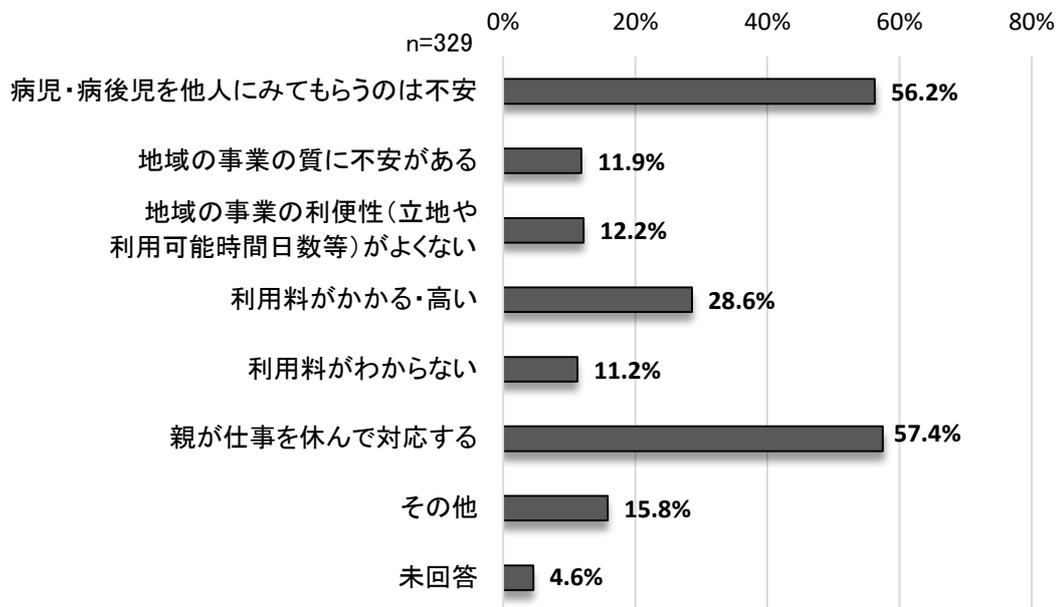
利用を希望する事業形態については、「病院に併設した施設で子どもを預かる事業」85.0%、次いで「他の施設（例：幼稚園、保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」51.4%となっています。



■利用を希望しない理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 利用したいとは思わない」と答えた方

利用を希望しない理由については、上位から「親が仕事を休んで対応する」57.4%、「病児・病後児を他人に見てもらうのは不安」56.2%、「利用料がかかる・高い」28.6%となっています。

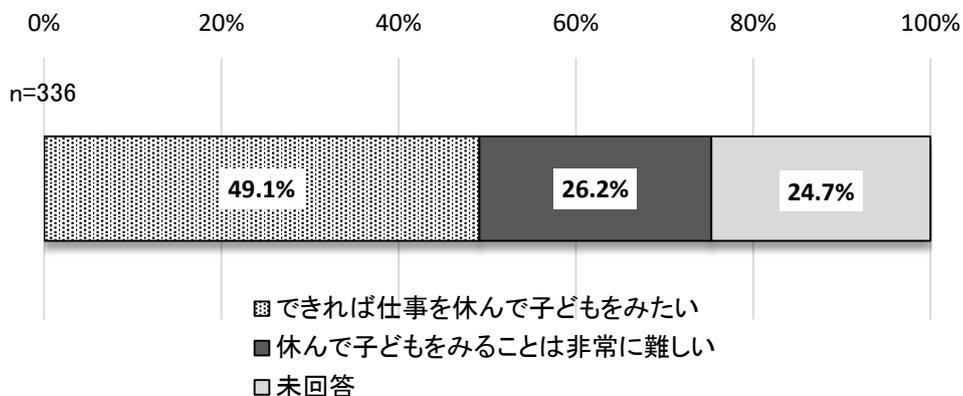


問24-2 その際、できれば父母のいずれかが仕事を休んでお子さんをみたいと思われましたか。また、「3」から「8」の日数のうち仕事を休んでお子さんをみたかった日数をお答えください。

※問24で「3」から「8」のいずれかに回答した方

■病気の際の休みの意向（1つに○）

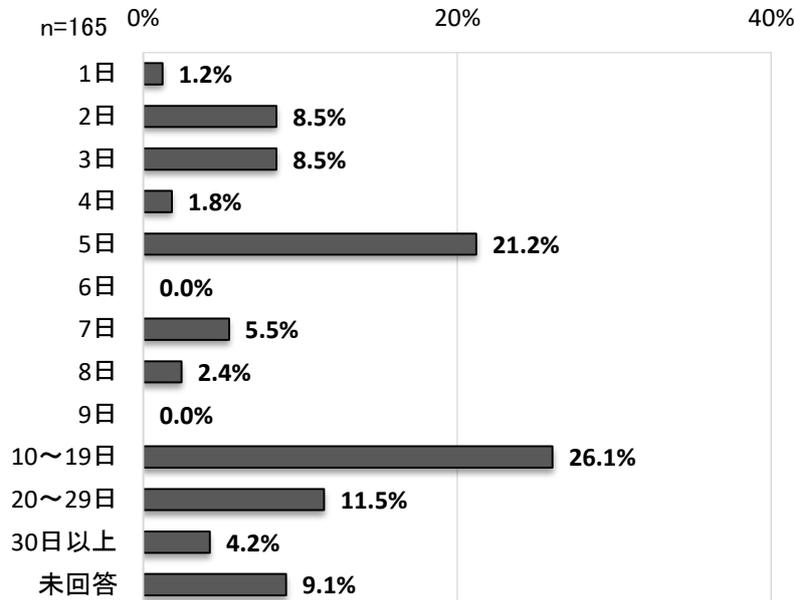
病気の際の意向については、「できれば仕事を休んで子どもをみたい」49.1%、「休んで子どもをみることは非常に難しい」26.2%となっています。



■休みの希望日数（数量回答）

※「1. できれば仕事を休んで子どもをみたい」と答えた方

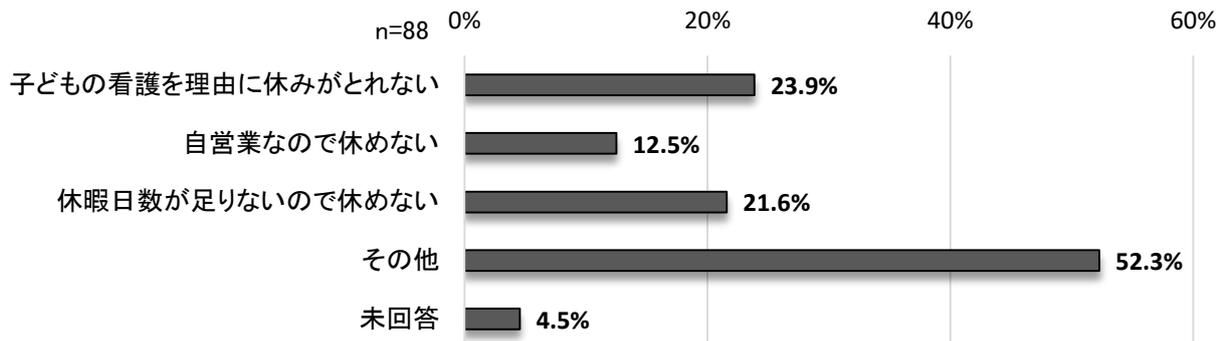
休みの希望日数は、「10～19日」26.1%、次いで「5日」21.2%となっています。



■休むことが非常に難しい理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」と答えた方

休むことが難しい理由では、上位から「その他」52.3%、「子どもの看護を理由に休みがとれない」23.9%、「休暇日数が足りないので休めない」21.6%となっています。

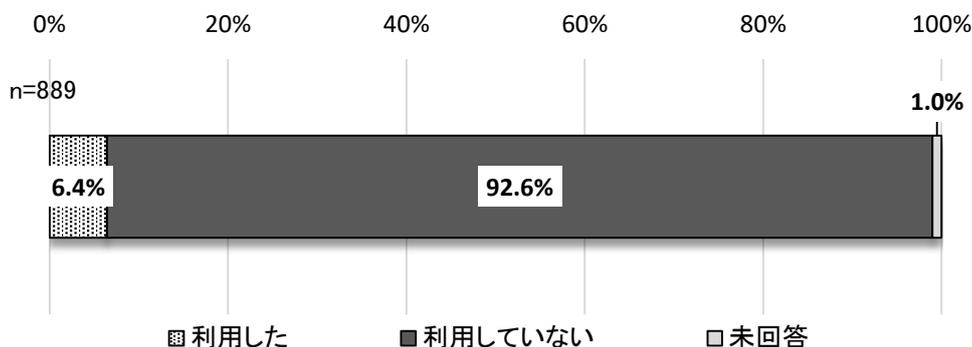


あて名のお子さんの不定期の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についておうかがいします

問25 あて名のお子さんについて、日中の保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）をお答えください。  
（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）

■利用の有無（1つに○）

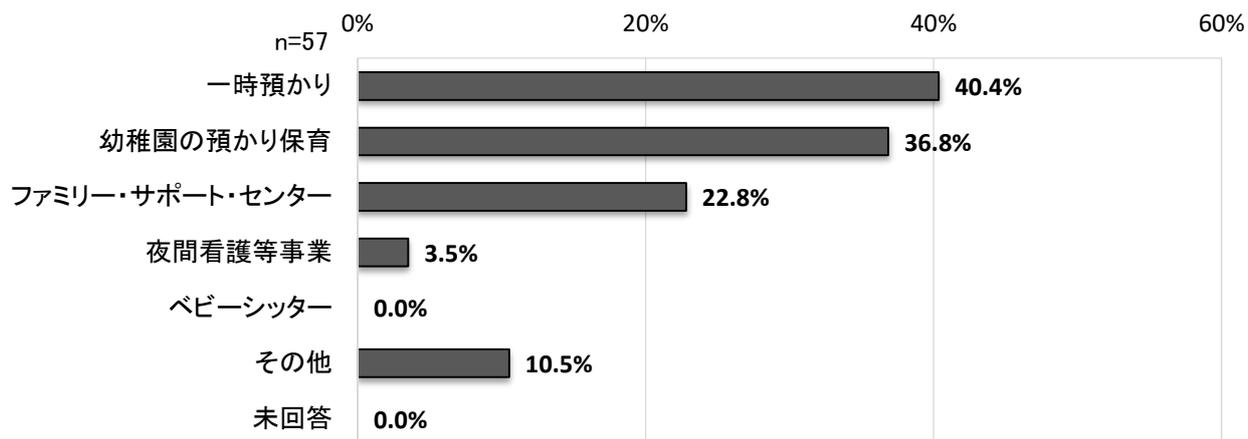
私用や不定期の就労などの理由で、不定期の事業の利用の有無は、「利用していない」92.6%の割合でほとんどを占めています。



■利用している事業（あてはまるものすべてに○）

※「1. 利用した」と答えた方

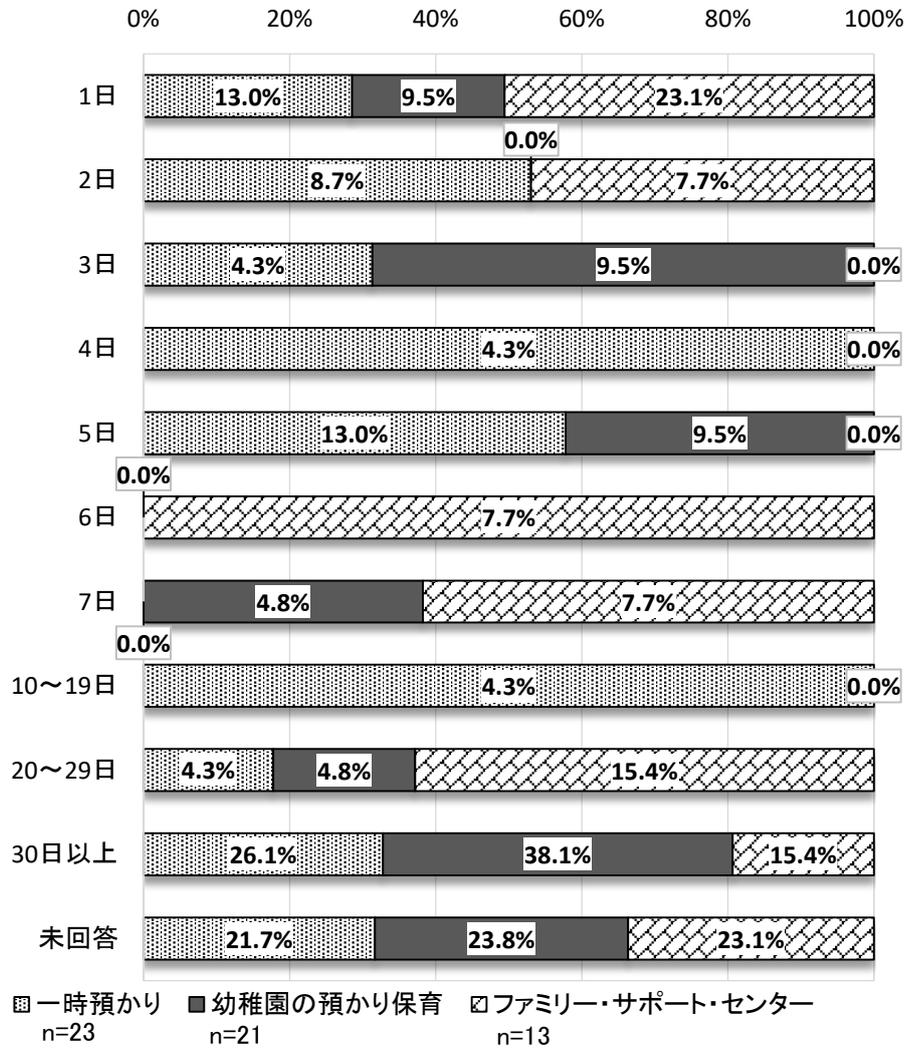
利用している事業については、上位から「一時預かり」40.4%、「幼稚園の預かり保育」36.8%、「ファミリー・サポート・センター」22.8%となっています。



■年間利用延べ日数（数量回答）

※「1. 利用した」と答えた方

利用している事業の1年間の利用日数は、「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」では「30日以上」がそれぞれ、26.1%、38.1%と最も高くなっています。「ファミリー・サポート・センター」では「1日」が23.1%と最も高くなっています。

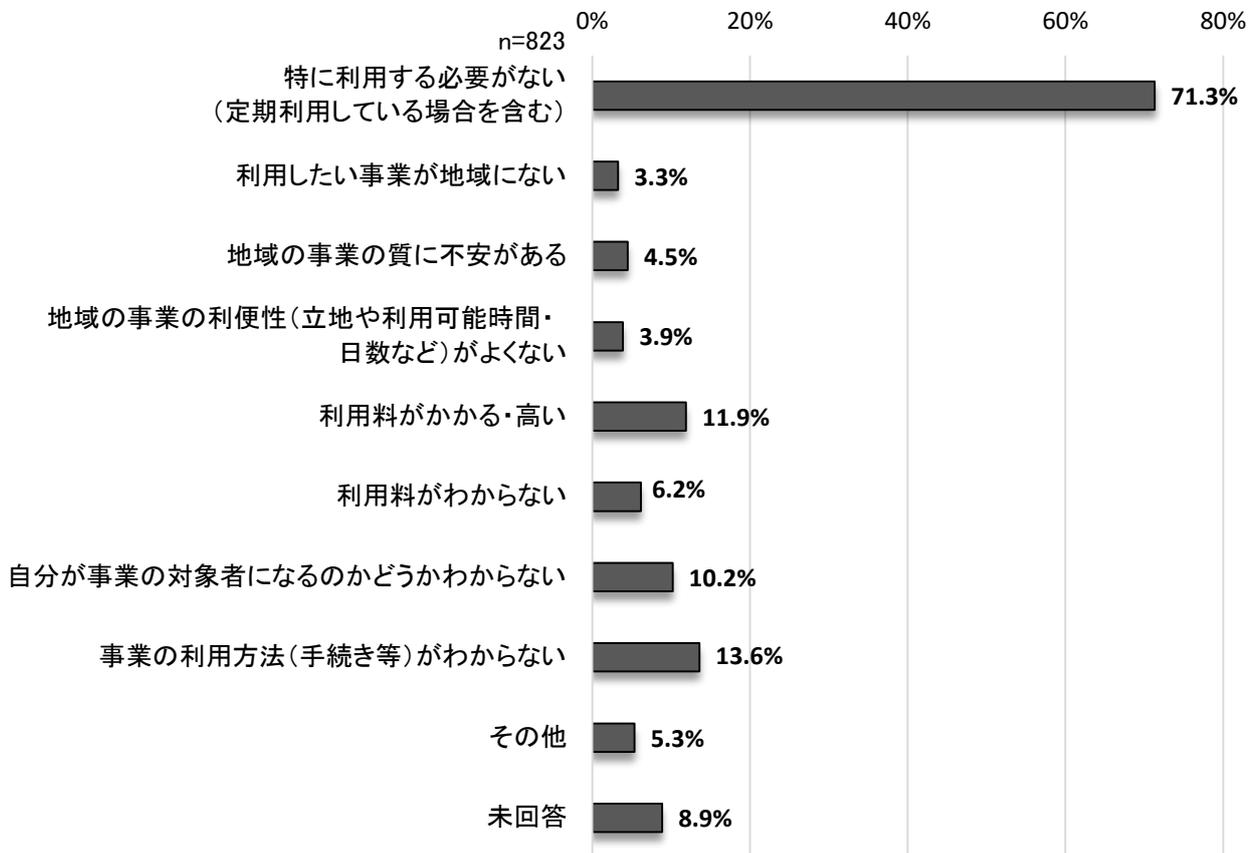


※「夜間看護等事業」では、「9日」に1件の回答がありました。「ベビーシッター」の回答はありませんでした。

■利用していない理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 利用していない」と答えた方

利用していない理由では、「特に利用する必要がない」が71.3%と最も高くなっています。

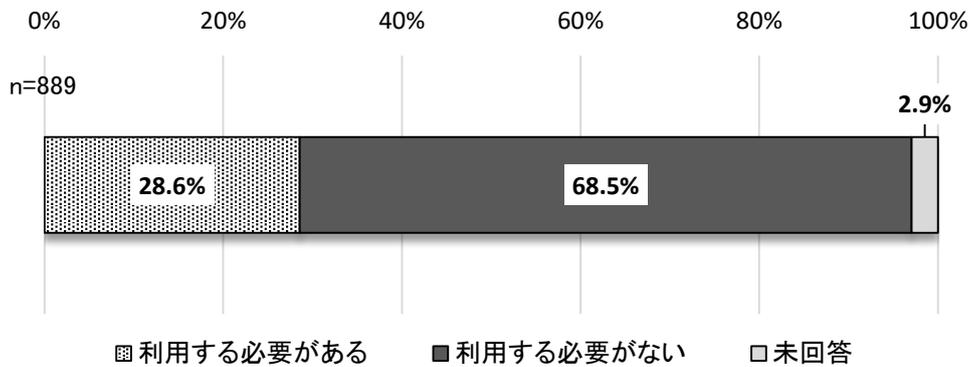


問26 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）をお答えください。

■利用の有無（1つに○）

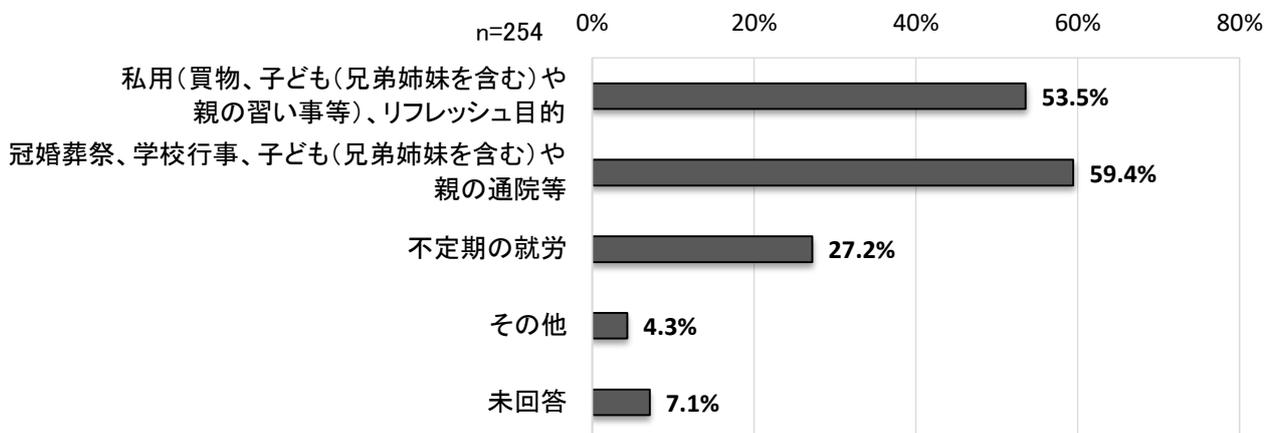
利用の有無では、「利用する必要は無い」68.5%、「利用したい」28.6%となっています



■希望する利用目的（あてはまるものすべてに○）

※「1. 利用する必要がある」と答えた方

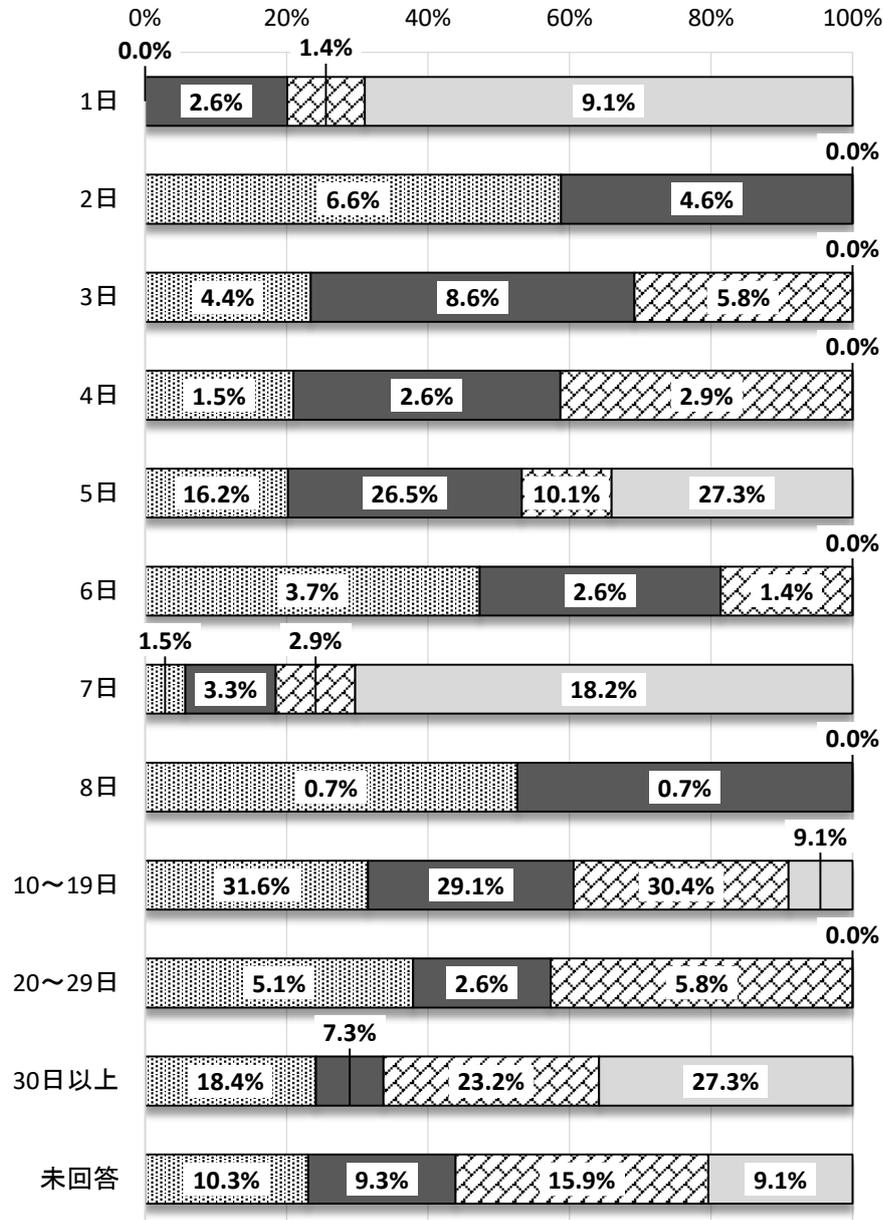
利用したい目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」59.4%、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」53.5%となっています。



■年間利用延べ日数（数量回答）

※「1. 利用する必要がある」と答えた方

利用したい年間延べ日数は、「その他」以外の全てで「10～19日」の割合が最も高くなっています。



▣私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的 n=136

■冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等 n=151

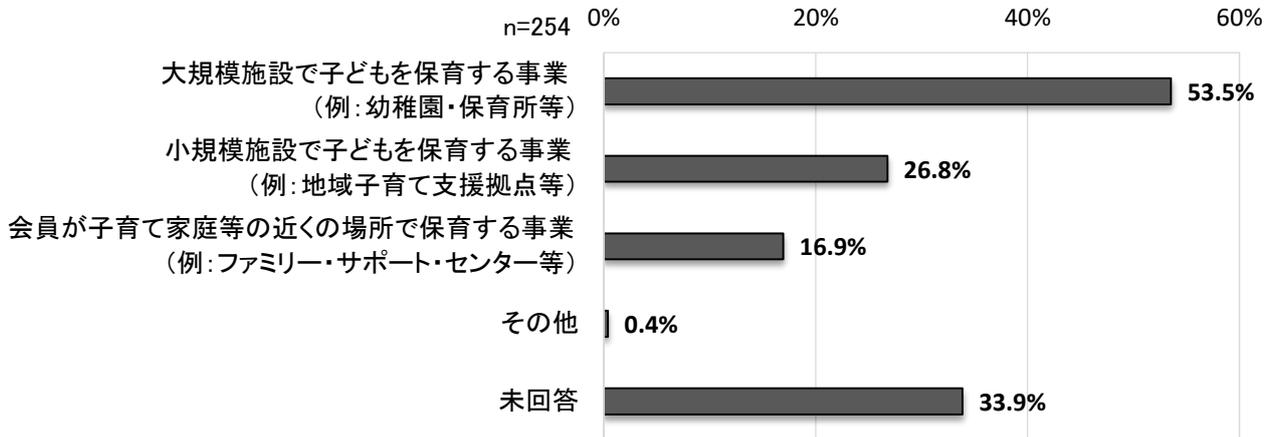
▣不定期の就労 n=69

□その他 n=11

■利用を希望する事業形態（あてはまるものすべてに○）

※「1. 利用する必要がある」と答えた方

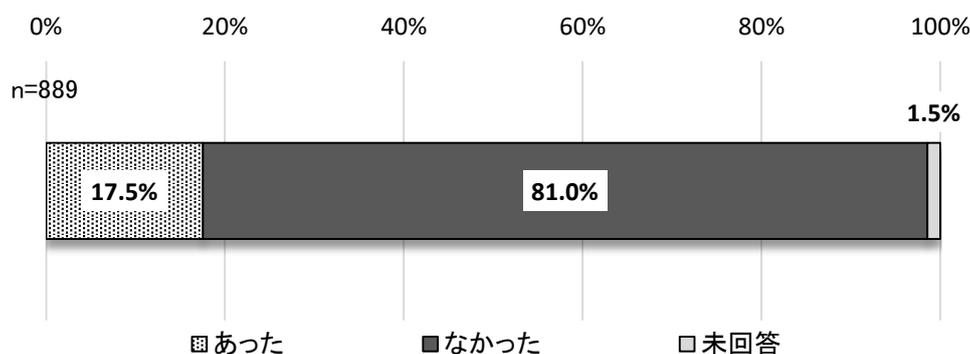
希望する事業形態は、上位から「大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）」53.5%、「小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域型保育事業など）」26.8%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」16.9%となっています。



問27 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）  
また、あった場合は、この1年間の対処方法は何ですか。それぞれの日数をお答えください。

■ 必要性の有無（1つに○）

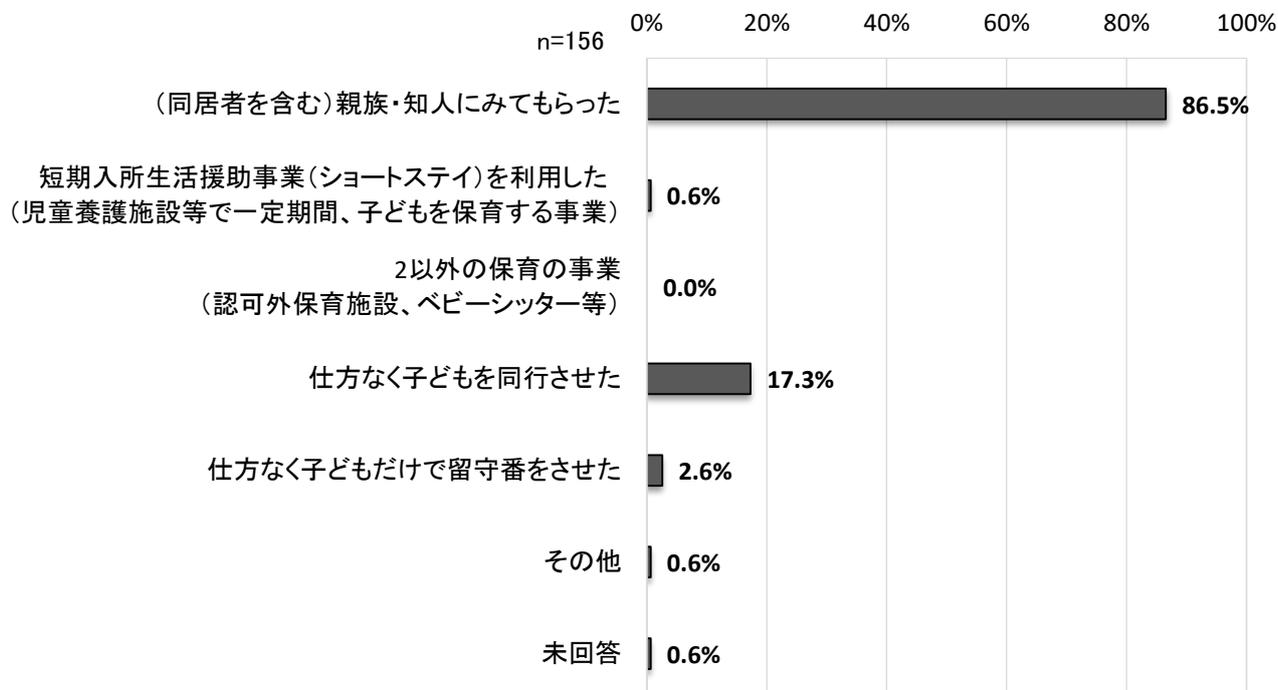
必要性の有無については、「なかった」81.0%、「あった」17.5%となっています。



■ この1年間の対処方法（あてはまるものすべてに○）

※ 「1. あった」と答えた方

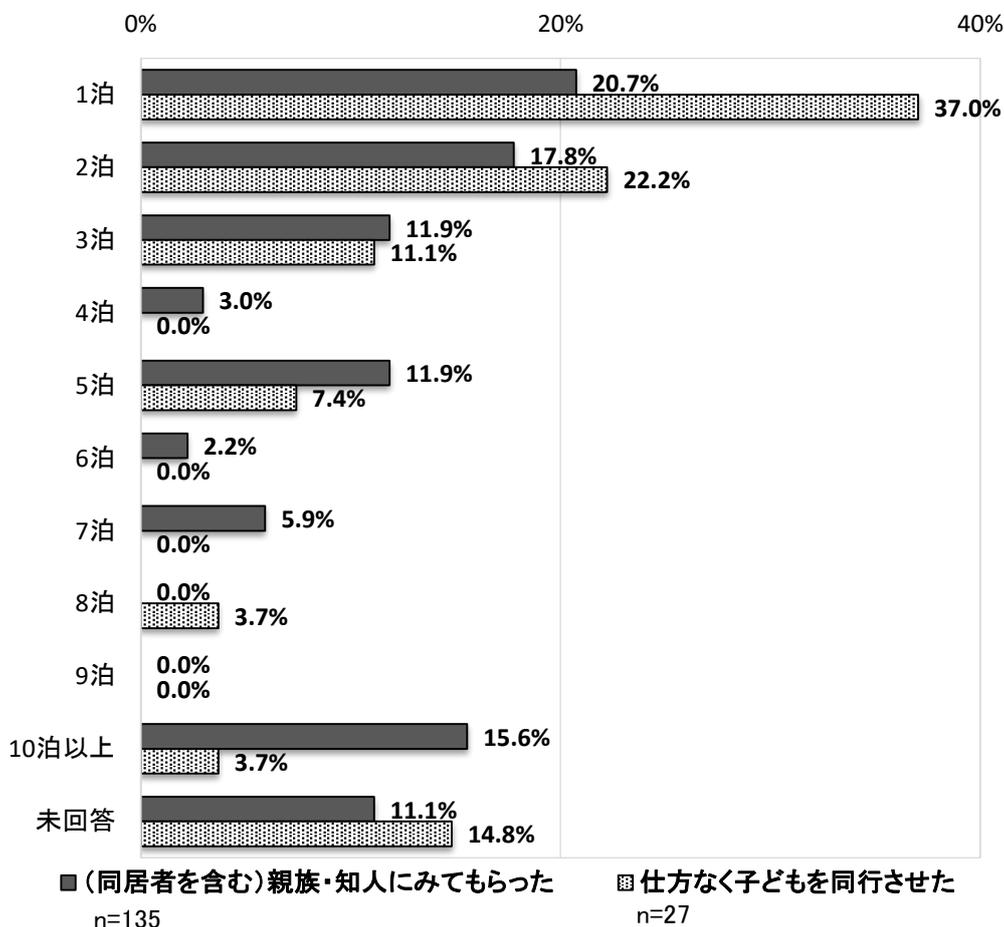
対処方法については、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」86.5%、ついて「仕方なく子どもを同行させた」17.3%となっています。



■年間延べ日数（数量回答）

※「1. あった」と答えた方

預けた泊数は、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と「仕方なく子どもを同行させた」では「1泊」の割合が、それぞれ20.7%、37.0%と最も高くなっています。

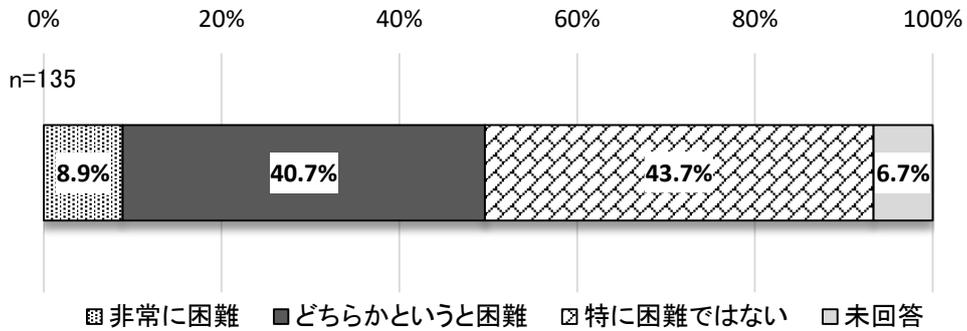


年間 対処日数	(同居者を含む)親族・知人にみてもらった		短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業)		2以外の保育の事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)		仕方なく子どもを同行させた		仕方なく子どもだけで留守番をさせた		その他	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1泊	28	20.7%	0	0.0%	0	0.0%	10	37.0%	2	0.0%	0	0.0%
2泊	24	17.8%	1	100.0%	0	0.0%	6	22.2%	1	0.0%	0	0.0%
3泊	16	11.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	11.1%	1	0.0%	0	0.0%
4泊	4	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5泊	16	11.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	7.4%	0	0.0%	0	0.0%
6泊	3	2.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7泊	8	5.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%
8泊	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%
9泊	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10泊以上	21	15.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%
未回答	15	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	4	14.8%	0	0.0%	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>135</b>	<b>100.0%</b>	<b>1</b>	<b>100.0%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>27</b>	<b>100.0%</b>	<b>4</b>	<b>0.0%</b>	<b>1</b>	<b>100.0%</b>
	n=	135	n=	1	n=	0	n=	27	n=	4	n=	1

問27-1 その場合、どの程度困難でしたか。(1つに○)

※問27で「1.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方

「(同居を含む)親族・知人にみてもらった」場合の困難の程度については、「特に困難ではない」43.7%、次いで「どちらかというと困難」40.7%となっています。



**あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の  
放課後の過ごし方についておうかがいします**

問28 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

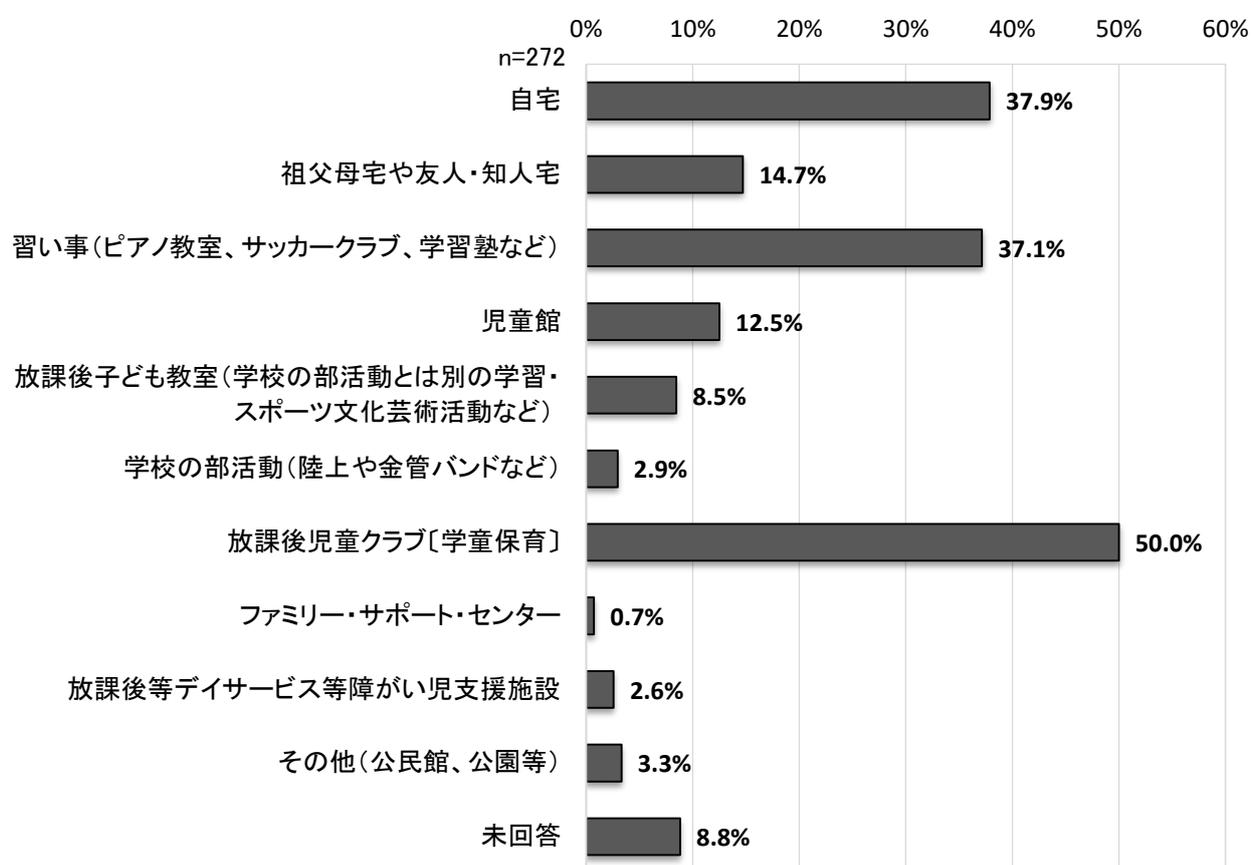
また、それぞれ希望する週当たり日数をお答えください。

「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間をお答えください。

※あて名のお子さんが5歳以上の方

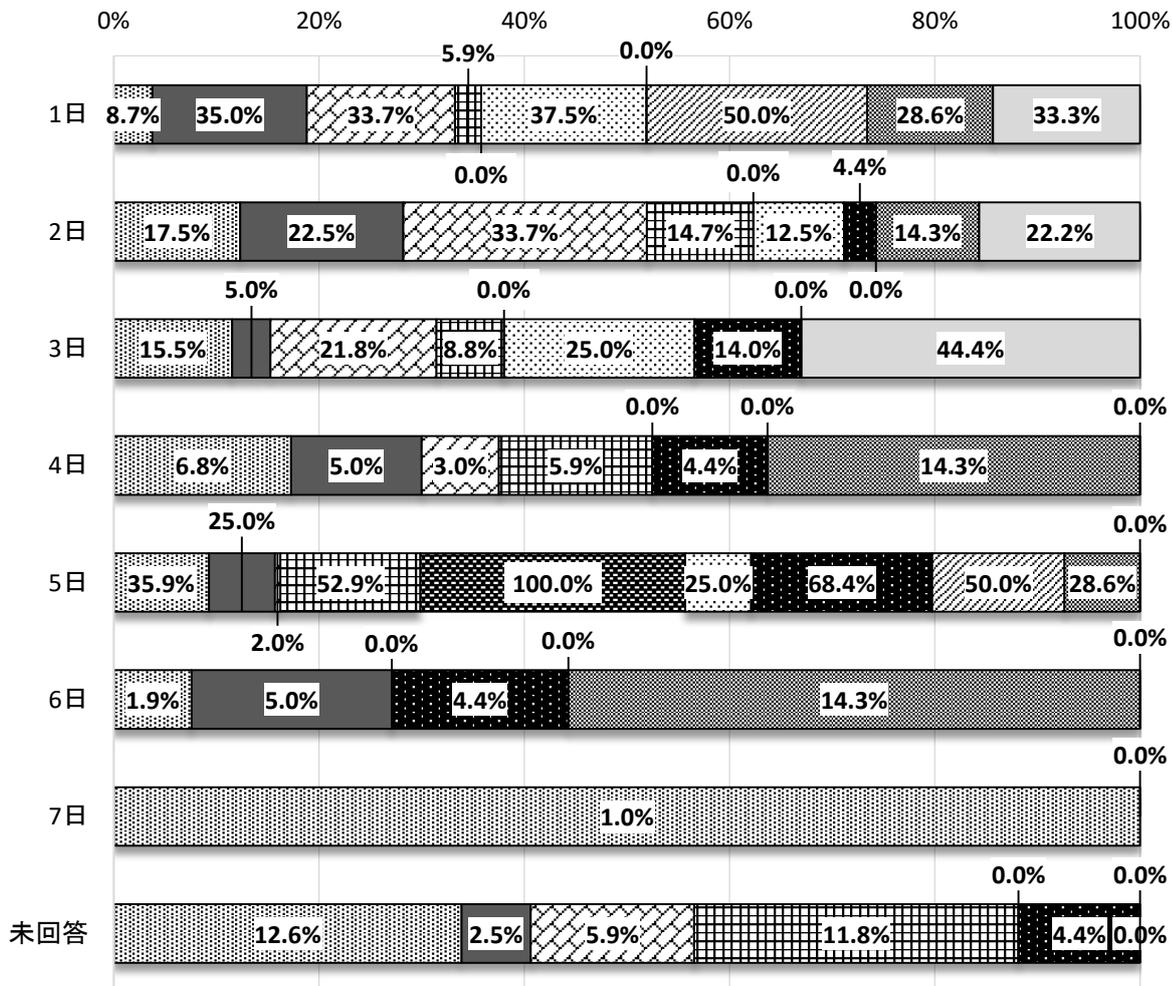
■放課後過ごさせたい場所（あてはまるものすべてに○）

小学校低学年のうちで、放課後の時間を過ごさせたいと思う場所は、上位から「放課後児童クラブ（学童保育）」50.0%、「自宅」37.9%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」37.1%となっています。



■放課後過ごさせたい場所それぞれの週当たりの希望日数（数量回答）

週当たりの利用希望日数は、「自宅」「児童館」「放課後子ども教室（学校の部活動とは別の学習・スポーツ・文化芸術活動など）」「放課後児童クラブ（学童保育）」で「5日」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」で「1日」「2日」、「祖父母宅や友人・知人宅」「学校の部活動（陸上や金管バンドなど）」で「1日」が高くなっています。

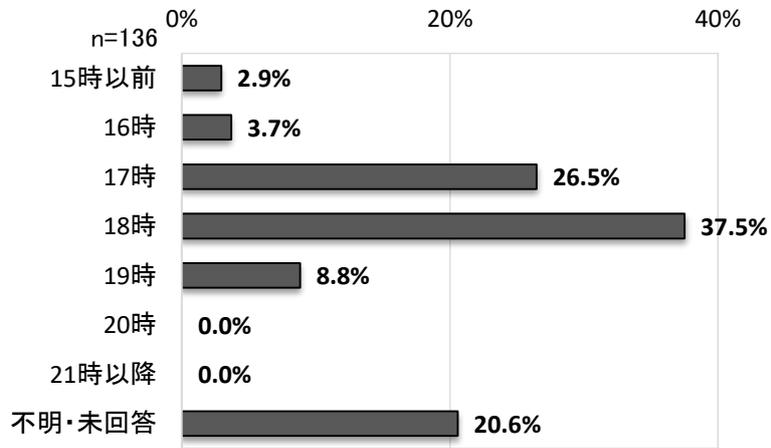


- 自宅 n=103
- 祖父母宅や友人・知人宅 n=40
- 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） n=101
- 田 児童館 n=34
- 放課後子ども教室（学校の部活動とは別の学習・スポーツ・文化芸術活動など） n=23
- 学校の部活動（陸上や金管バンドなど） n=8
- 放課後児童クラブ〔学童保育〕 n=136
- ファミリー・サポート・センター n=2
- 放課後等デイサービスなど障がい児支援施設 n=7
- その他（公民館、公園など） n=9

■放課後児童クラブの希望する下校時からの利用時間（数量回答）

※「7. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」と答えた方

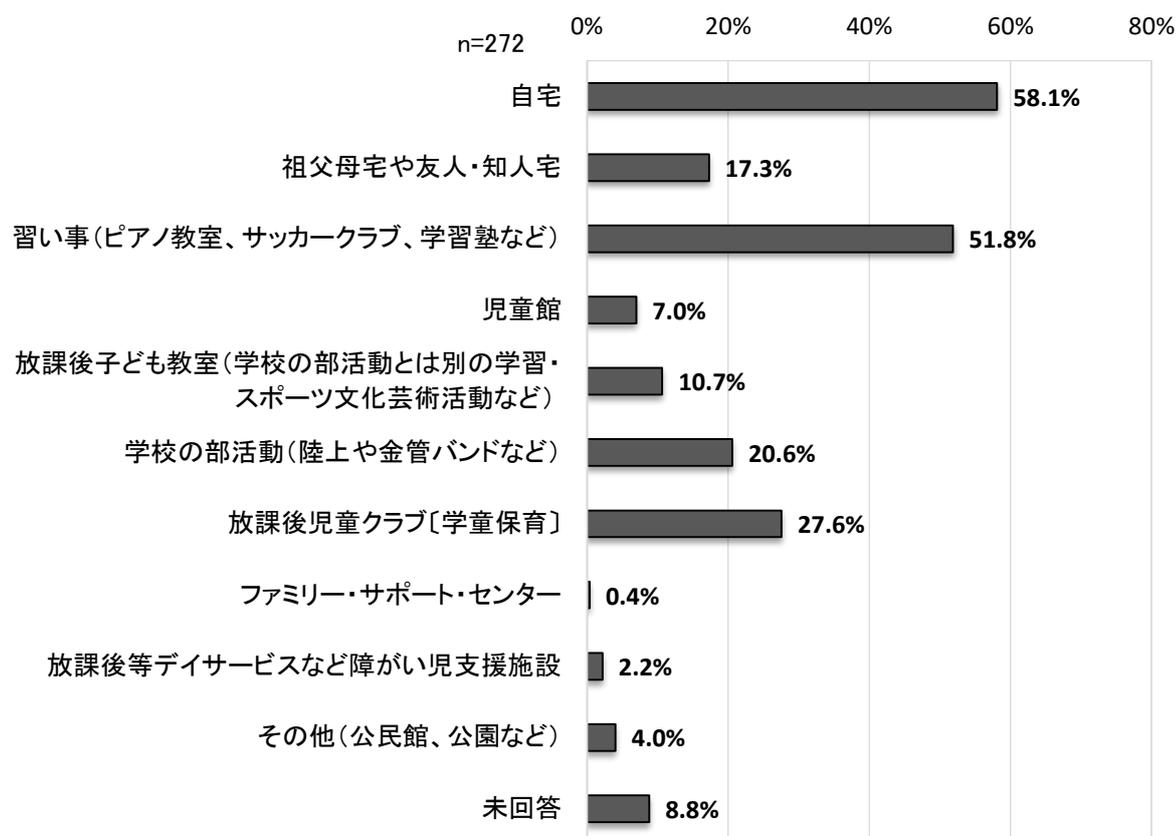
放課後児童クラブの希望する下校時からの利用時間は、「18時」37.5%、「17時」26.5%となっています。



問29 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。  
 また、それぞれ希望する週当たり日数をお答えください。  
 「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間をお答えください。  
 ※あて名のお子さんが5歳以上の方

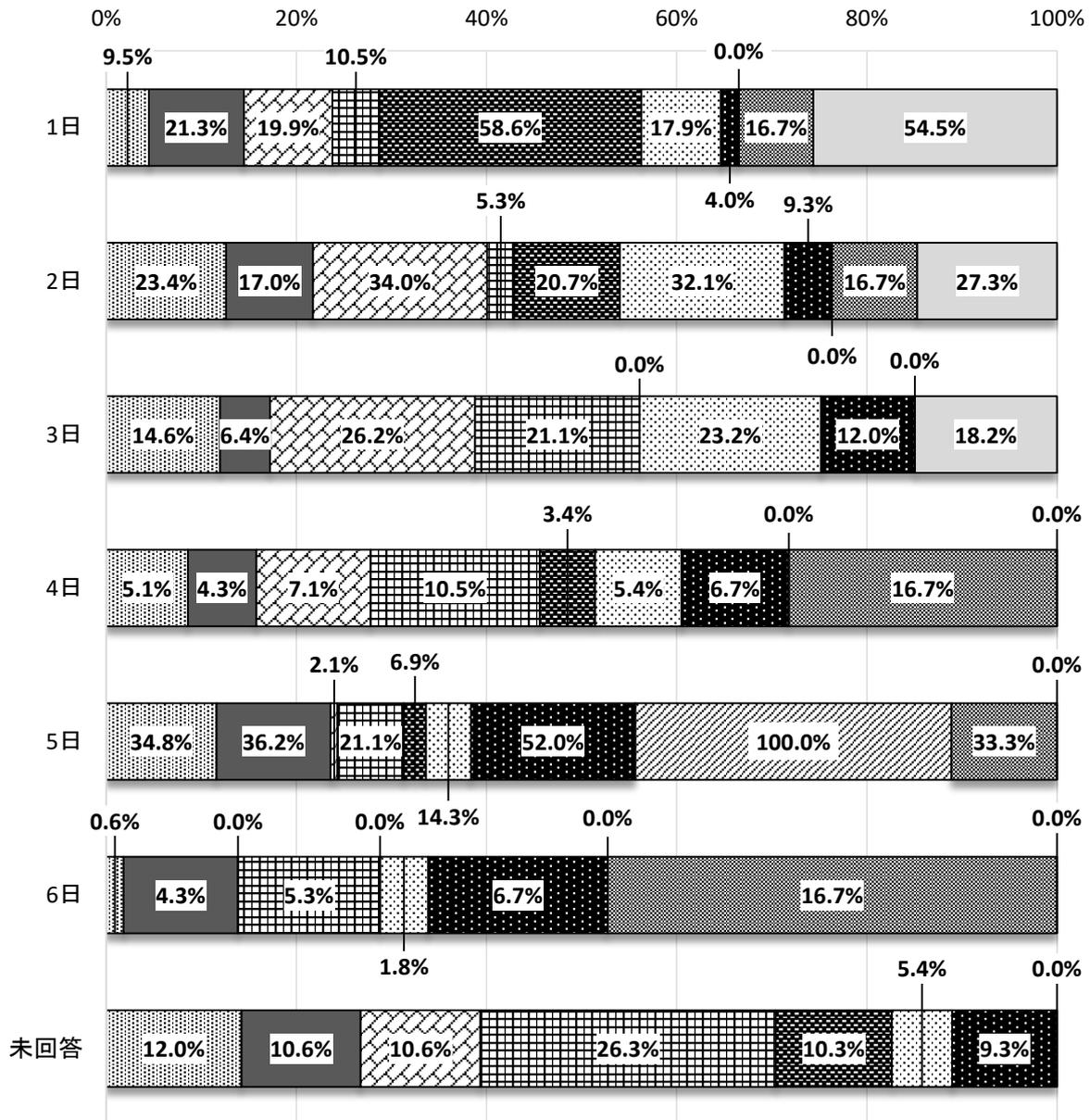
■放課後過ごさせたい場所（あてはまるものすべてに○）

小学校高学年になったら、放課後の時間を過ごさせたいと思う場所については、上位から「自宅」58.1%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」51.8%、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」27.6%となっています。



■放課後過ごさせたい場所それぞれの週当たりの希望日数（数量回答）

週当たりの利用希望日数は、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「放課後児童クラブ（学童保育）」で「5日」、「児童館」で「5日」「3日」、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」「学校の部活動（陸上や金管バンドなど）」で「2日」、「放課後子ども教室（学校の部活動とは別の学習・スポーツ・文化芸術活動など）」で「1日」の割合が高くなっています。

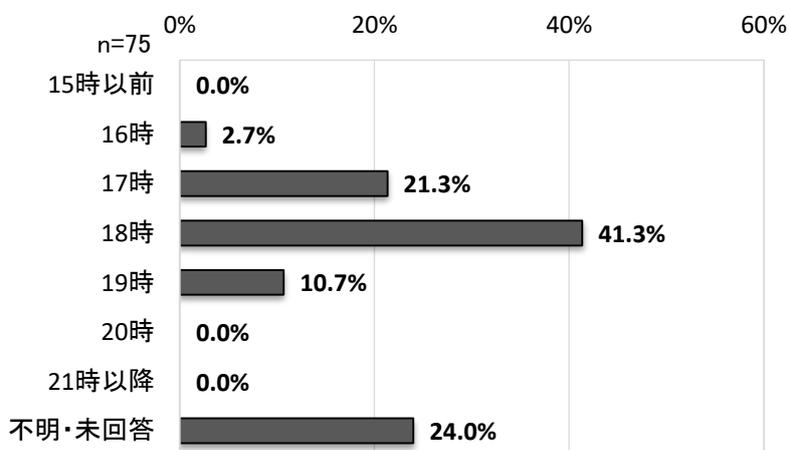


- 自宅 n=158
- 祖父母宅や友人・知人宅 n=47
- 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） n=141
- 田 児童館 n=19
- 放課後子ども教室（学校の部活動とは別の学習・スポーツ・文化芸術活動など） n=29
- 学校の部活動（陸上や金管バンドなど） n=59
- 放課後児童クラブ〔学童保育〕 n=75
- ファミリー・サポート・センター n=1
- 放課後等デイサービスなど障がい児支援施設 n=6
- その他（公民館、公園など） n=11

■放課後児童クラブの希望する下校時からの利用時間（数量回答）

※「7. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」と答えた方

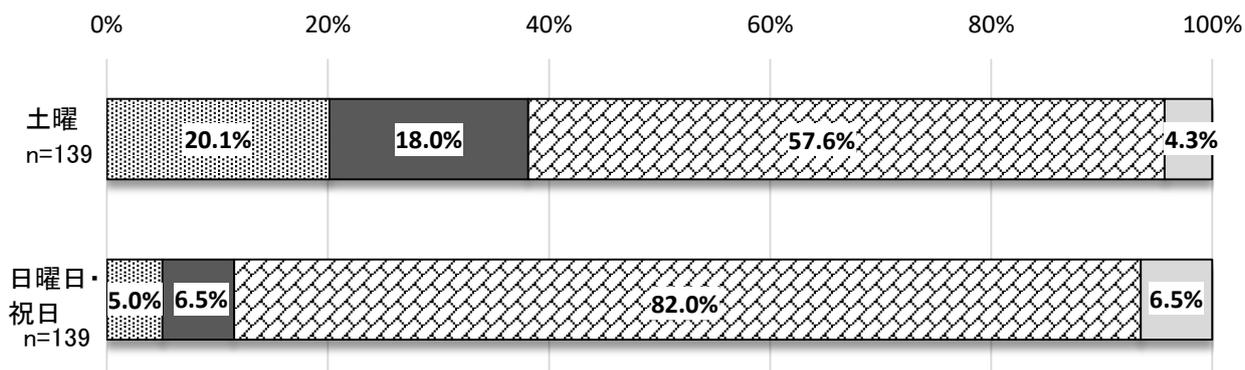
放課後児童クラブの希望する下校時からの利用時間は、「18時」41.3%、「17時」21.3%となっています。



問30 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。

放課後児童クラブの土曜日、日曜日・祝日の利用希望は、土曜日と日曜日・祝日ともに「利用する必要がない」の割合が最も高くなっています。利用する時間帯は、開始が「8時」、終了が「18時」の割合が高くなっています。

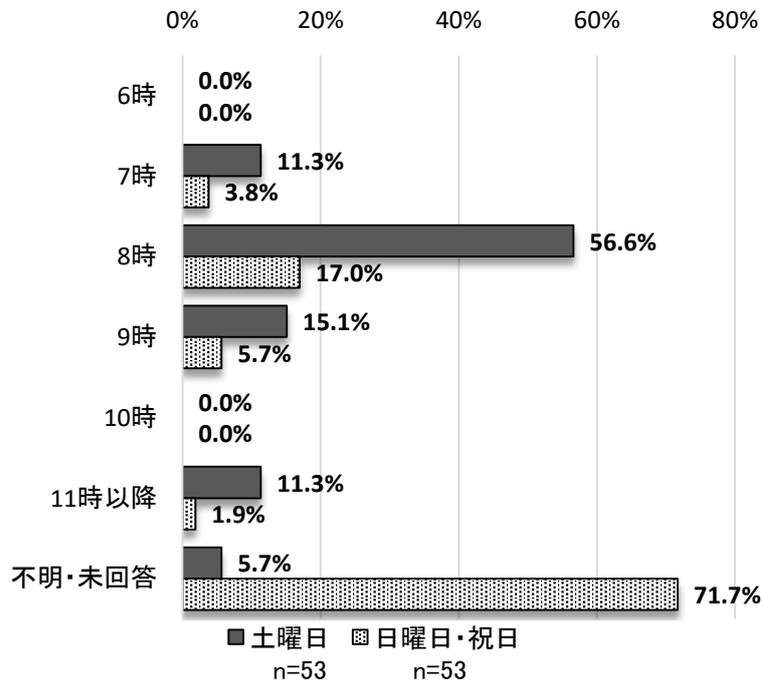
●土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望（1つに○）



☒ 低学年(1~3年生)の間は利用したい ■ 高学年(4~6年生)になっても利用したい ☒ 利用する必要はない □ 未回答

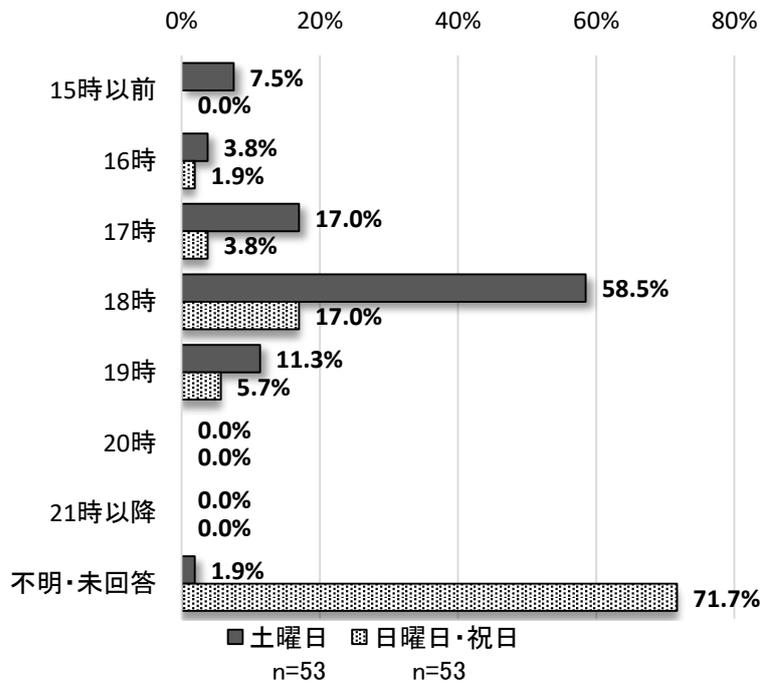
●土曜日、日曜日・祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の希望開始時間（数量回答）

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」と答えた方



●土曜日、日曜日祝日の放課後児童クラブ（学童保育）の希望終了時間（数量回答）

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」と答えた方

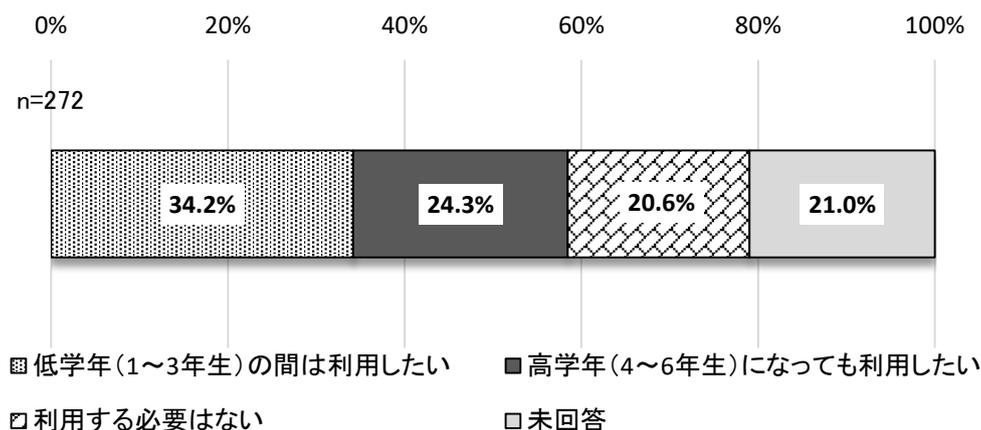


問3 1 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。利用したい時間帯をお答えください。

長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」34.2%、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」24.3%となっています。

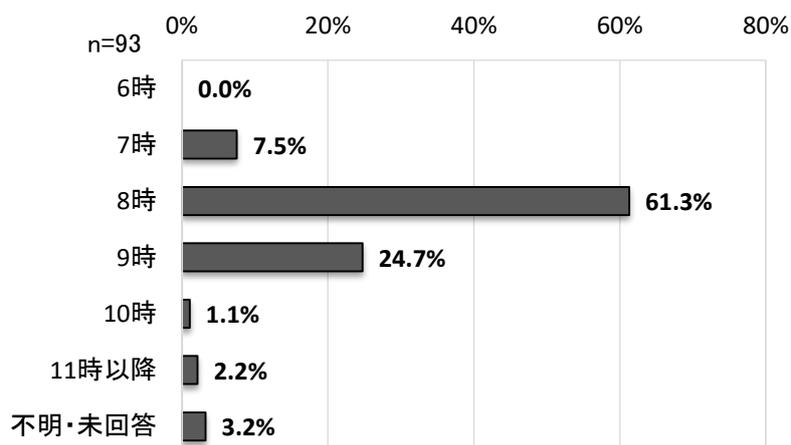
利用する時間帯は、開始時間が「8時」61.3%、終了時間が「18時」37.4%の割合が最も高くなっています。

●長期休暇中の放課後クラブ（学童保育）の利用希望（1つに○）



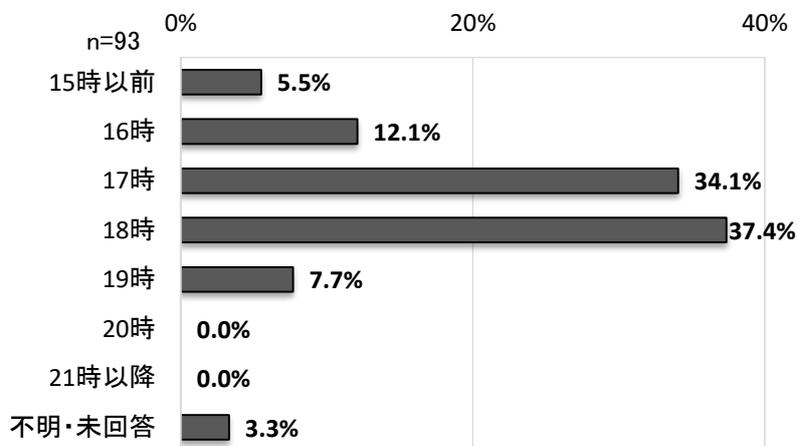
●長期休暇中の放課後児童クラブ（学童保育）の希望開始時間（数量回答）

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」と答えた方



●長期休暇中の放課後児童クラブ（学童保育）の希望終了時間（数量回答）

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」と答えた方



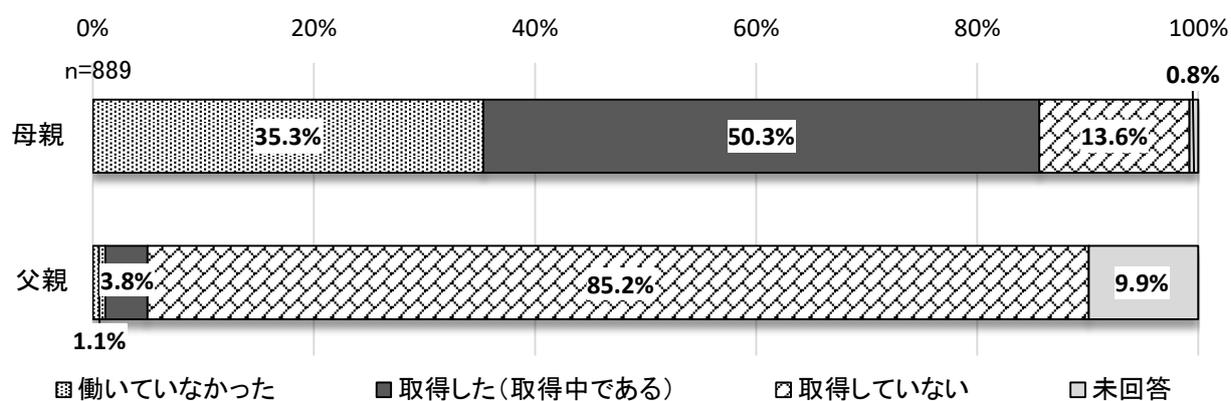
すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の  
両立支援制度についておうかがいします

問3 2 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。

また、取得していない方はその理由をご記入ください。

■ 育児休業の取得状況（1つに○）

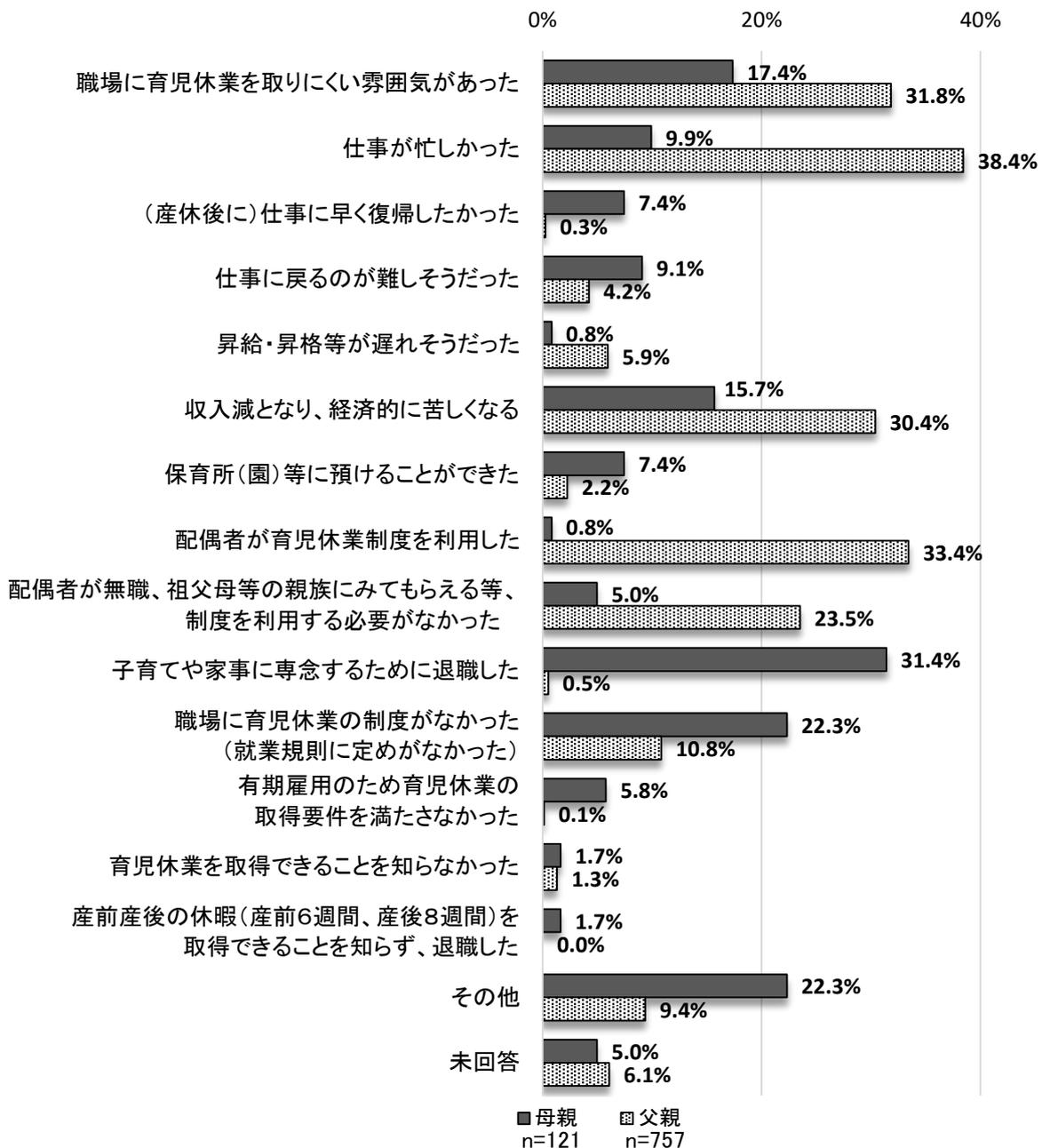
子どもが生まれた時の保護者の育児休暇取得状況は、母親は「取得した（取得中である）」50.3%と割合が最も高く、次いで、「働いていなかった」35.3%となっています。父親は、「取得していない」85.2%とほとんどを占めています。



■取得していない理由（あてはまるものすべてに○）

※「3. 取得していない」と答えた方

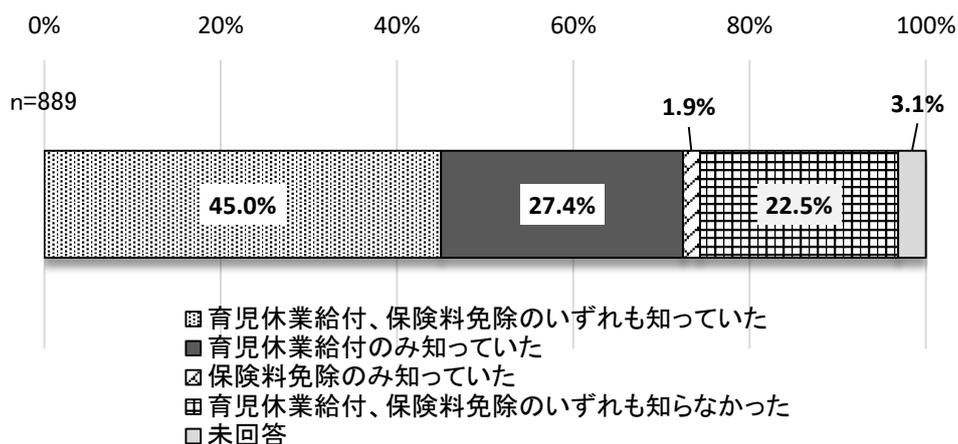
子どもが生まれた時に保護者が育児休業を取得していない理由は、母親は「子育てや家事に専念するために退職した」31.4%と割合が最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」22.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」17.4%となっています。父親は、「仕事が忙しかった」38.4%が最も高く、「配偶者が育児休業制度を利用した」33.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」31.8%となっています。



問3 2 - 1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6カ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業など（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間に健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

（1つに○）

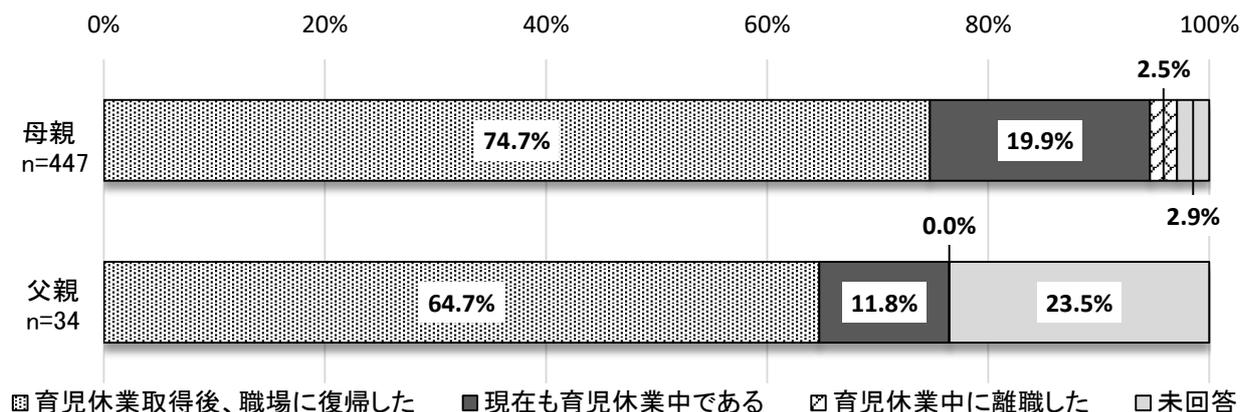
育児休業給付の仕組みや、育児休業などの期間に健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」45.0%、次いで「育児休業給付のみ知っていた」27.4%となっています。



問3 2 - 2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1つに○）

※問3 2で「2. 取得した(取得中である)」と答えた方

育児休業取得後、職場に復帰したかは、母親・父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が最も高く、それぞれ74.7%、64.7%となっています。



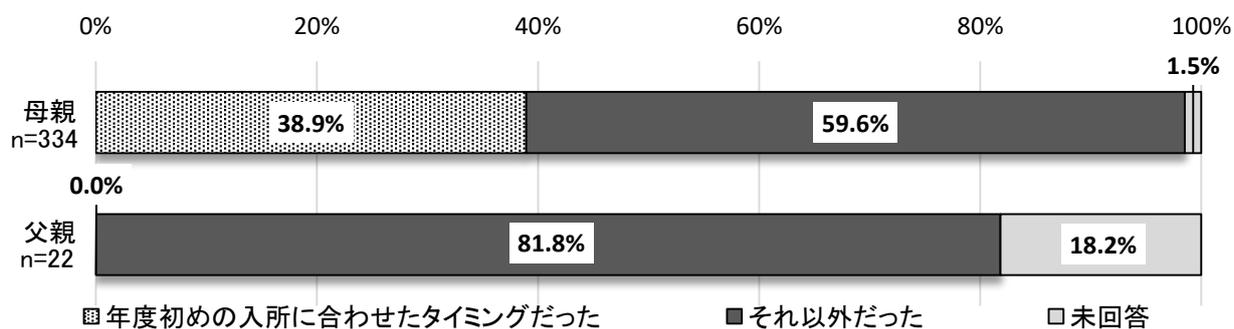
問32-3 育児休業から職場復帰したのは、年度初めの保育所利用に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(1つに○)

※年度初めでの認可保育所利用を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所を利用した場合なども「1」に当てはまります。

また、年度初めでの利用を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に利用できなかったという場合も「1」を選択してください。

※問32-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

育児休業から職場復帰したのが、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングについては、母親・父親ともに「それ以外だった」の割合が最も高く、それぞれ59.6%、81.8%となっています。



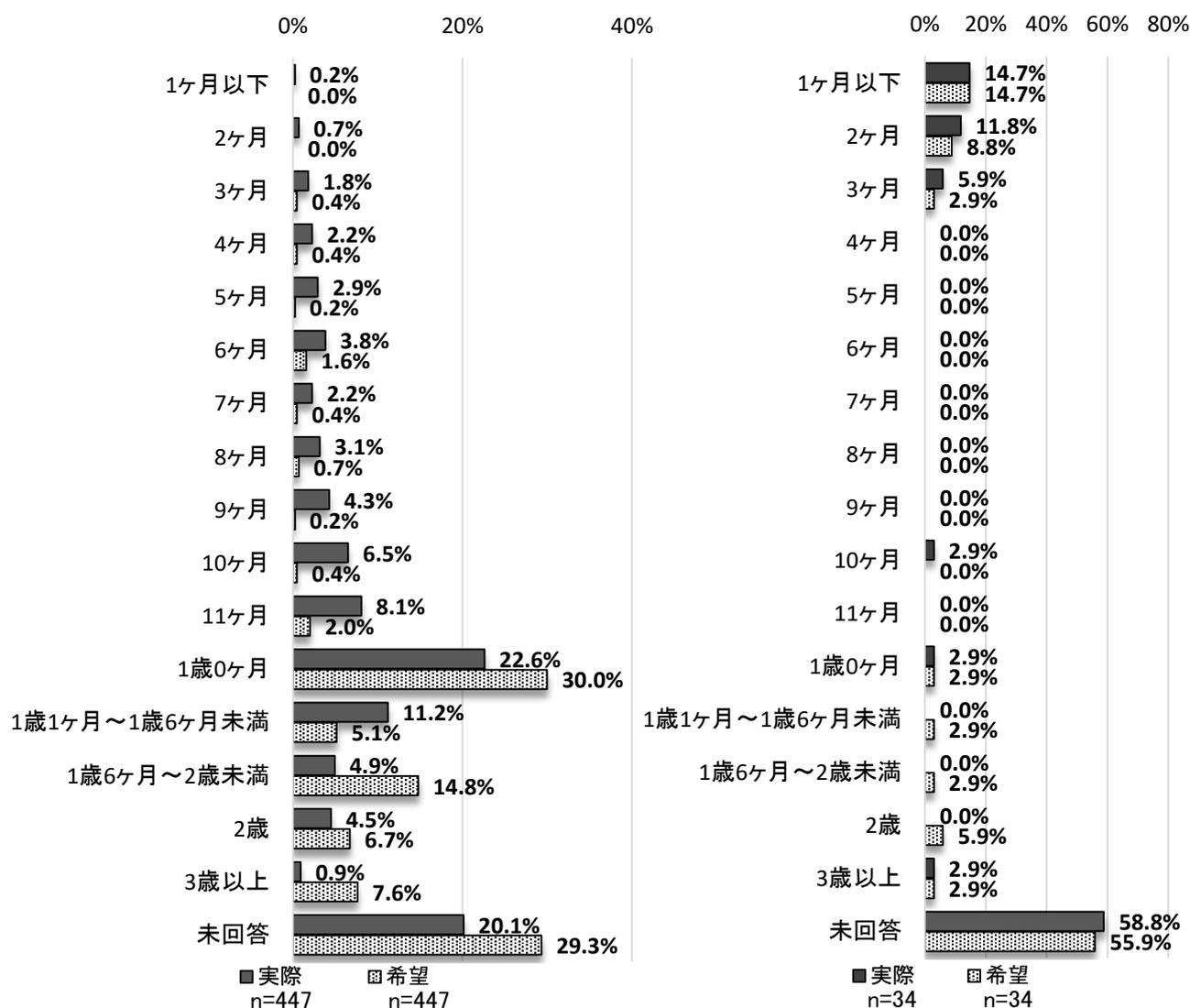
問3 2-4 育児休業からは「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。(数量回答)

※問3 2で「2. 取得した(取得中である)」と答えた方

実際に子どもが何歳何か月の時に復帰したかと、何歳何か月まで取りたかったかという希望は、母親では、「実際」と「希望」とともに「1歳0か月」の最も割合が高く、それぞれ22.6%、30.0%となっています。父親は、「実際」と「希望」とともに「1か月以下」の最も割合が高く、両方ともに14.7%となっています。

●母親

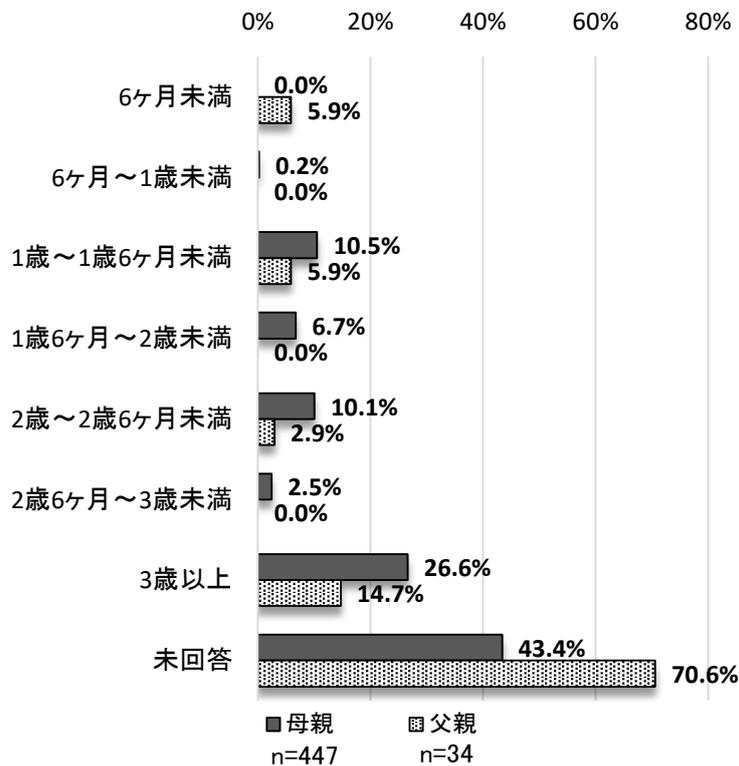
●父親



問32-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。  
 (数量回答)

※問32で「2. 取得した(取得中である)」と答えた方

職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、何歳何か月まで取りたいかについては、母親・父親ともに「3歳以上」の割合が最も高く、それぞれ26.6%、14.7%となっています。



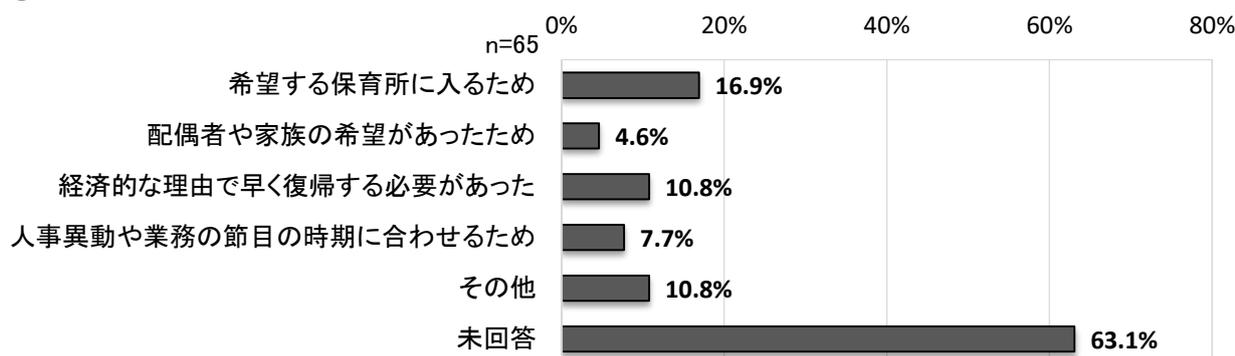
問32-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についておうかがいします。

※問32-4で実際の復帰と希望が異なる方

希望より早く復帰した方は、母親では「希望する保育所に入るため」16.9%の割合が最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」10.8%となっています。希望より遅く復帰した方は、母親では「希望する保育所に入るため」と「子どもをみてくれる人がいなかったため」が共に2件ありました。

(1) 「希望」により早く復帰した方（あてはまるものすべてに○）

①母親



②父親

父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が1件ありました。

(2) 「希望」により遅く復帰した方（あてはまるものすべてに○）

①母親

希望より遅く復帰	母親	
	件数	割合 (%)
希望する保育所に入れなかったため	2	0.9%
自分や子ども等の体調が思わしくなかったため	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	1	0.5%
子どもをみてくれる人がいなかったため	2	0.9%
その他	1	0.5%
未回答	208	98.6%
合計	214	101.4%
	n=	211

②父親

父親の回答はありませんでした。

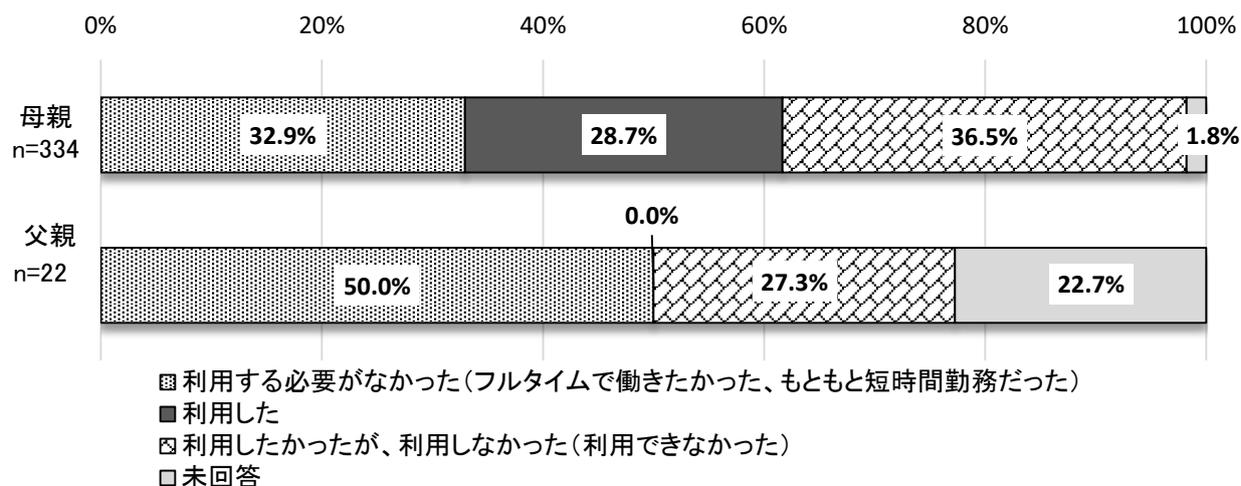
問32-7 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。

(1つに○)

※問32-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

母親では、上位から「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」36.5%、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」32.9%、「利用した」28.7%となっています。

父親では、「利用した」という回答はなく、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」50.0%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」27.3%となっています。

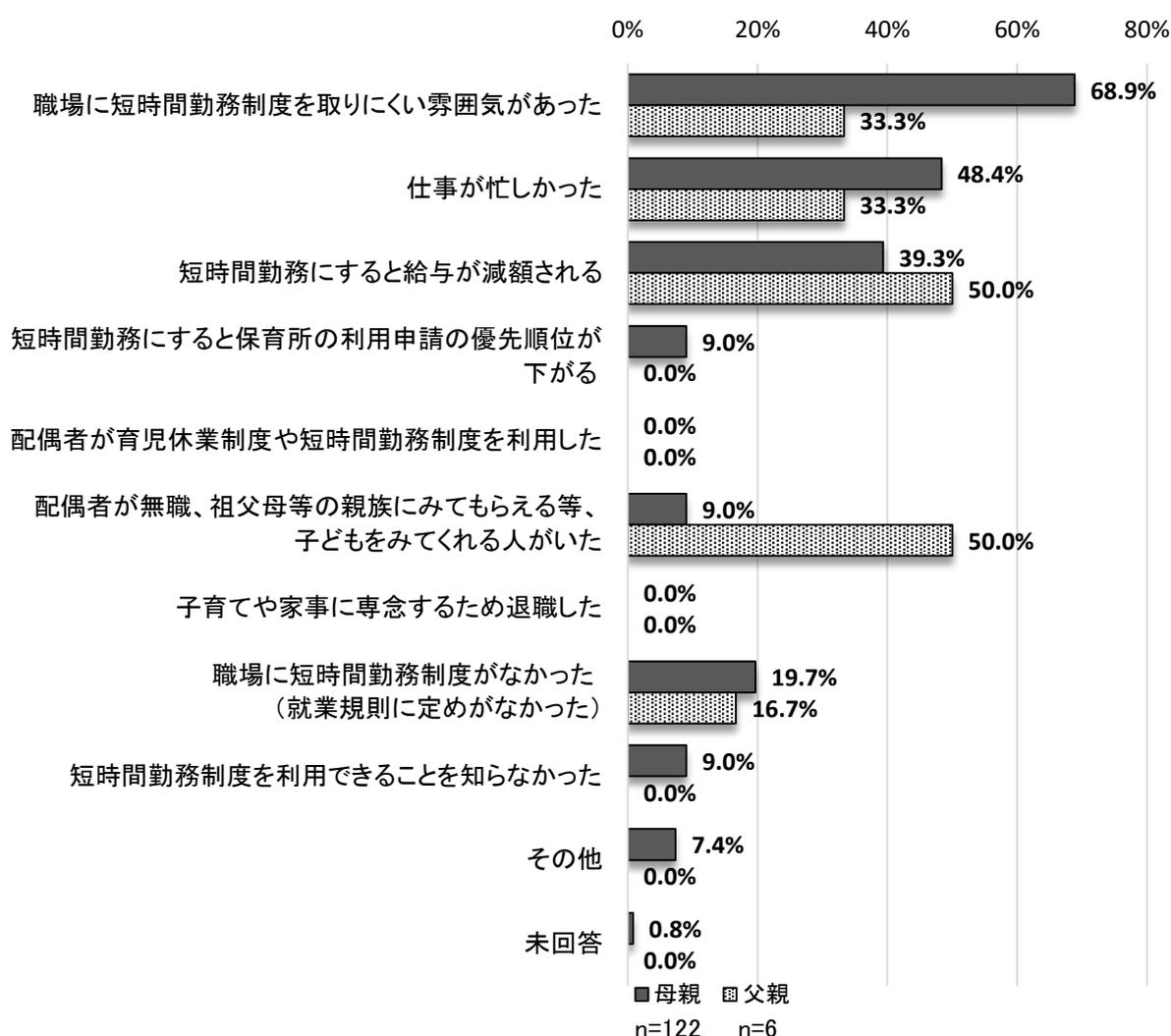


問32-8 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。  
 （あてはまるものすべてに○）

※問32-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」  
 と答えた方

母親では、上位から「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」68.9%、「仕事が忙しかった」48.4%、「短時間勤務にすると給与が減額される」39.3%となっています。

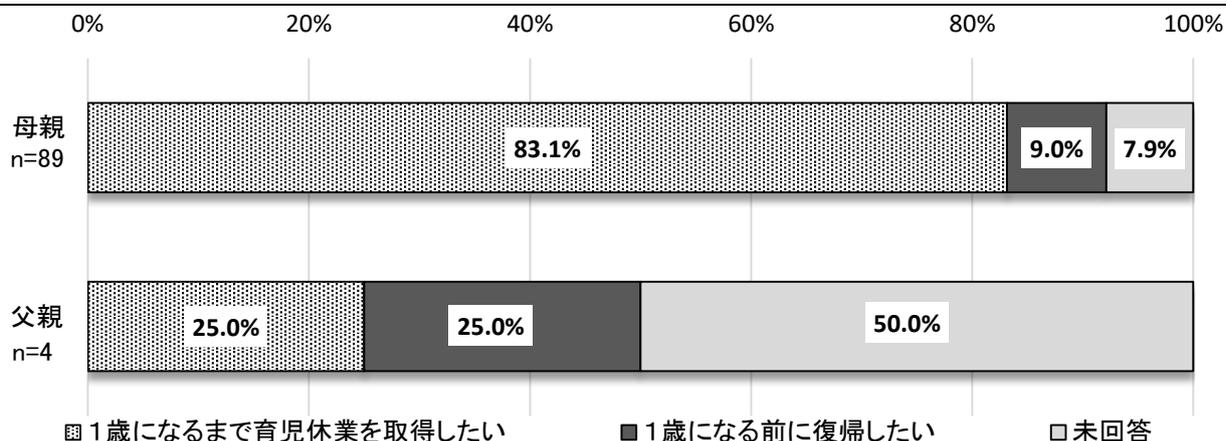
父親では、「短時間勤務にすると給与が減額される」と「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、子どもをみてくれる人がいた」が50.0%、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」と「仕事が忙しかった」がともに33.3%となっています。



問32-9 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(1つに○)

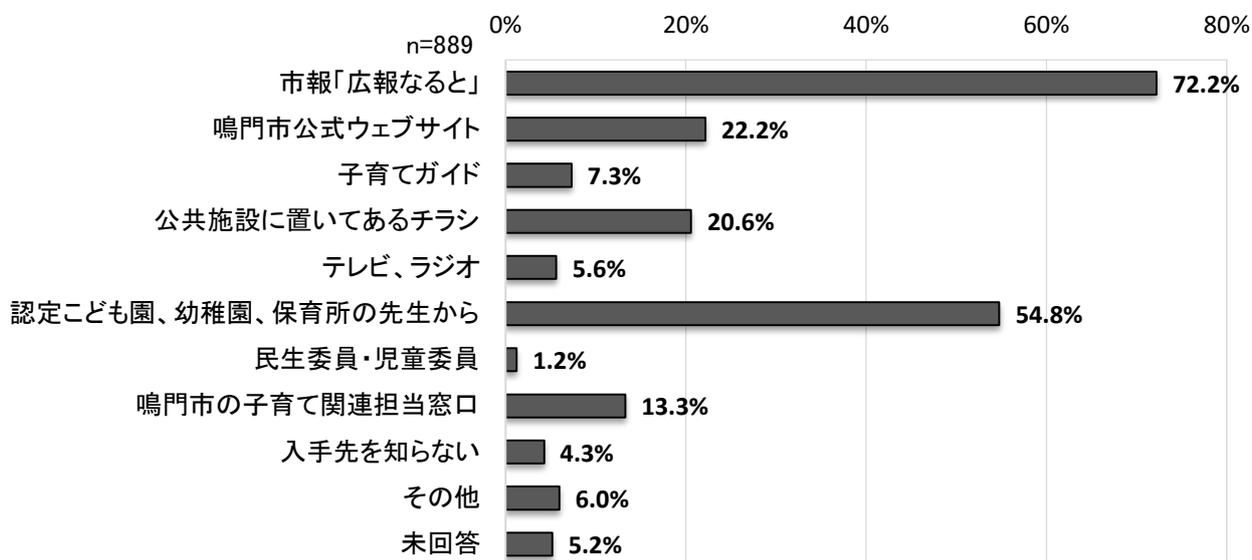
※問32-2で「2. 現在も育児休業中である」と答えた方

母親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が83.1%とほとんどを占めています。また、父親では、「1歳になるまで育児休業を取得したい」は25.0%にとどまっています。



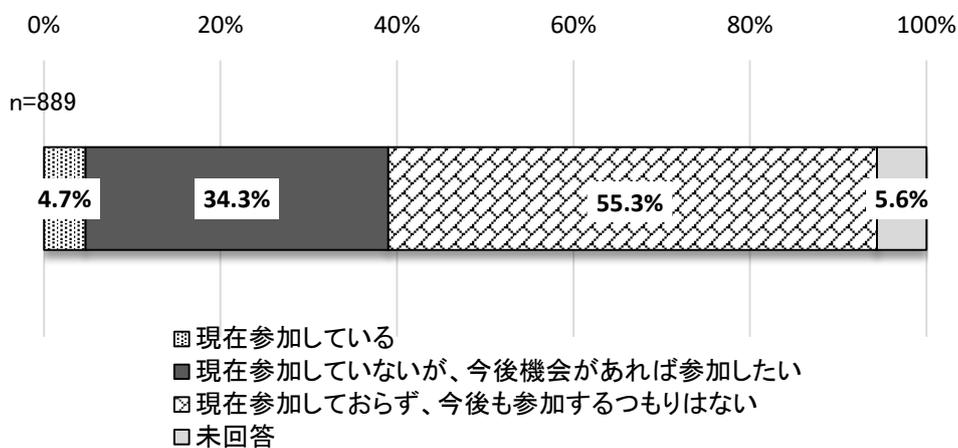
問33 あなたは、鳴門市の子育てに関する情報はどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

鳴門市の子育てに関する情報の入手先については、「市報「広報なると」」72.2%と最も多く、次いで「認定こども園、幼稚園、保育所の先生から」54.8%となっています。



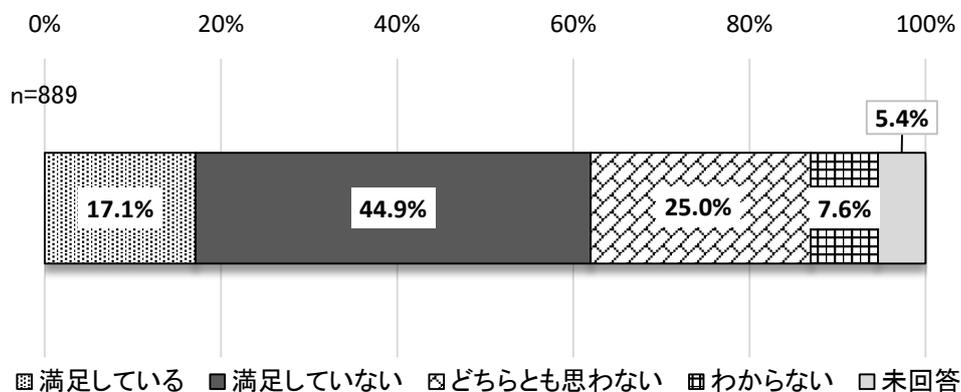
問34 あなたは、子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。(1つに○)

子育てサークルなどの自主的な活動への参加については、「現在参加しておらず今後も参加するつもりはない」が55.3%と割合が最も高く、次いで「現在参加していないが、今後機会があれば参加したい」が34.3%となっています。



問35 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。(1つに○)

子どもの遊び場については、「満足していない」が44.9%と割合が最も高く、次いで「どちらとも思わない」が25.0%となっています。



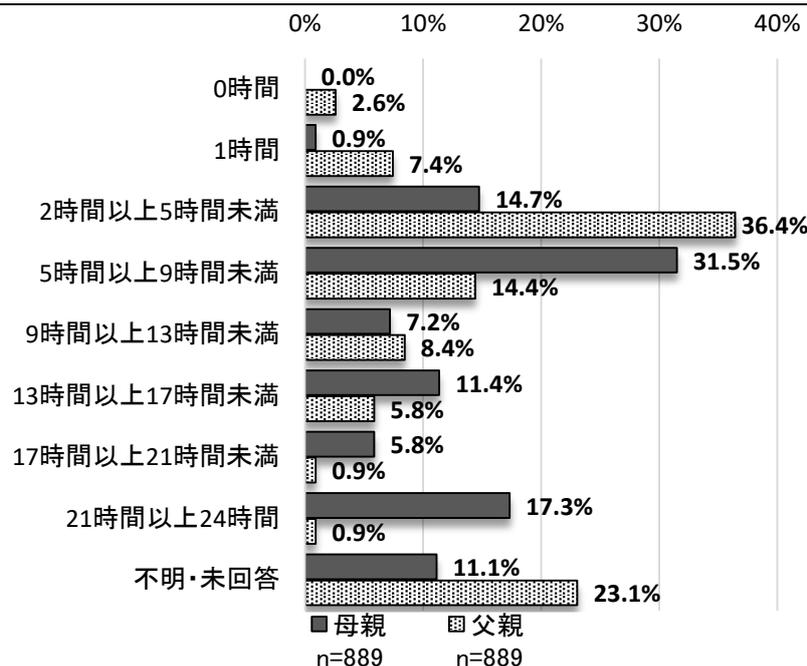
## 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について おうかがいします

問36 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。（1週間の平均的な時間をお答えください。）また、その時間は十分だと思いますか。

### ■子どもと一緒に過ごす時間（数量回答）

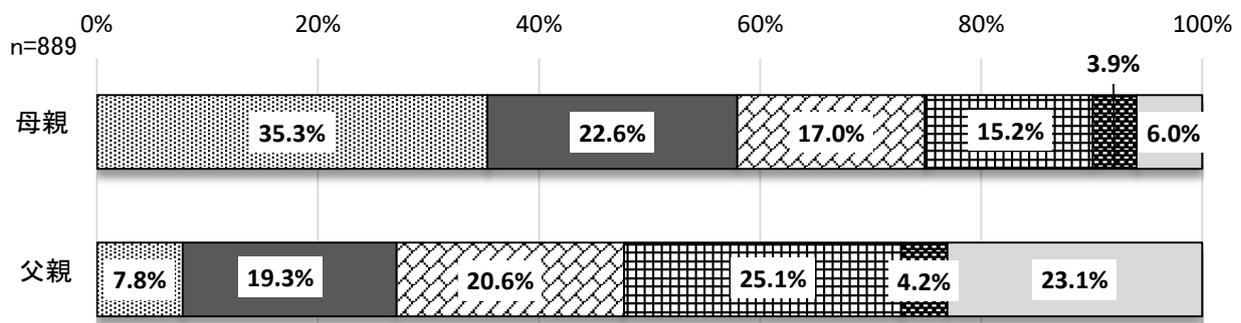
子どもと一緒に過ごす時間は、母親では「5時間以上9時間未満」31.5%で割合が最も高く、次いで「21時間以上24時間」17.3%となっています。

父親では「2時間以上5時間未満」36.4%、次いで「5時間以上9時間未満」14.4%となっています。



### ■その時間は十分だと思いますか（1つに○）

その時間を十分と思うかについては、母親が「十分だと思う」35.3%、父親が「不十分だと思う」25.1%の割合が最も高くなっています。



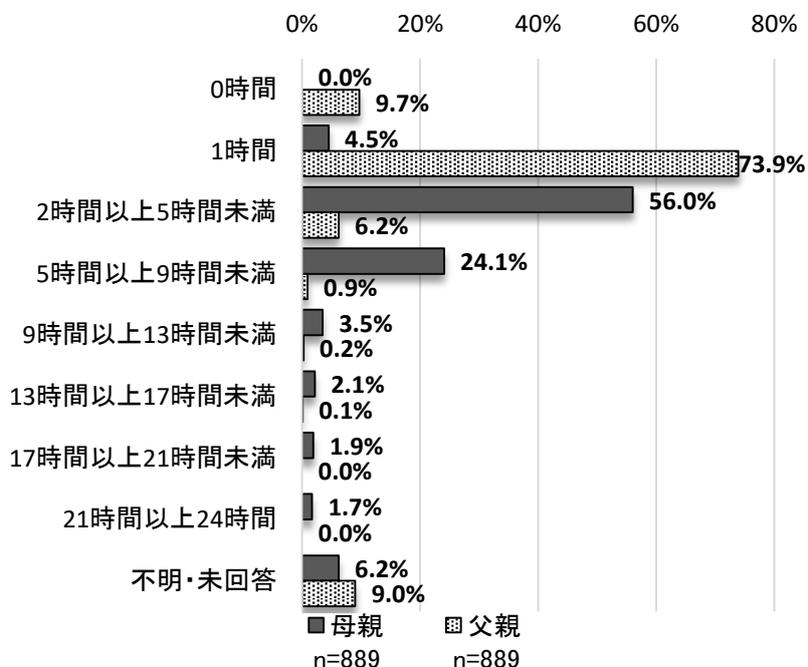
▨ 十分だと思う ■ まあまあ十分だと思う ▨ あまり十分だと思わない ▨ 不十分だと思う ▨ わからない □ 不明・未回答

問37 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。

(1週間の平均的な時間をお答えください。)

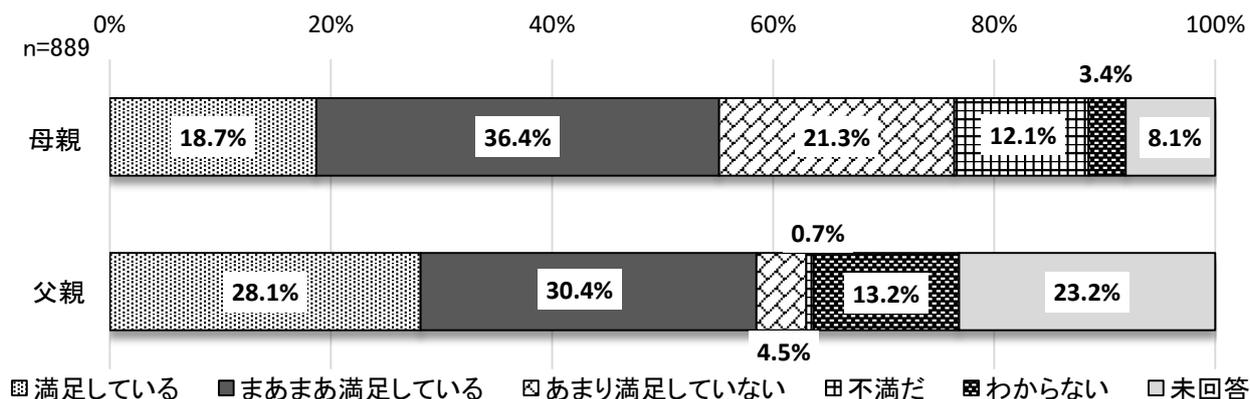
(数量回答)

1日当たりの家事の時間は、母親が「2時間以上5時間未満」56.0%と割合が最も高く、次いで「5時間以上9時間未満」24.1%となっています。父親では「1時間」73.9%、次いで「0時間」9.7%となっています。



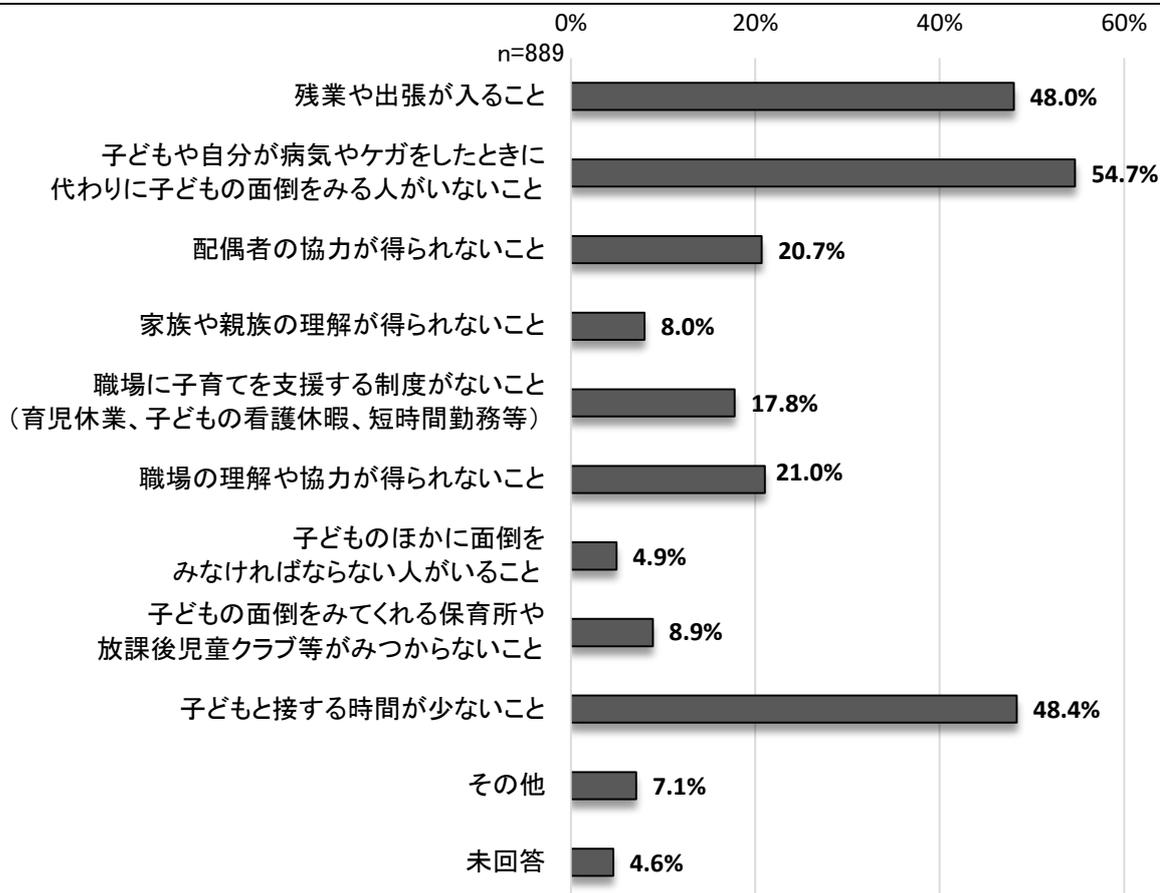
問38 配偶者との家事、育児分担に満足していますか。(1つに○)

配偶者との家事、育児分担の満足度は、母親では「まあまあ満足している」36.4%で割合が最も高く、父親では「まあまあ満足している」30.4%となっています。



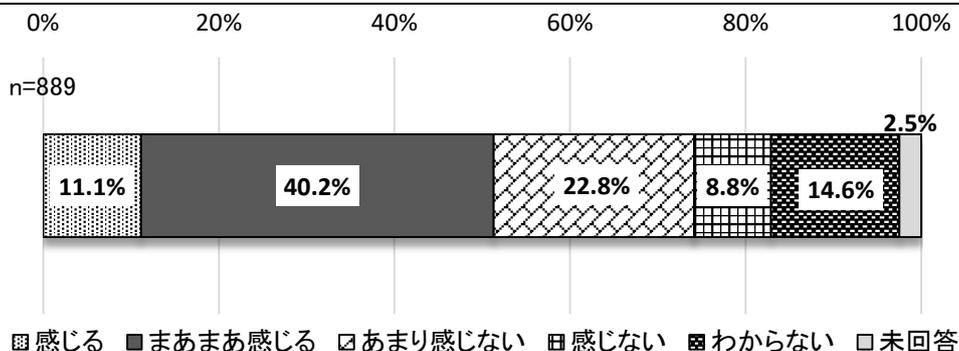
問39 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。  
 現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。  
 (あてはまるものすべてに○)

仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは、上位から「子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」54.7%、「子どもと接する時間が少ないこと」48.4%、「残業や出張が入ること」48.0%となっています。



問40 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。  
 現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。  
 (1つに○)

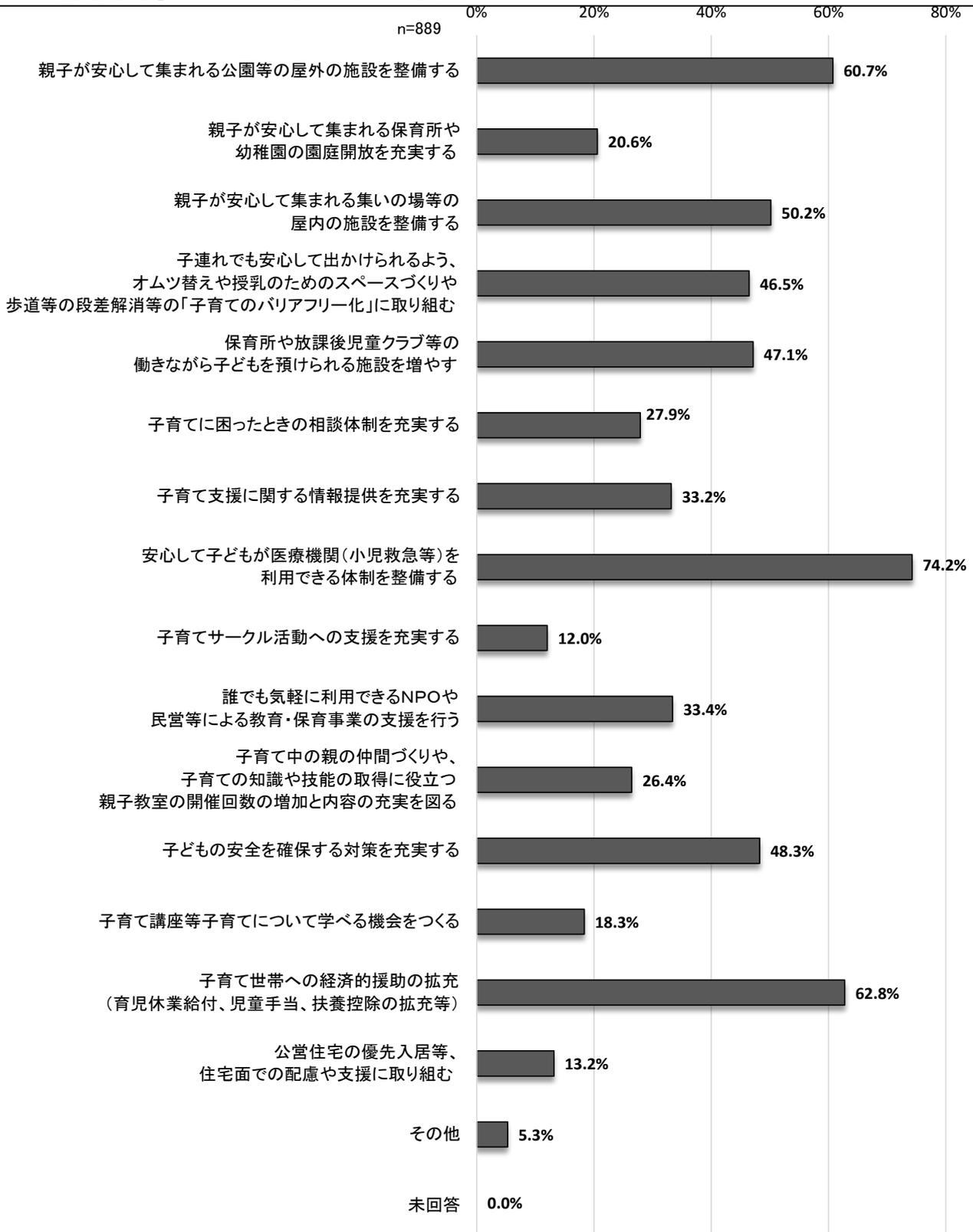
家庭で仕事と生活の調和が図られていると感じているかは、「まあまあ感じる」40.2%と割合が最も多く、次いで「あまり感じない」22.8%となっています。



## 行政への要望についておうかがいします

問4 | 行政に対して、子育て支援の現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。  
(あてはまるものすべてに○)

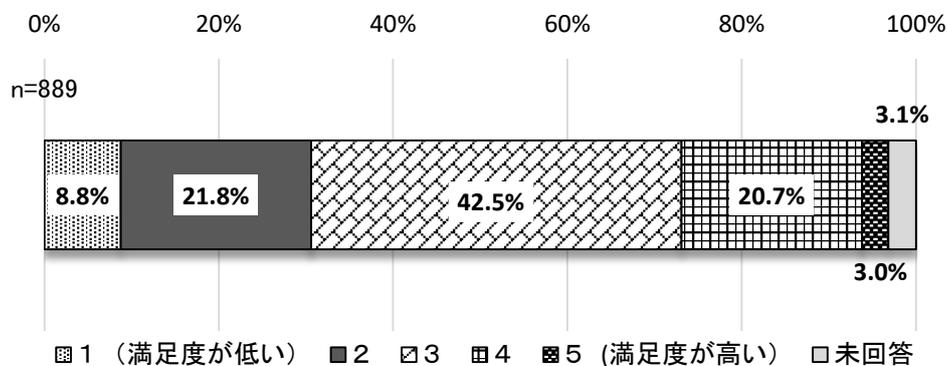
行政への要望は、上位から「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」74.2%、「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など）」62.8%、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」60.7%となっています。



問4 2 鳴門市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。

(1つに○)

鳴門市における子育ての環境や支援への満足度は、「満足度3」の割合が42.5%と最も高くなっています。

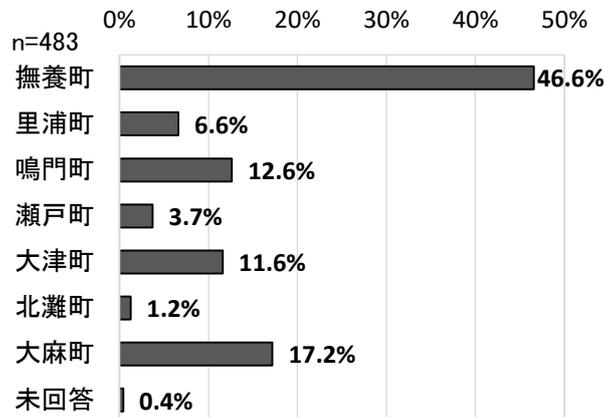


### Ⅲ 調査結果（小学校児童）

## 受け取られたお子さんとご家族の状況についておうかがいします

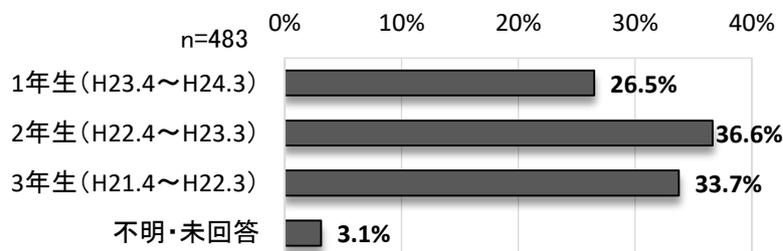
問1 お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

地区別に世帯の居住状況をみると、上位から「撫養町」46.6%、「大麻町」17.2%、「鳴門町」12.6%となっています。



問2 受け取られたお子さんの生年月をご記入ください。(数量回答)

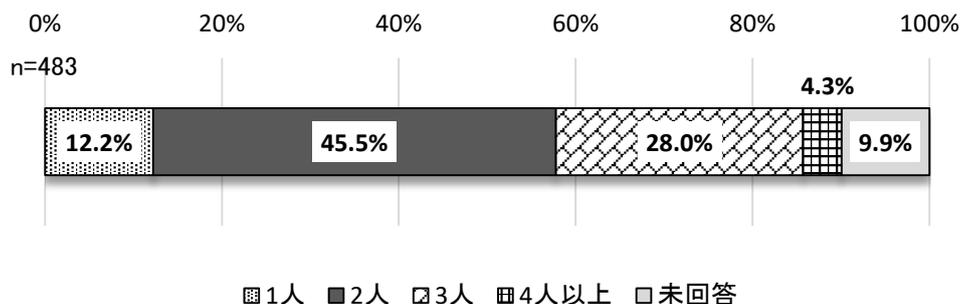
対象の子どもの年齢は、上位から「2年生(H22.4~H23.3)」36.6%、「3年生(H21.4~H22.3)」33.7%、「1年生(H23.4~H24.3)」26.5%となっています



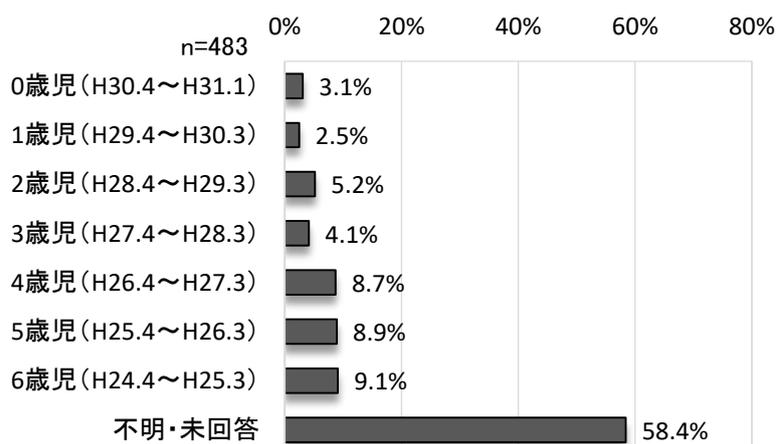
問3 受け取られたお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年少のお子様の生年月をご記入ください。(数量回答)

子どもの人数は、上位から「2人」45.5%、「3人」28.0%、「1人」12.2%となっています。子どもが2人以上いる場合の末子の年齢は、0歳児から6歳児までそれぞれ10%以下の回答となっており、3歳未満は10.8%、3歳以上は30.8%となっています。

●子どもの人数

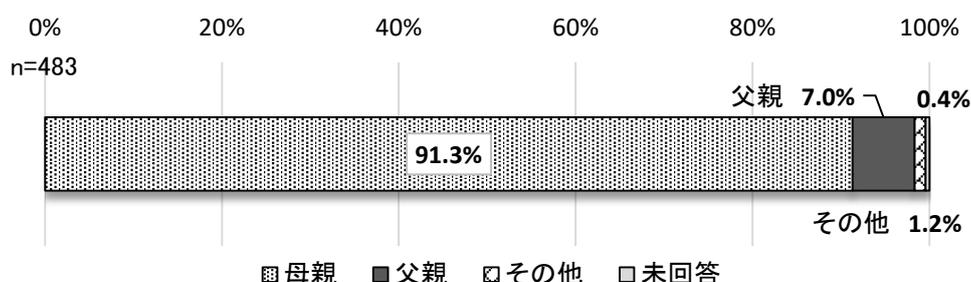


●子どもが二人以上の場合末子の年齢（平成30年4月起算）



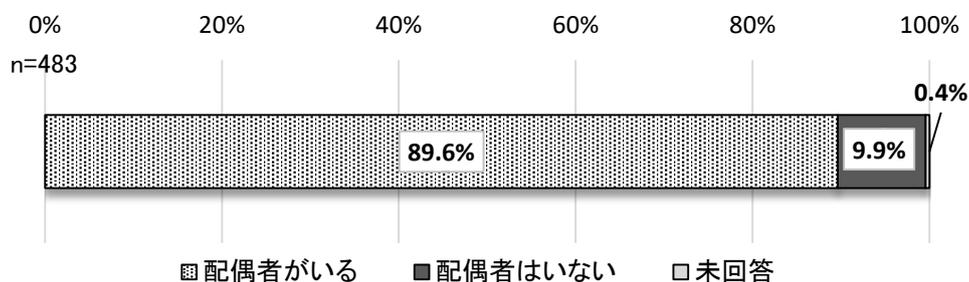
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。受け取られたお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

回答者は、「母親」が91.3%でほとんどを占めています。



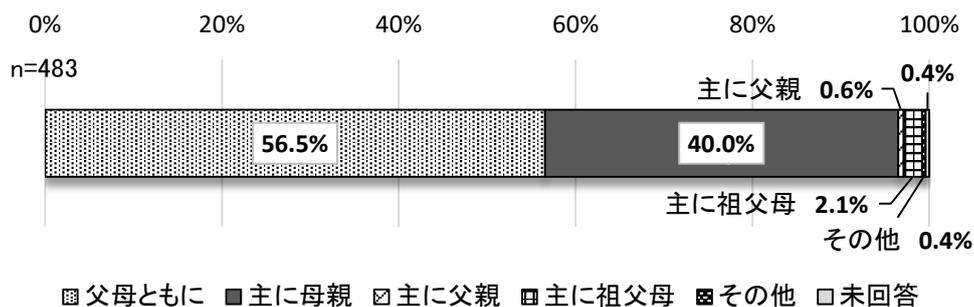
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。  
(1つに○)

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」89.6%でほとんどを占めています。



問6 受け取られたお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。  
お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

子育てを主に行っている方は、「父母ともに」56.5%で割合が最も高く、次いで「主に母親」40.0%となっています。



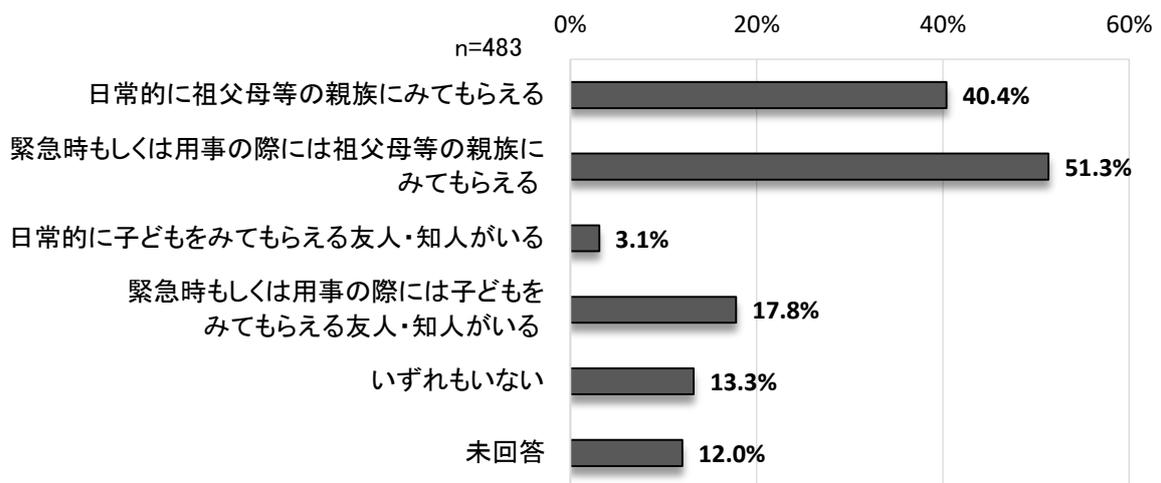
## 受け取られたお子さんをめぐる環境についておうかがいします

問7 日頃、受け取られたお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。

■見てもらえる人の有無（あてはまるものすべてに○）

日頃、子どもを見てもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母などの親族にみてもらえる」51.3%で割合が最も高く、次いで「日常的に祖父母などの親族にみてもらえる」40.4%となっています。

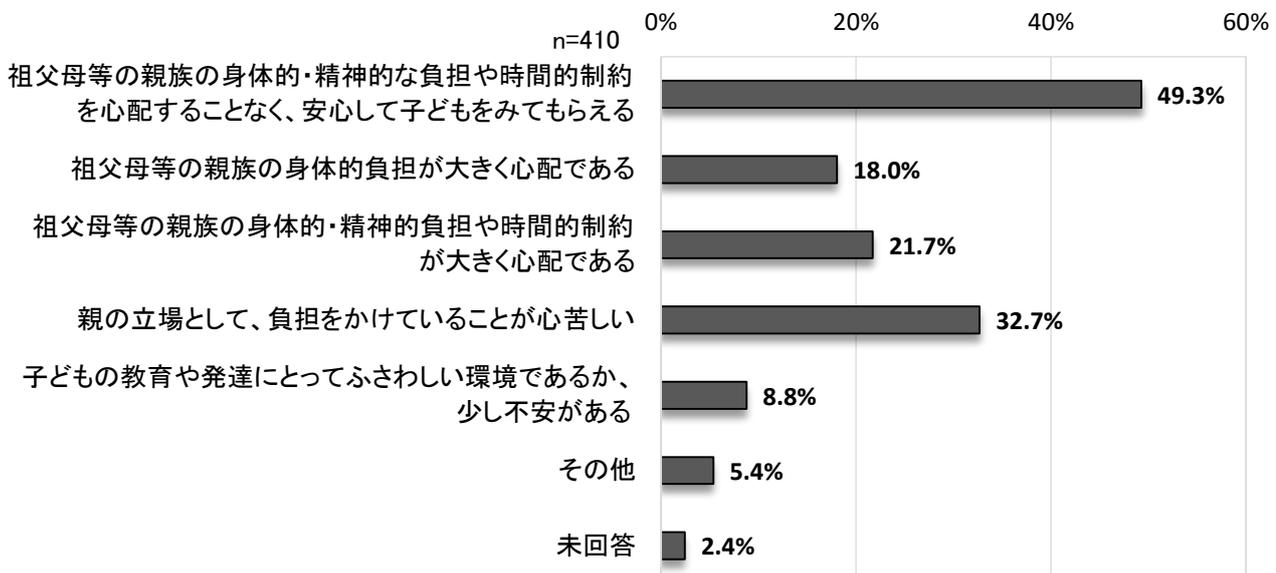
また、「いずれもない」は13.3%となっています。



■祖父母等にみてもらっている状況（あてはまるものすべてに○）

※「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と答えた方

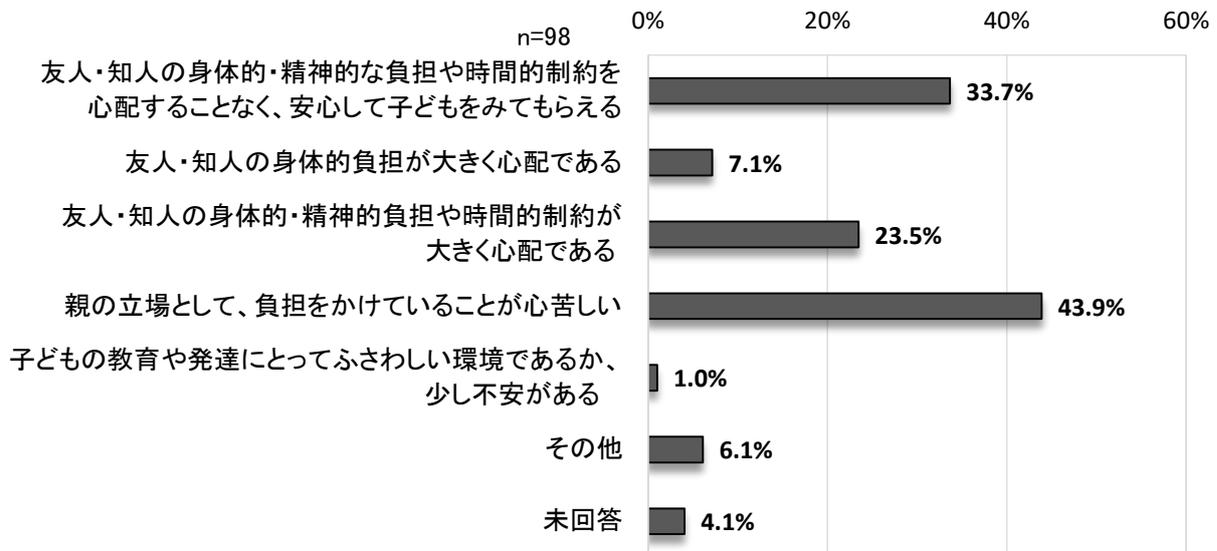
祖父母などの親族にみてもらっている状況は、上位から「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもを見てもらえる」49.3%、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」32.7%、「祖父母等の親族の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である」21.7%となっています。



■友人・知人にみてもらっている状況（あてはまるものすべてに○）

※「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と答えた方

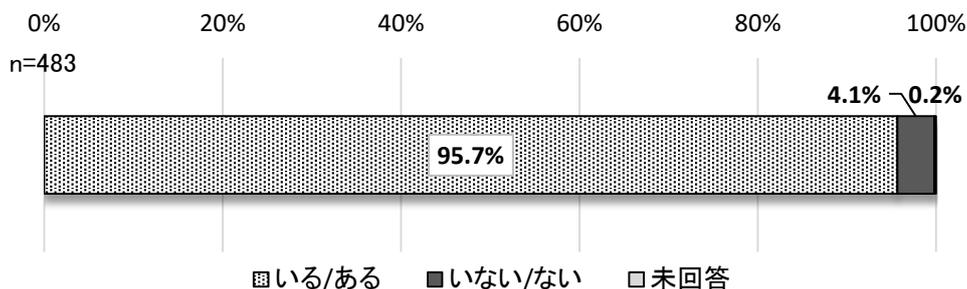
友人・知人にみてもらっている状況は、上位から「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」43.9%、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」33.7%、「友人・知人の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である」23.5%、となっています。



問8 受け取られたお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

■相談先の有無（1つに○）

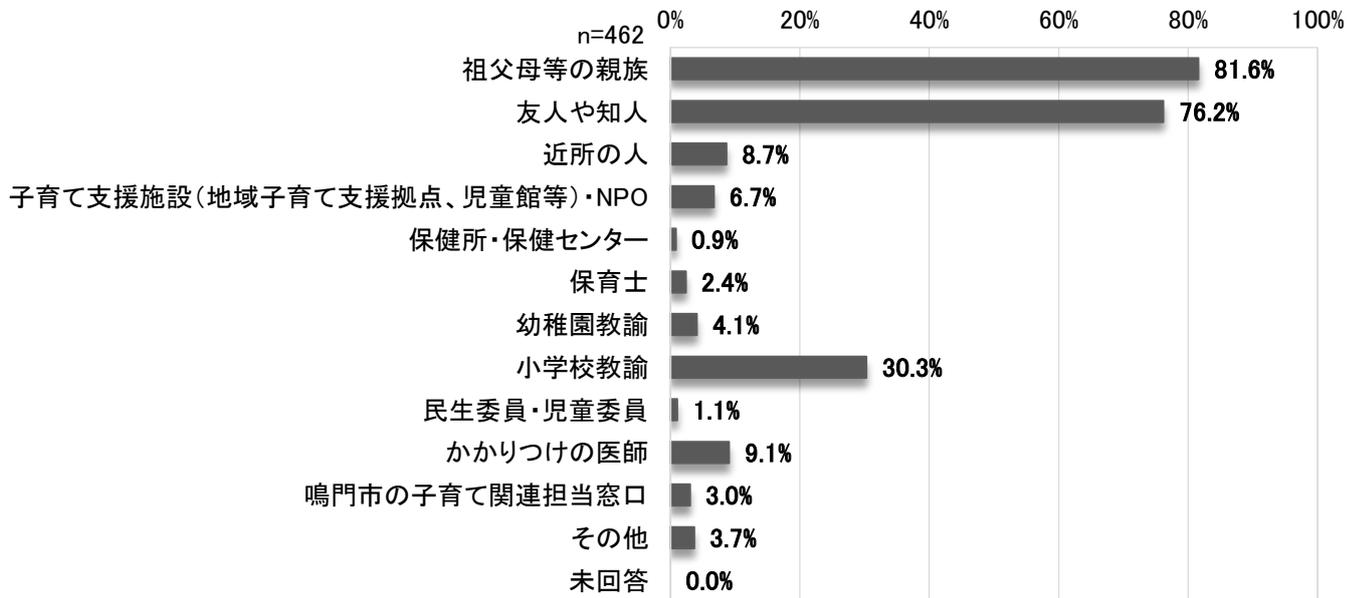
相談先の有無についての状況を見ると、「いる／ある」と答えた人は95.7%ほとんどを占めています。



■相談相手（場所）（あてはまるものすべてに○）

※「1. いる／ある」と答えた方

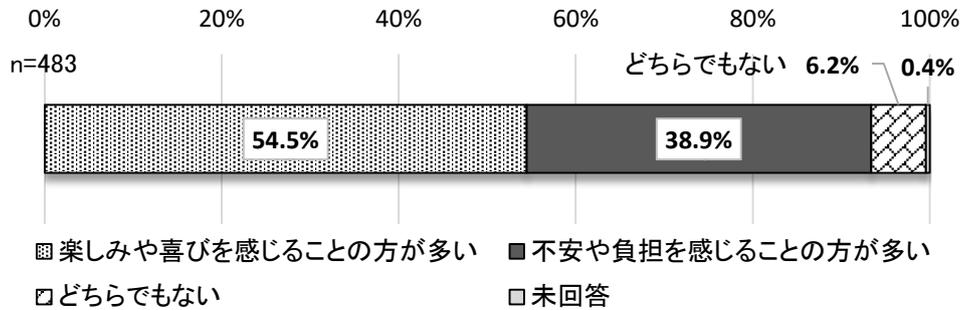
相談相手についての状況を見ると、上位から「祖父母等の親族」81.6%、「友人と知人」76.2%、「小学校教諭」30.3%となっています。



問9 あなたは、子育てに関して不安や負担などを感じていますか。

■子育てについて（1つに○）

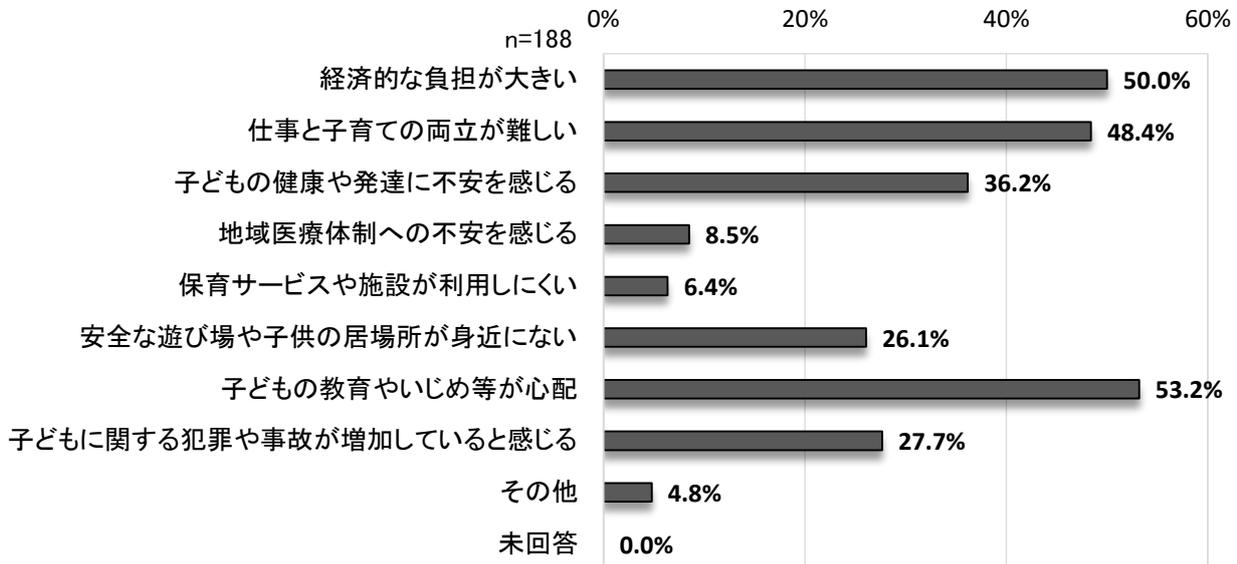
子育てについての精神的な状況をみると、「楽しみや喜びを感じることの方が多い」と答えた人が54.5%で最も多く、「不安や負担を感じることの方が多い」と答えた人は38.9%となっています。



■不安や負担を感じる理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 不安や負担を感じることの方が多い」と答えた方

子育てについて「不安や負担を感じることの方が多い」と答えた人のうち、上位から「子どもの教育やいじめ等が心配」が53.2%、「経済的な負担が大きい」が50.0%、「仕事と子育ての両立が難しい」が48.4%となっています。



問 10 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。（全回答数：119 件）

■子育て支援施設について(回答数：46 件)

- ・緊急時、一時的、学級閉鎖時に、また放課後や休日・長期休暇中に保護者なしで利用でき、無料で子どもをみてもらえる施設。(21 件)
- ・利用制限がなく、休日などに大人がいて無料開放の自由な遊び場や勉強を見てくれ、情報交換などができる場所。(14 件)
- ・近くに公園がない。
- ・利便性が良い（保健士さん、行政担当者などの専門家いて）、気楽に相談できる場所と、相談の充実（より詳しく）。(7 件)
- ・雨天でも友達同士で遊ぶことのできる屋内や屋根がある場所。(2 件)

■地域・社会環境について(回答数：19 件)

- ・家庭や学校以外での子どもの居場所として、小学生の集えるサロンのように、地域の子育てを終えた世代の方が、簡単な遊びの相手、または、見守ってもらえるようなサポートがあれば大変ありがたいと常々考えていました。(12 件)
- ・犯罪や事故のない社会づくり。安心して過ごせる社会づくり。(3 件)
- ・最近不審者情報が多く不安を感じるため、登下校のサポートや地位ぐるみの子ども見守り隊のような地域の協力、パトロールの強化等が大切だと感じる。(2 件)
- ・一つの価値観ではなく、多くの価値観を持つ人が増える社会になるようサポートしてほしいです。

■児童館・放課後児童クラブについて(回答数：18 件)

- ・利便性の向上。(手続の簡素化、送迎のサポートや長期休みのみの利用など)(6 件)
- ・放課後児童クラブの利用学年の拡充。(5 件)
- ・放課後児童クラブの利用時間の拡充。(4 件)
- ・放課後児童クラブ・児童館（子どもだけで行ける放課後の遊び場）の増設。(2 件)

■子育て支援サービスについて(回答数：10 件)

- ・送迎バスの該当範囲の拡大（教育委員会）。わずかな距離で対象から外れ、約 2.5 km の距離をバスを利用できない。(3 件)
- ・土・日曜日に子育てイベント。
- ・スマホで簡単に検索でき、メールで相談できるサービス。

■学校・学習について(回答数：10 件)

- ・子どもと向き合った丁寧な指導。(3 件)
- ・学習能力の向上・学習支援。(2 件)

- ・学校行事など保護者の負担が大きいので、減らすかサポートしてほしい。
- ・スクールカウンセラーを各学校においてほしい。
- ・発達障害、学習障害など、人にわかりにくい障害がある子どもへの周囲のサポートがほしい。

■経済的支援・援助について(回答数：9件)

- ・手当などの金銭的な援助・増額。(7件)
- ・進学、入学のときに必要なものを購入できるお祝い金みたいなもの。
- ・第3子なのに、金銭的に負担が大きいと思うことがある。

■病児保育について(回答数：7件)

- ・病児保育(緊急時、一時的)の増設。「木のおうち」に登録はしているが、1日の定員が3人というのは少なすぎて、利用できたことが一度もない。(5件)
- ・病児保育を充実させてほしい。(2件)

■広報について(回答数：5件)

- ・子育てに関するサービス等の情報をもっと発信してほしい。後になって知ることが多い。(3件)
- ・発達の手続等(自分自身発達障がい持っているため)分かりやすい文面があれば助かる。どのような手続き、書類が必要なのかわからない。本当に今必要な手続きが完了(全て)しているかもわからない。

■民間支援施設・サービスについて(回答数：4件)

- ・鳴門にも子ども食堂があればぜひ利用したい。

■行政全般・財政について(回答数：3件)

- ・子育てに財政をもっと充当すべきである。
- ・今後も各職場に対して、業務を行う上で子育てや介護している世帯に対する配慮を、行政として継続して指導していただけますようお願いいたします。
- ・保護者が事故等により死亡(又は高度障害等)した場合において、残された未成年者が特に申請や報告をせずとも、各種制度や年金(遺族)、民間の保険手続等に案内とれる国選弁護士みたいな行政選人後見人制度の創設。

■その他(回答数：8件)

- ・今のままでよいと思う。(3件)
- ・子育ては楽しいが、今後の学費(高校から大学)のことを考えると、100%子どもたちの望みが叶えられるか不安。

## 受け取られたお子さんの保護者の就労状況についておうかがいします

問 11・12 受け取られたお子さんの保護者（母親・父親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についておうかがいします。

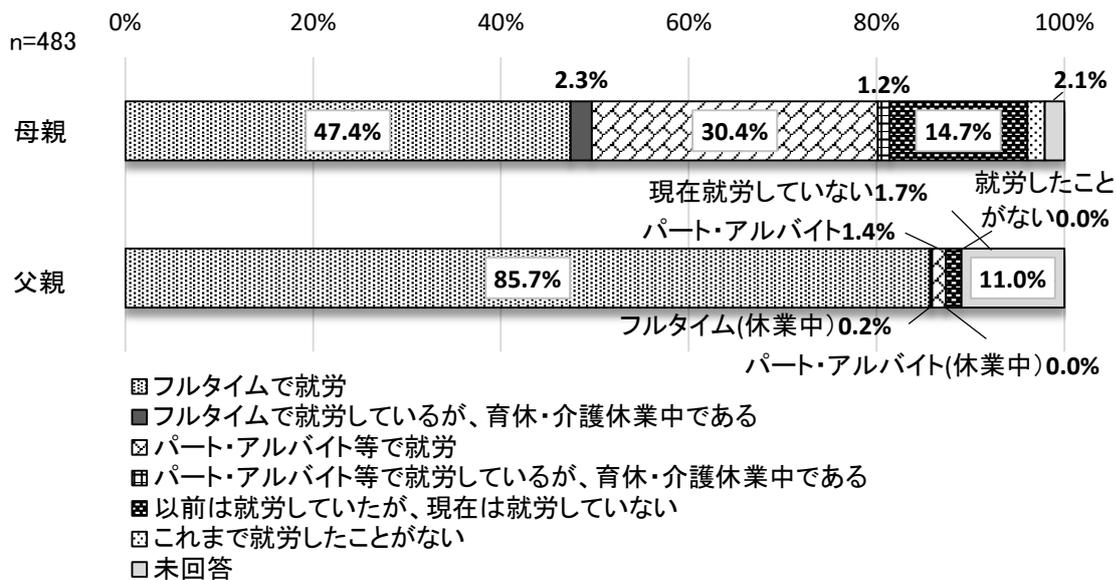
(1) 保護者（母親・父親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をおうかがいします。1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間(残業時間も含む)。また、家を出る時間と帰宅時間をお答えください。就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについて数字でご記入ください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

### ■現在の就労状況（1つに○）

現在の就労状況について、母親の場合、上位から「フルタイムで就労」47.4%、「3.パート・アルバイト等で就労」30.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」14.7%となっています。

父親の場合、「フルタイムで就労」85.7%でほとんどを占めています。

フルタイム（休業中含めて）で就労しているのは、母親 49.7%、父親 85.9%で、パート・アルバイト（休業中含めて）では、母親 31.6%、父親 1.4%となっています。



■フルタイムの就労日数（1週当たり）および就労時間（1日当たり）

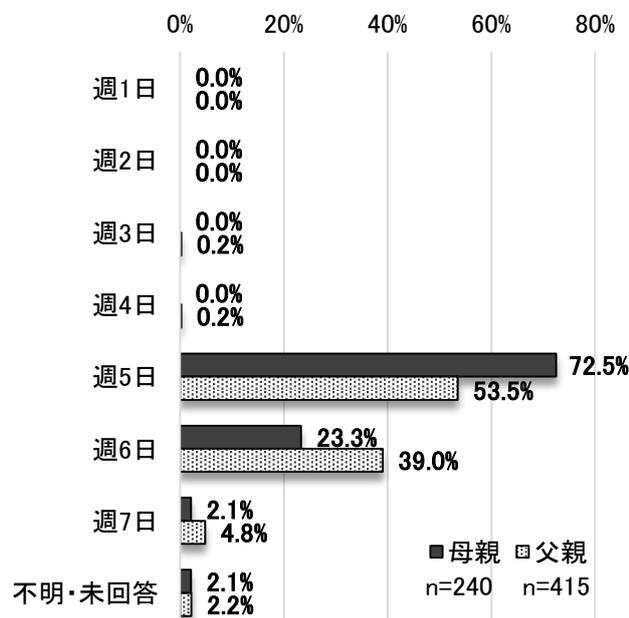
家を出る時間および帰宅時間（数量回答）

※「1. フルタイムで就労」「2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

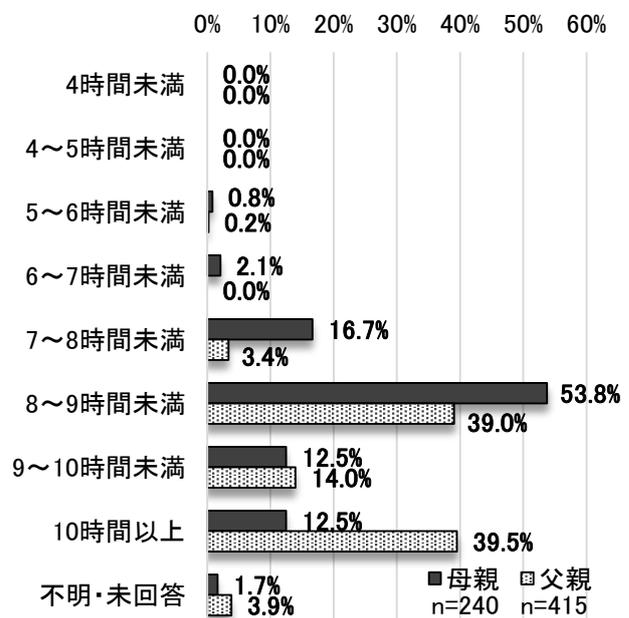
フルタイムで就労している保護者の状況は、1週当たりの就労日数では、母親・父親ともに「週5日」が最も多く、1日当たりの就労時間では、母親は「8～9時間」、父親は「8～9時間」と「10時間以上」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

出発時間については母親・父親ともに「7：30～8：29」の割合が最も高くなっています。帰宅時間については、母親・父親ともに「17：30～18：29」の割合が最も高くなっています。

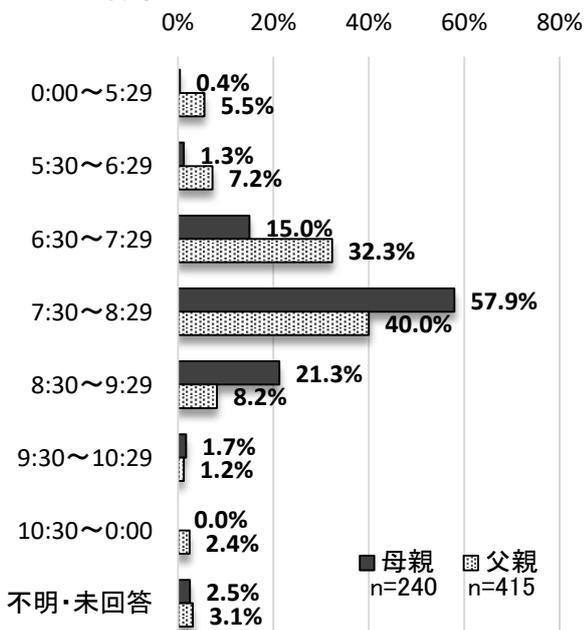
●1週当たりの就労日数-フルタイム



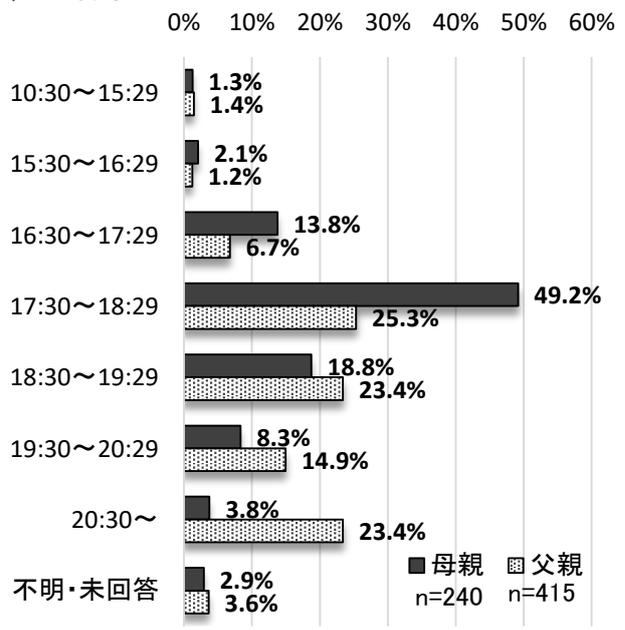
●1日当たりの就労時間-フルタイム



●出発時間-フルタイム



●帰宅時間-フルタイム



■パート・アルバイトの就労日数（1週当たり）および就労時間（1日当たり）

家を出る時間および帰宅時間（数量回答）

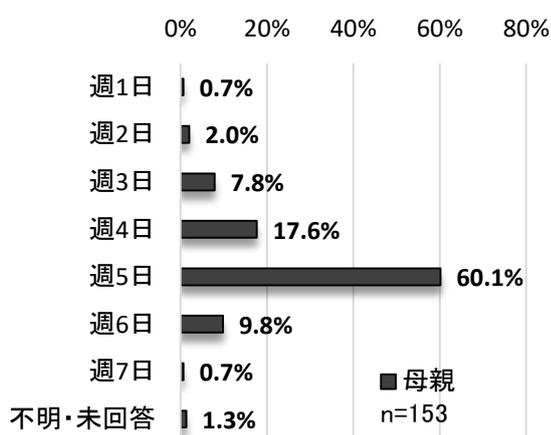
※「3. パート・アルバイトなどで就労」「4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

パート・アルバイトで就労している保護者の状況は、1週当たりの就労日数では、母親・父親ともに「週5日」が最も多く、1日当たりの就労時間では、母親はでは上位から「4～5時間」22.2%、「5～6時間」20.9%、「6～7時間」20.3%、「7～8時間」17.6%と4時間から8時間に分布しています。父親は「7～8時間」と「8～9時間」に2件ずつ回答がありました。

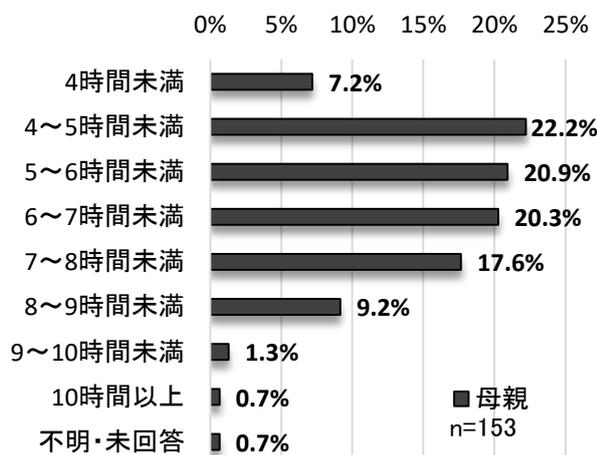
出発時間については母親・父親ともに「7：30～8：29」の割合が最も高くなっています。帰宅時間については、母親は「10：30～15：29」35.9%、「16：30～17：29」24.8%となっています。父親は「20：30～」に3件の回答がありました。

●1週当たりの就労日数-パート・アルバイト ●1日当たりの就労時間-パート・アルバイト

○母親



○母親



○父親

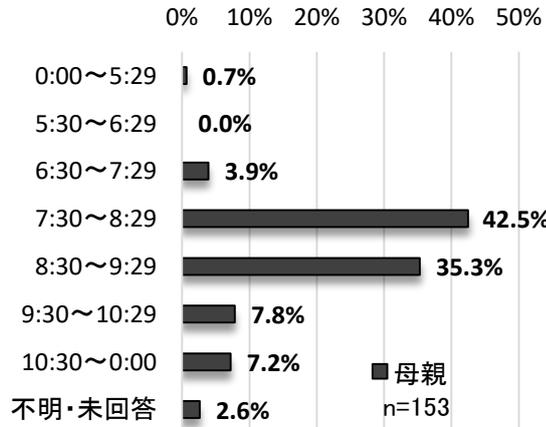
週当たり就労日数・パート・アルバイト	父親	
	件数	割合 (%)
週1日	1	14.3%
週2日	0	0.0%
週3日	1	14.3%
週4日	0	0.0%
週5日	3	42.9%
週6日	1	14.3%
週7日	0	0.0%
不明・未回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

○父親

日当たり就労時間・パート・アルバイト	父親	
	件数	割合 (%)
4時間未満	0	0.0%
4～5時間未満	1	14.3%
5～6時間未満	0	0.0%
6～7時間未満	1	14.3%
7～8時間未満	2	28.6%
8～9時間未満	2	28.6%
9～10時間未満	0	0.0%
10時間以上	0	0.0%
不明・未回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

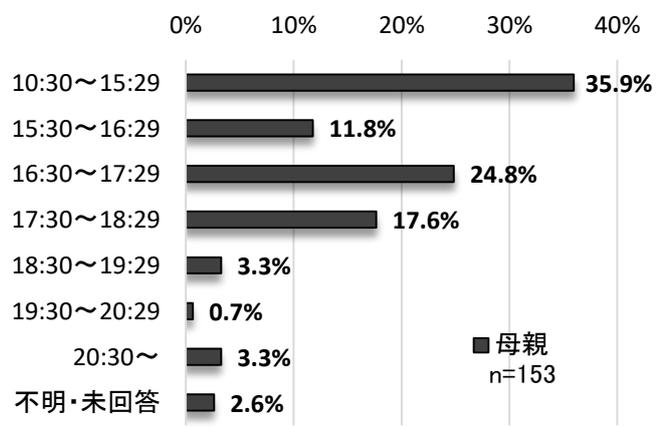
● 出発時間-パート・アルバイト

○ 母親



● 帰宅時間-パート・アルバイト

○ 母親



○ 父親

出発時間・パート・アルバイト	父親	
	件数	割合 (%)
0:00~5:29	0	0.0%
5:30~6:29	0	0.0%
6:30~7:29	2	28.6%
7:30~8:29	1	14.3%
8:30~9:29	1	14.3%
9:30~10:29	0	0.0%
10:30~0:00	2	28.6%
不明・未回答	1	14.3%
<b>合計</b>	<b>7</b>	<b>100.0%</b>

○ 父親

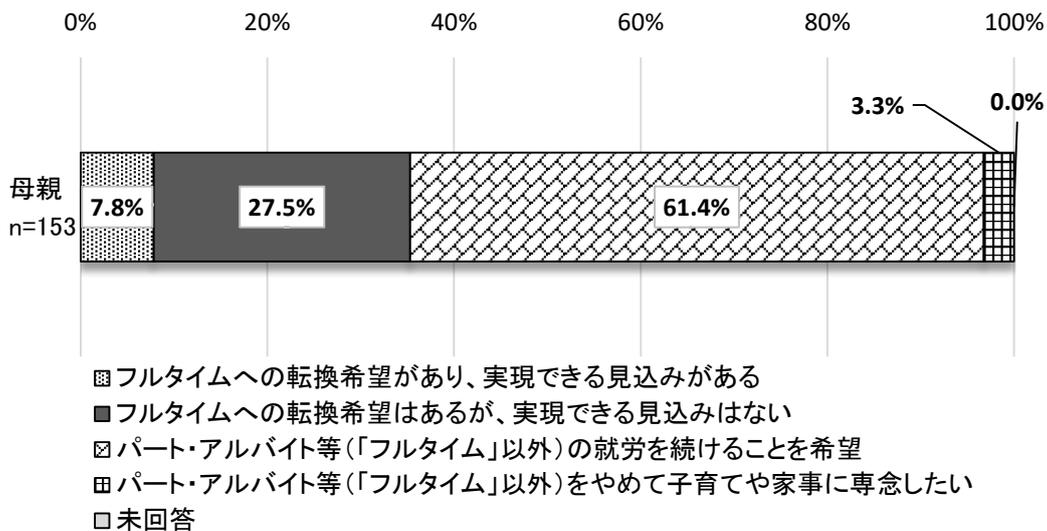
帰宅時間・パート・アルバイト	父親	
	件数	割合 (%)
10:30~15:29	0	0.0%
15:30~16:29	1	14.3%
16:30~17:29	0	0.0%
17:30~18:29	1	14.3%
18:30~19:29	1	14.3%
19:30~20:29	0	0.0%
20:30~	3	42.9%
不明・未回答	1	14.3%
<b>合計</b>	<b>7</b>	<b>100.0%</b>

(2) フルタイムへの転職希望はありますか。(1つに○)。

※「3. パート・アルバイトなどで就労」「4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と答えた方

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転職希望は、母親は「パート・アルバイトなど（フルタイム以外）の就労を続けることを希望」61.4%が最も高くなっています。母親のフルタイムへの転職希望は35.3%となっています。父親は、「パート・アルバイトなど（フルタイム以外）の就労を続けることを希望」と「フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない」に2件の回答がありました。

●母親



●父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
フルタイムへの転職希望があり、実現できる見込みがある	1	14.3%
フルタイムへの転職希望はあるが、実現できる見込みはない	2	28.6%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	2	28.6%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
未回答	2	28.6%
<b>合計</b>	<b>7</b>	<b>100.0%</b>

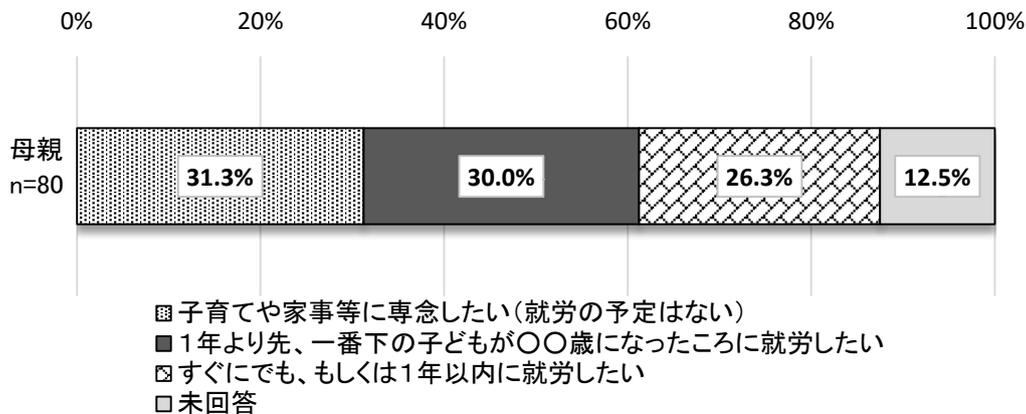
(3) 就労したいという希望はありますか。(1つに○)

※「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」「6. これまで就労したことがない」と答えた方

現在就労していない方の就労希望は、母親は「子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)」31.3%と割合が最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころ就労したい」30.0%となっています。父親は「子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)」に6件の回答がありました。

また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかは、母親「7歳以上」62.5%と割合が最も高く、次いで「6歳以上」16.7%となっています。

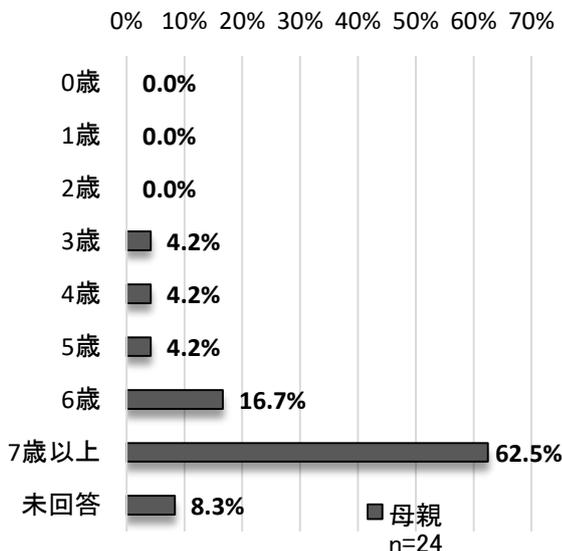
●母親



●父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない)	6	75.0%
1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい	0	0.0%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	2	25.0%
未回答	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>8</b>	<b>100.0%</b>

●就労を希望する上での一番下の子どもの年齢 (数量回答)



※父親に回答はありませんでした。

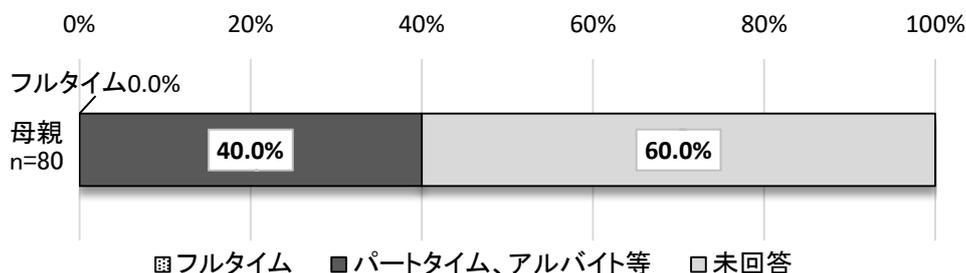
■希望する就労形態（1つに○）

※「2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた方

希望する就労形態は、母親「パートタイム・アルバイト等」40.0%となっており、父親は「フルタイム」に2件の回答がありました。

また、パートタイム、アルバイト等を選んだ方の希望する週当たりの就労日数については、母親「5日」46.9%、次いで「3日」25.0%となっています。希望する日当たりの就労時間では、母親「5時間」43.8%、次いで「4時間以下」31.3%となっています。

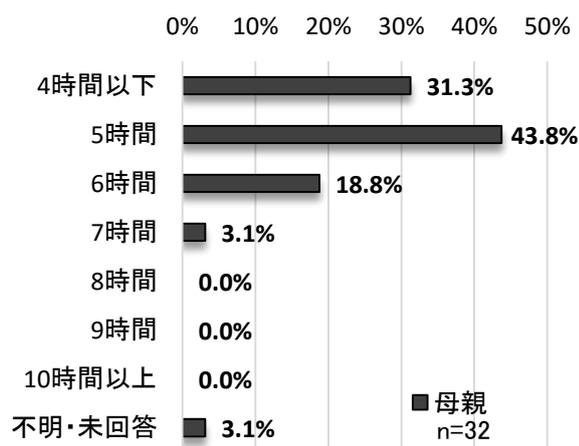
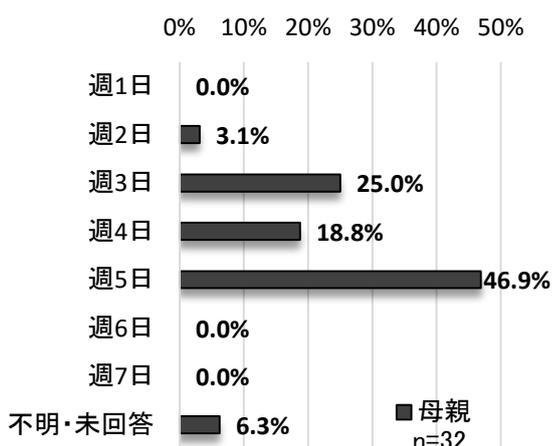
●母親



●父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
フルタイム	2	25.0%
パートタイム、アルバイト等	0	0.0%
未回答	6	75.0%
合計	8	100.0%

●1週当たりの就労日数-パート-アルバイト ●1日当たりの就労時間-パート-アルバイト  
○母親（数量回答） ○母親（数量回答）



※母親のフルタイムでの就労日数及び就労時間に回答はありませんでした。

※父親のフルタイムでは、就労日数で「週5日」に2件、就労時間で「8時間」に2件の回答がありました。

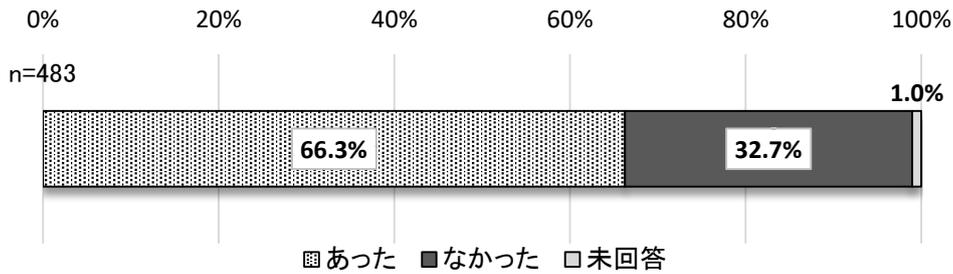
父親のパート・アルバイトでは、就労日数、及び就労時間の回答はありませんでした。

## 受け取られたお子さんの病気の際の対応についておうかがいします

問 13 この1年間に、受け取られたお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。また、あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法についてお答えください。

### ■通常の事業が利用できなかった経験の有無（1つに○）

子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった経験は、「あった」66.3%、「なかった」32.7%となっています。

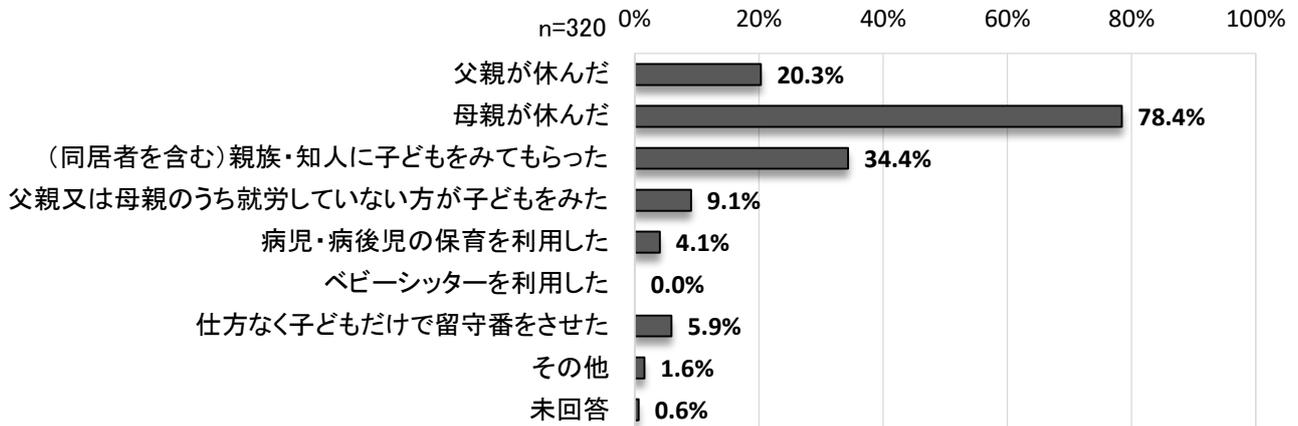


### ■1年間の対処方法と対処日数

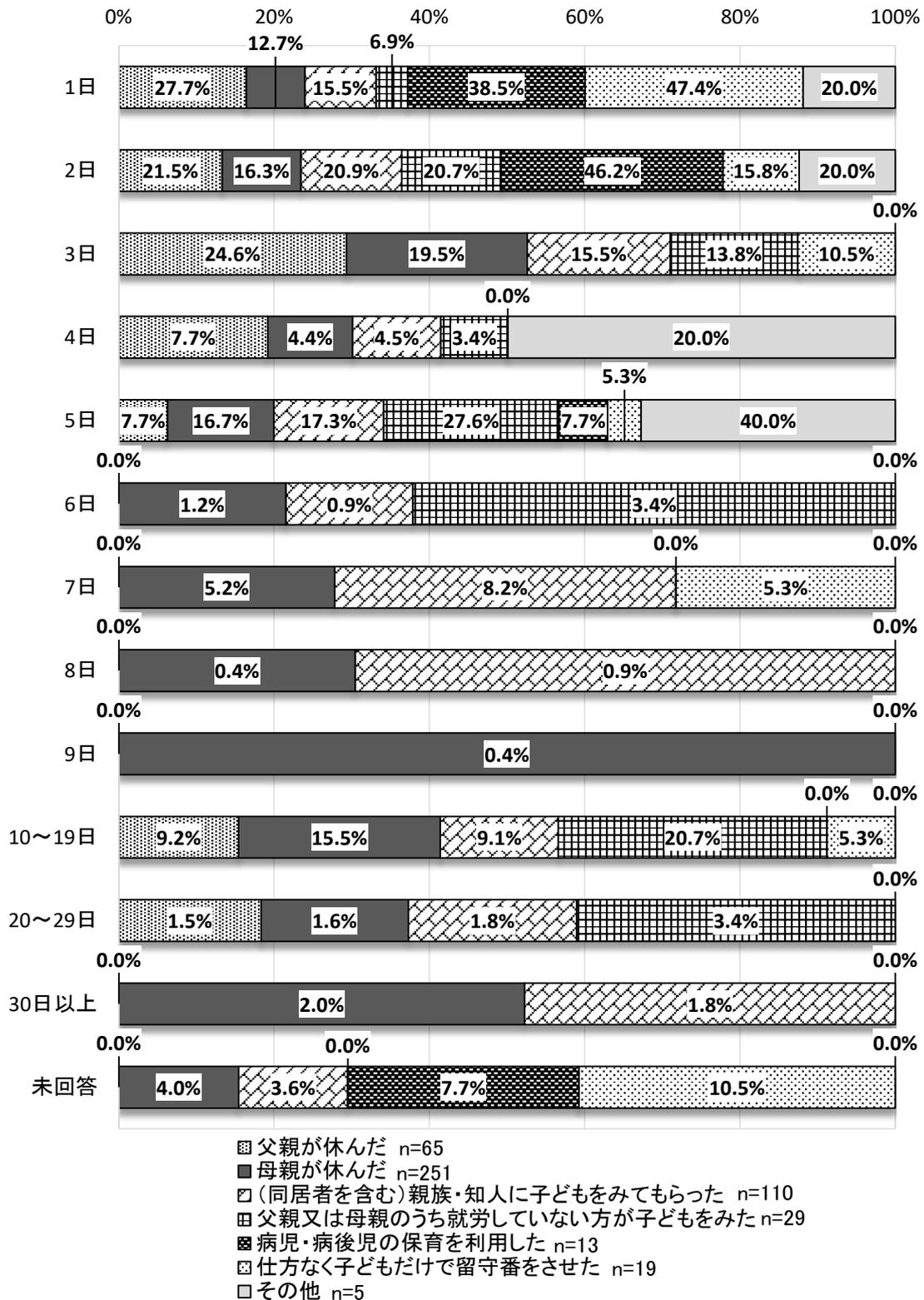
#### ※「1. あった」と答えた方

子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった場合の対処法についてみると、「母親が休んだ」78.4%と割合が最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」34.4%となっています。

### ●この1年間の対処方法（あてはまるものすべてに○）



●年間のおおよその対処日数（数量回答）



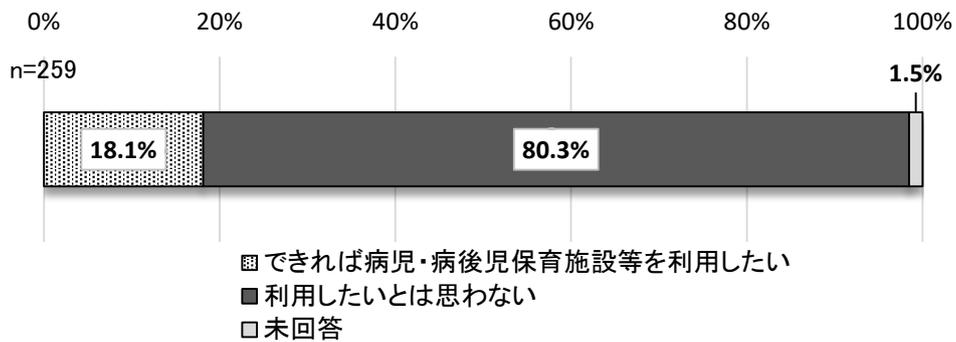
※「ベビーシッターを利用した」への回答はありませんでした。

問 13-1 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。また、日数についてもご記入ください。

※問 13 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」と答えた方

■病気の際の利用の意向（1つに○）

父親または母親が休んだ方のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選択した方は 18.1%、「利用したいとは思わない」を選択した方は 80.3%となっています。



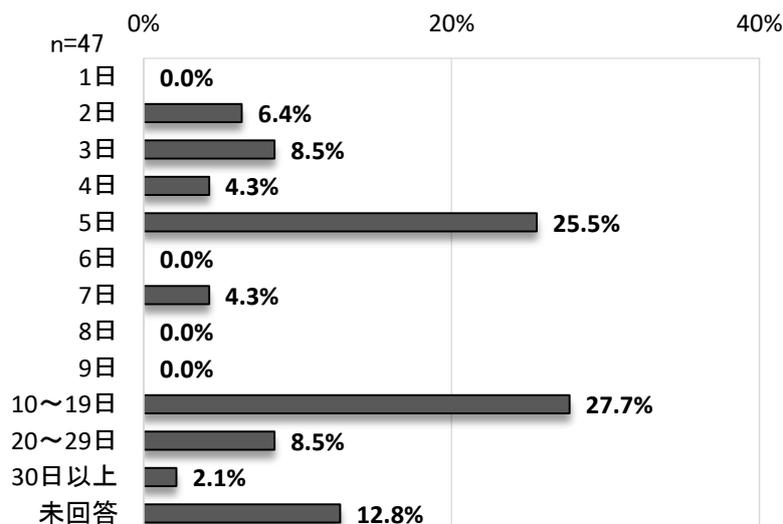
■利用希望日と利用を希望する事業形態

※「1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と答えた方

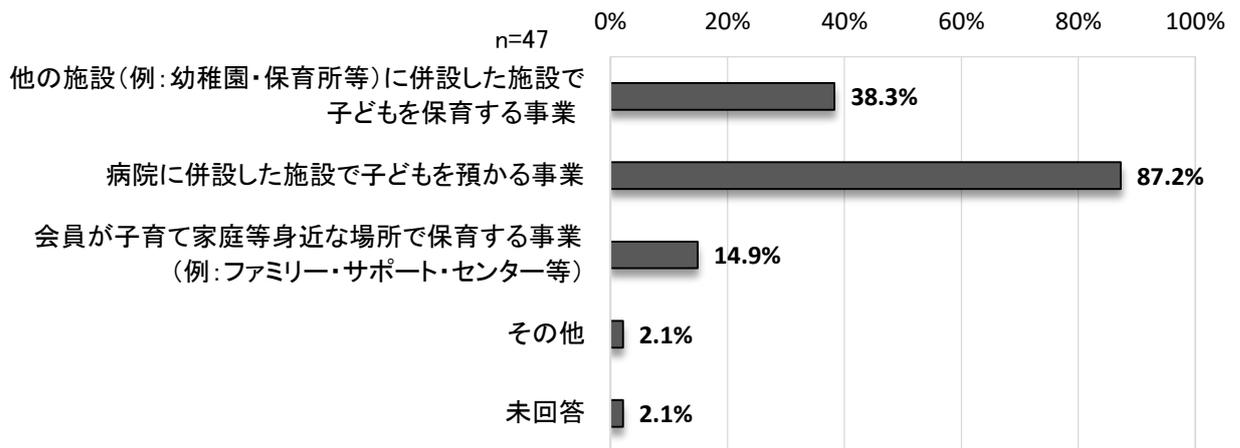
利用希望日数は、「10～19日」27.7%、次いで「5日」25.5%となっています。

病児・病後児保育施設等を利用したい方の子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「病院に併設した施設で子どもを預かる事業」87.2%、次いで「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」38.3%となっています。

●利用希望日数（数量回答）



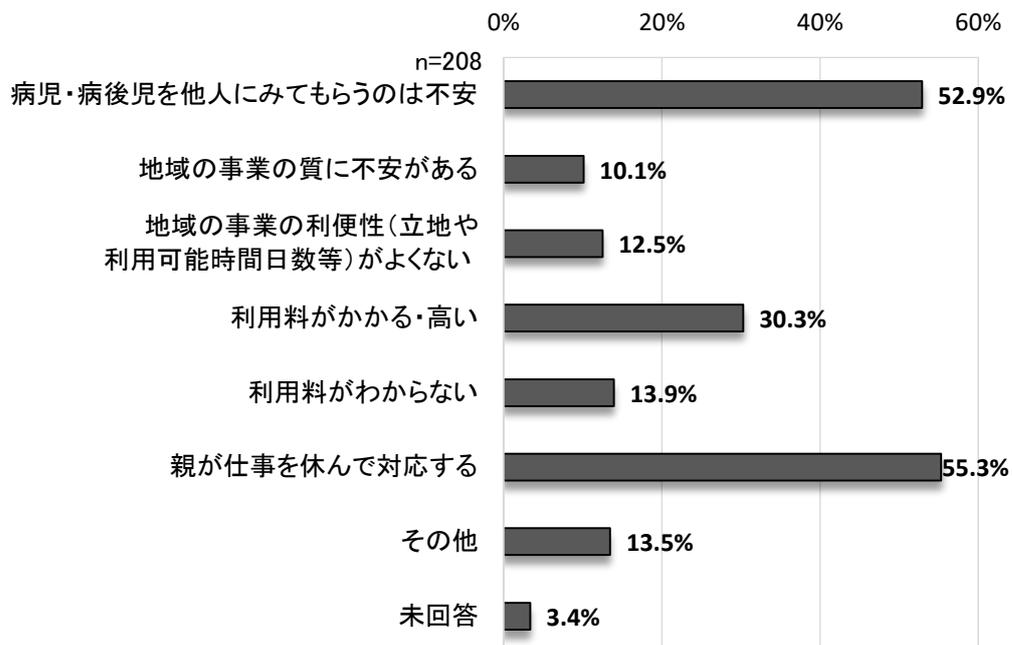
●利用を希望する事業形態（あてはまるものすべてに○）



■利用を希望しない理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 利用したいとは思わない」と答えた方

利用を希望しない理由は、「親が仕事を休んで対応する」55.3%の割合が最も高く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」52.9%となっています。

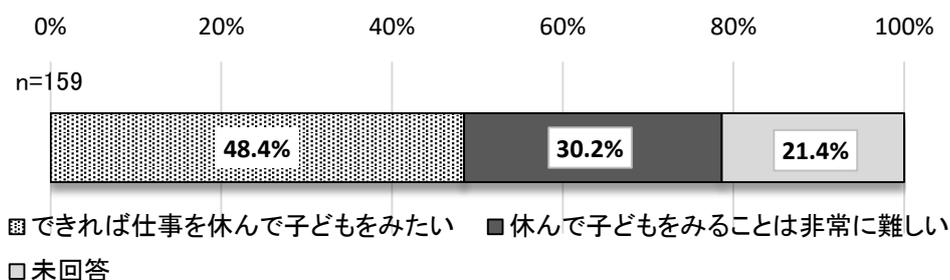


問 13-2 その際、できれば父母のいずれかが仕事を休んでお子さんをみたいと思われましたか。(1つに○) また、「3」から「8」の日数のうち仕事を休んでお子さんをみたかった日数についてもご記入ください。

※問 13で「3」から「8」のいずれかに回答した方

■病気の際の意向 (1つに○)

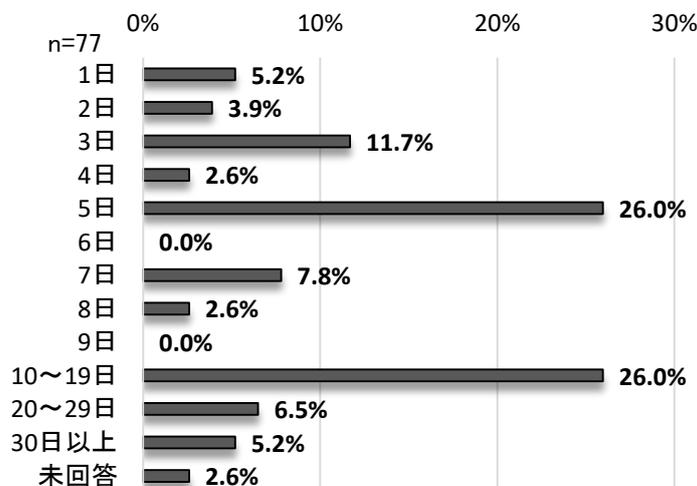
病気の際の意向については、「できれば仕事を休んで子どもをみたい」48.4%の割合が最も高く、次いで「休んで子どもをみることは非常に難しい」30.2%となっています。



■休みの希望日数 (数量回答)

※「1. できれば仕事を休んで子どもをみたい」と答えた方

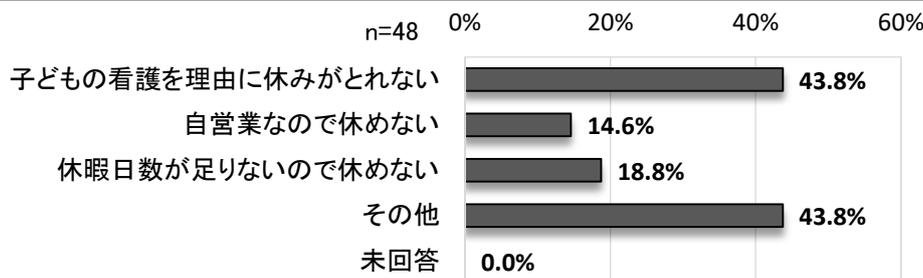
休みの希望日数は、「5日」、「10~19日」がともに割合が高く、26.0%となっています。



■休むことが非常に難しい理由 (あてはまるものすべてに○)

※「2. 休んで子どもをみることは非常に難しい」と答えた方

「子どもの看護を理由に休みがとれない」43.8%の割合が最も高くなっています。

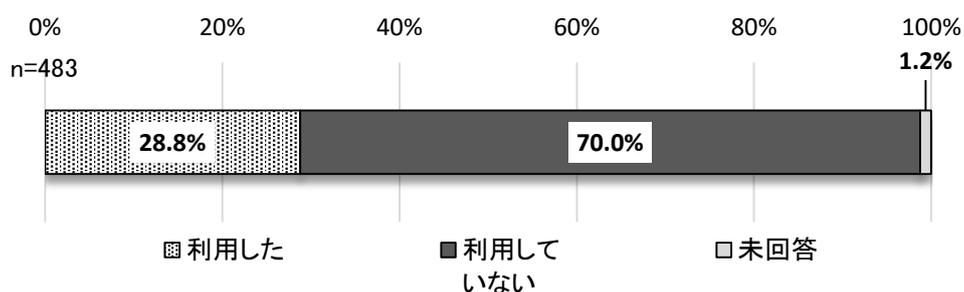


受け取られたお子さんの不特定の教育・保育の事業や宿泊を伴う一時預かりなどの利用についておうかがいします

問 14 受け取られたお子さんについて、日中の保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。ある場合は、1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。

■利用の有無（1つに○）

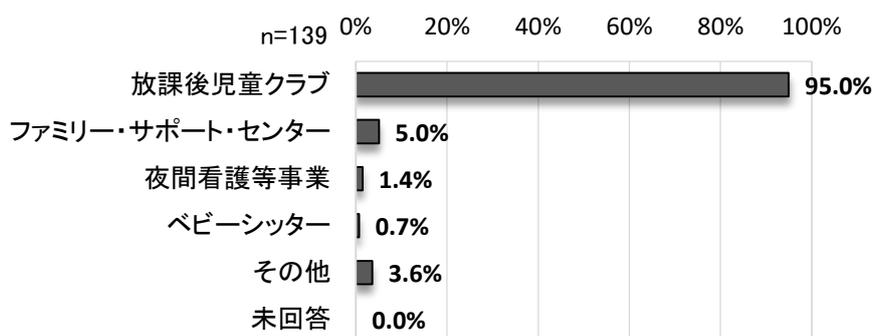
私用や不特定の就労などの理由で、不定期的に利用している事業の利用経験は、「利用した」28.8%、「利用していない」70.0%となっています。



■利用している事業（あてはまるものすべてに○）

※「1. 利用した」と答えた方

私用や不特定の就労などの理由で、不定期的に利用している事業は、「放課後児童クラブ」95.0%とほとんどを占めています。利用している事業の1年間の利用日数は、「放課後児童クラブ」では「30日以上」85.6%とほとんどを占めています。



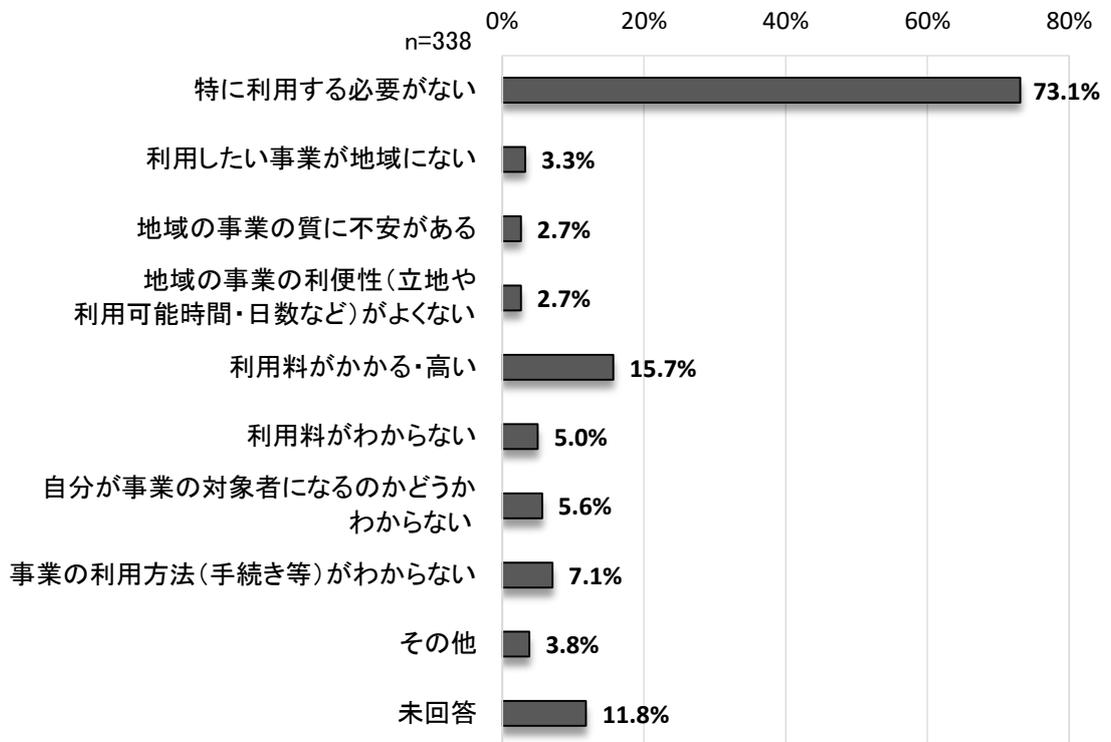
●年間利用延べ日数（数量回答）

年間 利用日数	放課後児童クラブ		ファミリー・サポ ート・センター		夜間看護等事業		ベビーシッター		その他	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
1日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3日	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4日	0	0.0%	1	14.3%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
5日	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7日	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10～19日	5	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%
20～29日	2	1.5%	1	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30日以上	113	85.6%	3	42.9%	1	50.0%	0	0.0%	5	100.0%
未回答	11	8.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	132	100.0%	7	100.0%	2	100.0%	1	100.0%	5	100.0%

■利用していない理由（あてはまるものすべてに○）

※「2. 利用していない」と答えた方

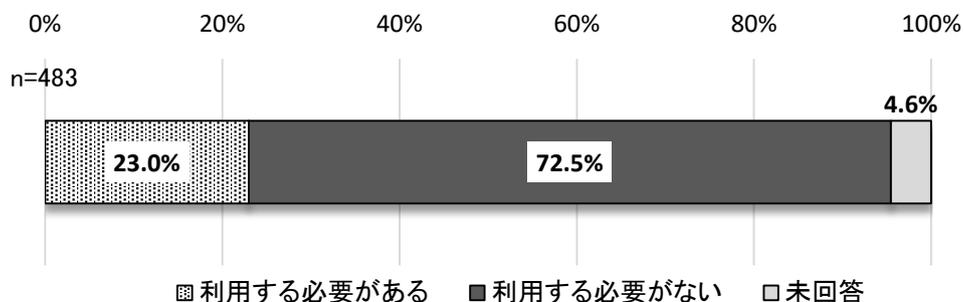
不定期に事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」73.1%の割合が最も高くなっています。



問 15 受け取られたお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

■利用の有無（1つに○）

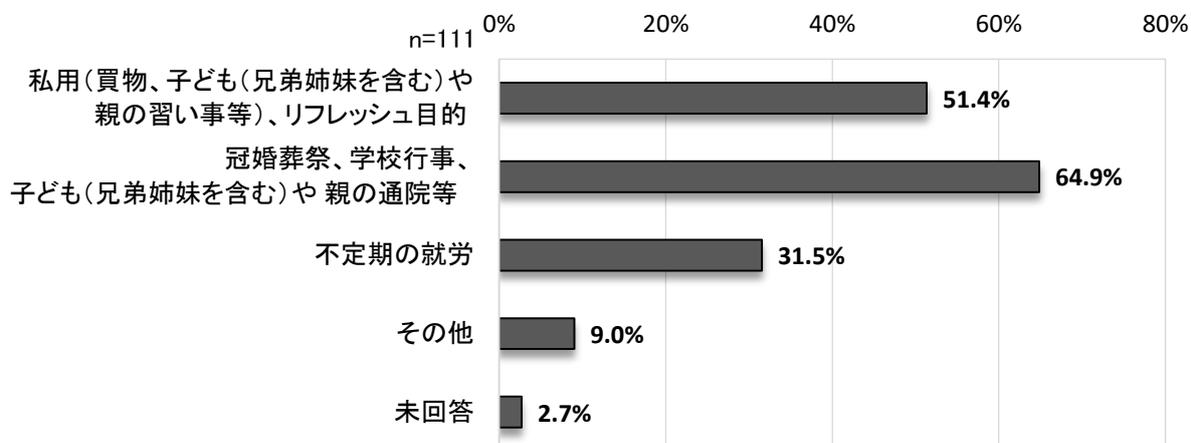
不定期での事業の利用の有無は、「利用する必要がある」23.0%、「利用する必要がない」72.5%となっています



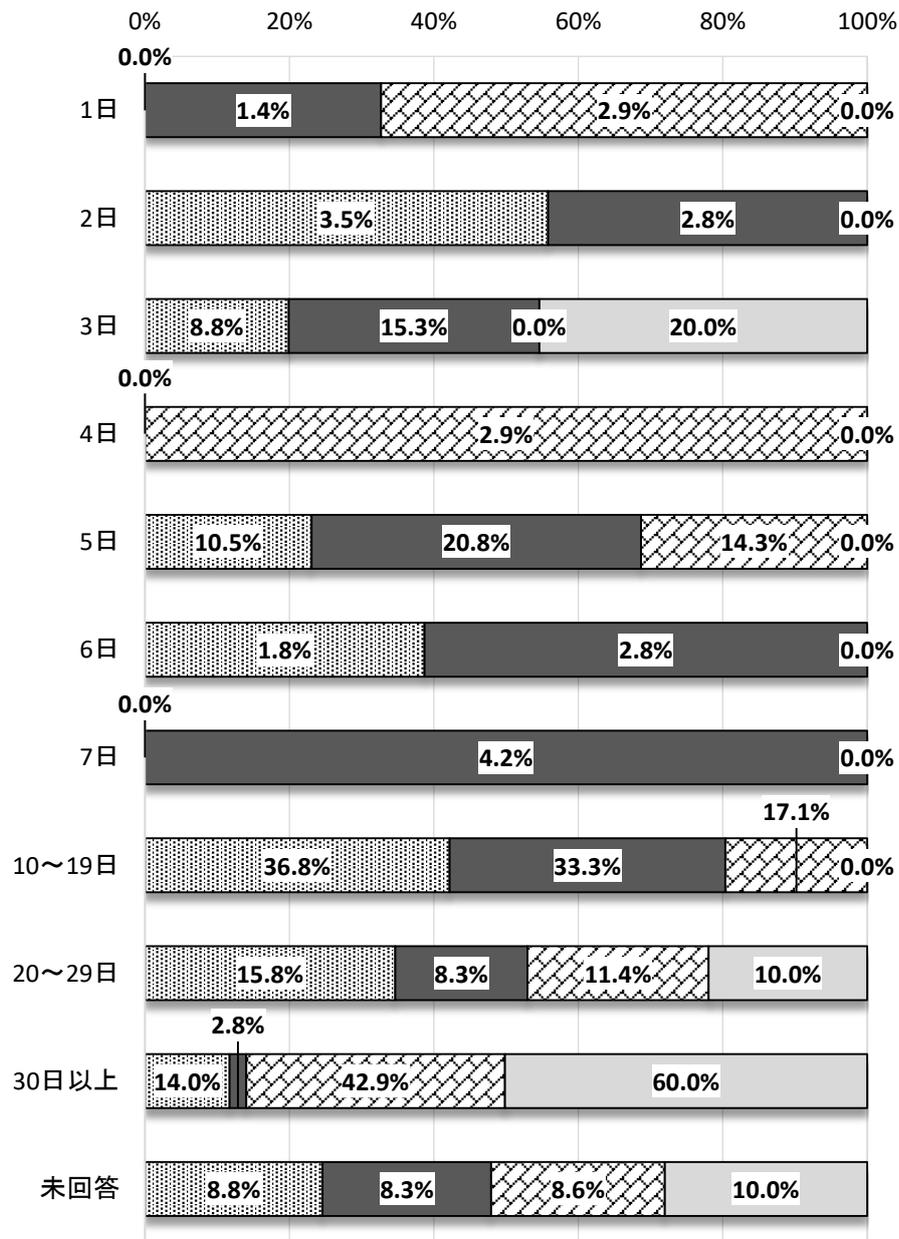
■希望する利用目的（あてはまるものすべてに○）

※「1. 利用する必要がある」と答えた方

利用したい目的では、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院など」64.9%と最も高く、次いで「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事など）、リフレッシュ目的」51.4%となっています。それぞれの利用したい年間日数は、「10～19日」の割合が最も高くなっています。



●年間利用延べ日数（数量回答）

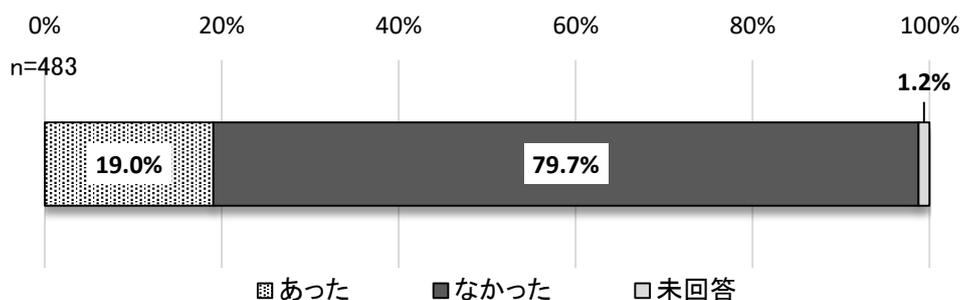


- ▣ 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事など)、リフレッシュ目的 n=57
- 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等 n=72
- ▣ 不定期の就労 n=35
- その他 n=10

問 16 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、受け取られたお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）また、あった場合は、この1年間の対処方法は何ですか。それぞれの日数もご記入ください。

■必要性の有無（1つに○）

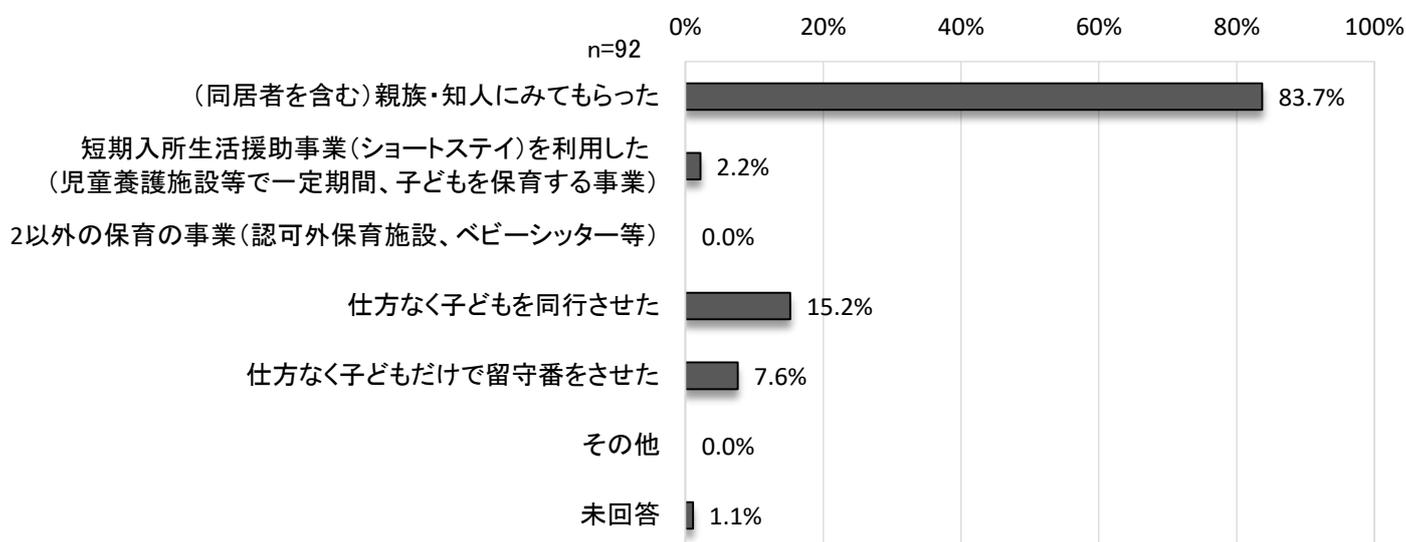
泊りがけで子どもをみてもらわなければならないとい経験の有無は、「あった」19.0%、「なかった」79.7%となっています。



■対処方法（あてはまるものすべてに○）

※「1. あった」と答えた方

対処方法については、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」83.7%と最も高い割合になっており、預けた泊数は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」では「5泊」「10泊」が18.2%、次いで「2泊」16.9%となっています。



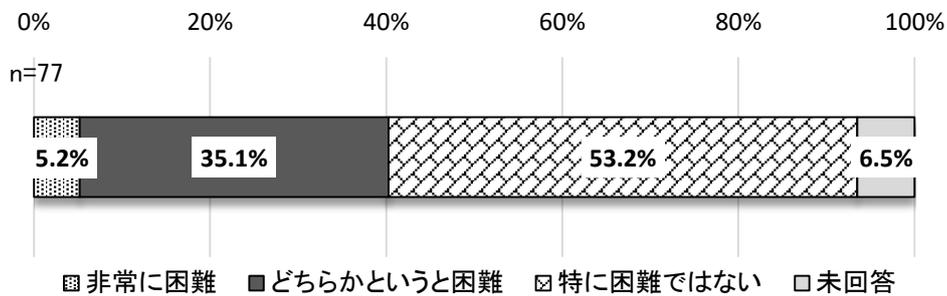
●年間利用延べ日数（数量回答）

年間 利用日数	(同居者を含む)親 族・知人にみても らった		短期入所生活援 助事業(ショートス テイ)を利用した (児童養護施設等 で一定期間、子ど もを保育する事 業)		2以外の保育の事 業(認可外保育施 設、ベビーシッター 等)		仕方なく子どもを 同行させた		仕方なく子どもだ けで留守番をさせ た		その他	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)
1泊	11	14.3%	0	0.0%	0	0.0%	5	35.7%	3	42.9%	0	0.0%
2泊	13	16.9%	0	0.0%	0	0.0%	2	14.3%	1	14.3%	0	0.0%
3泊	9	11.7%	0	0.0%	0	0.0%	3	21.4%	1	14.3%	0	0.0%
4泊	3	3.9%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5泊	14	18.2%	0	0.0%	0	0.0%	2	14.3%	0	0.0%	0	0.0%
6泊	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7泊	6	7.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8泊	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
9泊	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10泊以上	14	18.2%	1	50.0%	0	0.0%	1	7.1%	1	14.3%	0	0.0%
未回答	7	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	1	14.3%	0	0.0%
合計	77	100.0%	2	100.0%	0	0.0%	14	100.0%	7	100.0%	0	0.0%

問 16-1 その場合、どの程度困難でしたか。(1つに○)

※問 16で「1.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方

親族・知人にみてもらった時の困難さは、「特に困難ではない」53.2%の割合が最も高く、次いで「どちらかという困難」35.1%となっています。

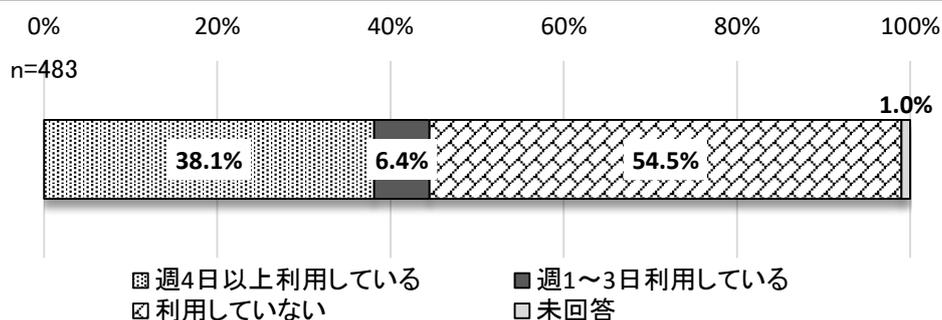


## 受け取られたお子さんの放課後の過ごし方について おうかがいします

問 17 受け取られたお子さんは、現在放課後児童クラブ(学童保育) を利用していますか。利用されている場合は利用している時間帯と、利用している主な理由を、また利用していない場合は、利用していない主な理由をお答えください。平日・土曜日それぞれについてご記入ください。

### ■ 平日の利用状況 (1つに○)

平日に放課後児童クラブの利用状況みると、「利用していない」54.5%の割合が最も高く、「週4日以上利用している」38.1%となっています。



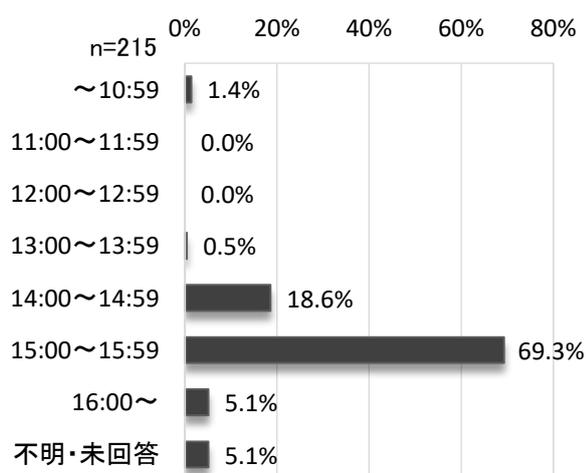
### ■ 平日の利用時間帯と利用している主な理由

※ 「1. 週4日以上利用している」「2. 週1~3日利用している」と答えた方

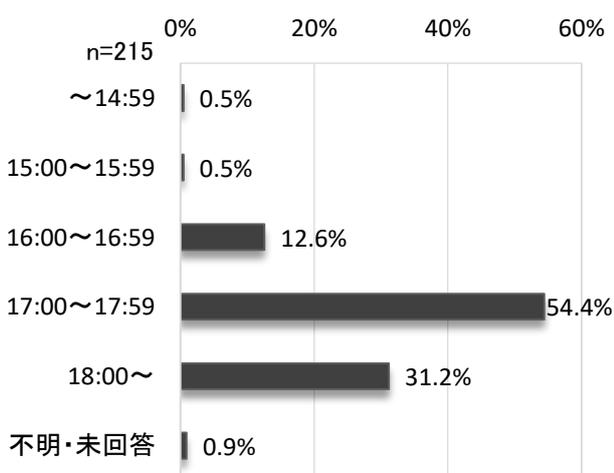
平日の放課後児童クラブの利用時間帯をみると、利用開始時間は、「15:00~15:59」69.3%が最も高い割合になっています。利用終了時間は、「17:00~17:59」54.4%、次いで「18:00~」31.2%となっています。

利用している理由は、「現在就労している」84.7%がほとんどを占めています。

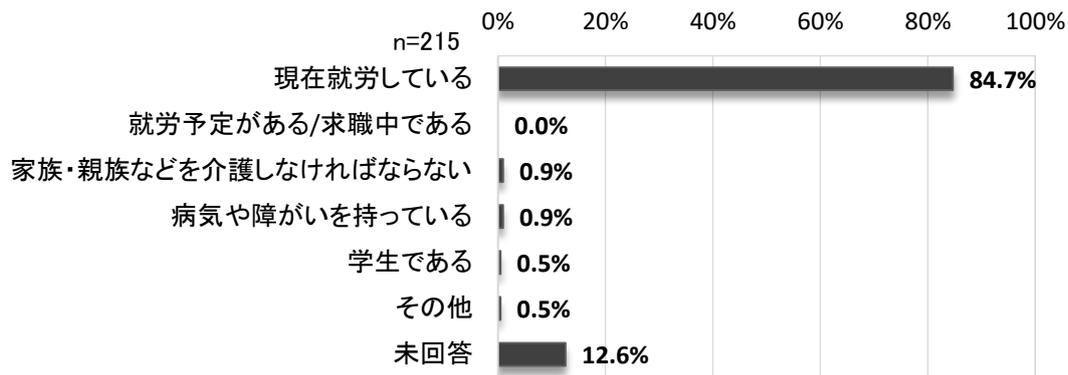
### ● 利用開始時間 (数量回答)



### ● 利用終了時間 (数量回答)



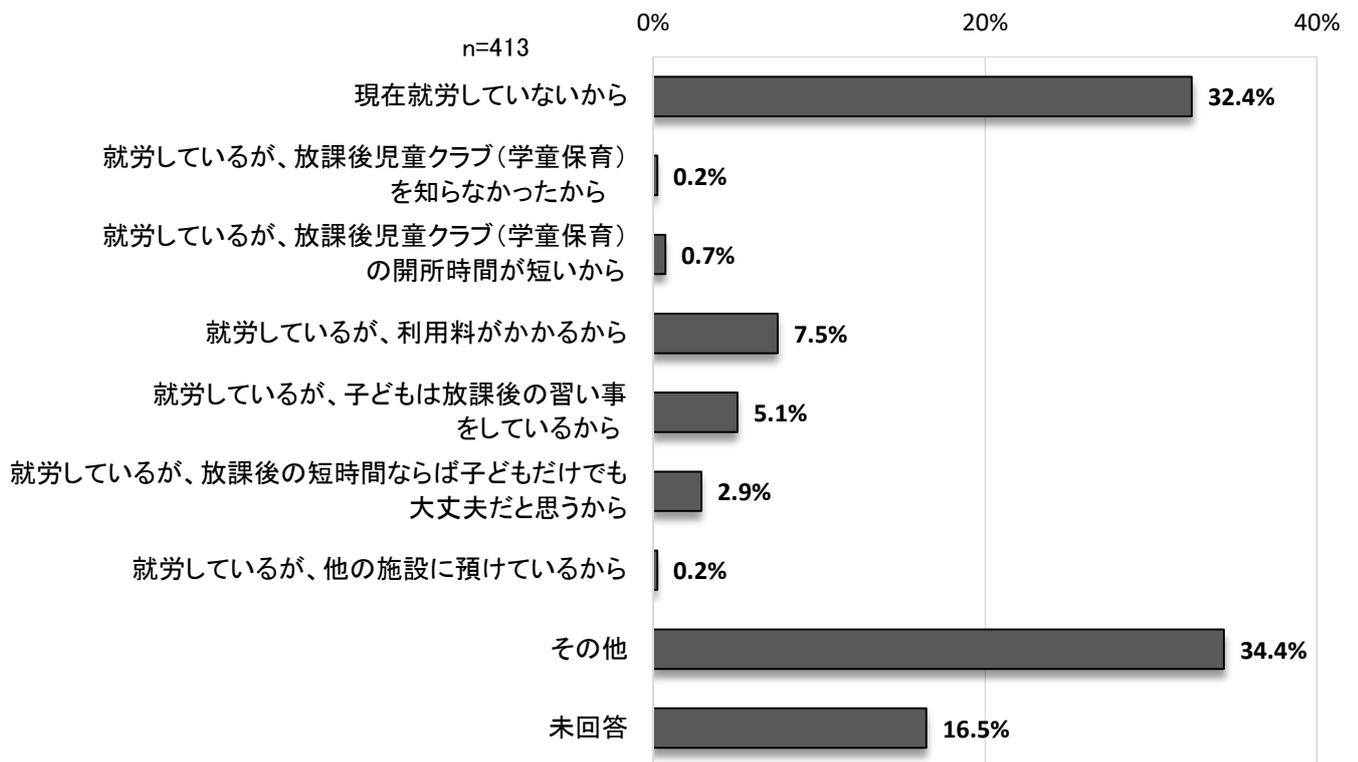
●利用している主な理由（1つに○）



■平日に利用していない主な理由（1つに○）

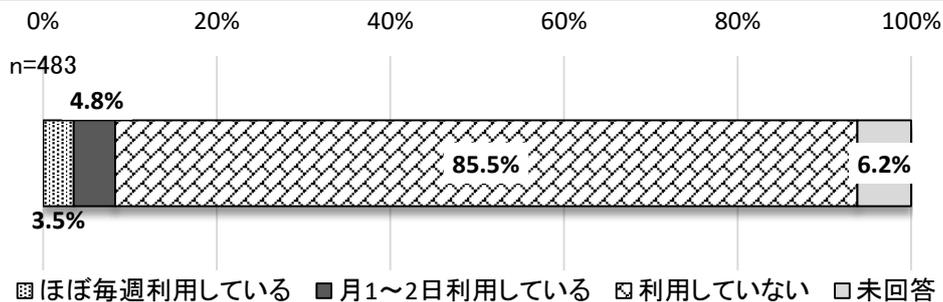
※「3. 利用していない」と答えた方

平日に放課後児童クラブを利用していない理由は、「現在就労していないから」35.7%が最も高い割合になっています。



### ■土曜日の利用状況（1つに○）

土曜日の放課後児童クラブの利用状況みると、「利用していない」85.5%と最も高い割合になっています。



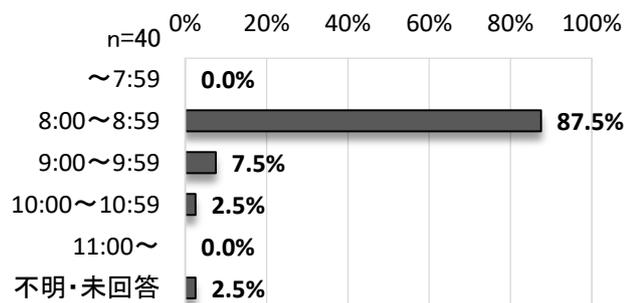
### ■土曜日の利用時間帯と利用している主な理由

※「1. ほぼ毎週利用している」「2. 月1~2日利用している」と答えた方

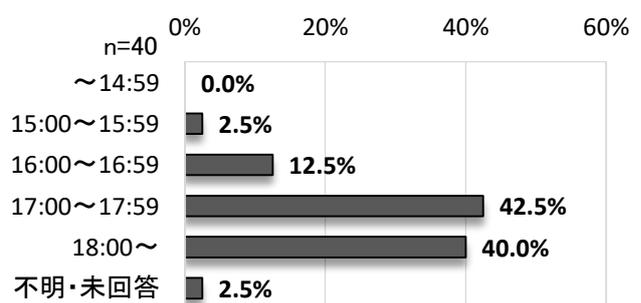
土曜日の放課後児童クラブの利用時間帯をみると、利用開始時間は、「8:00~8:59」87.5%が最も高い割合になっています。利用終了時間は、「17:00~17:59」42.5%、次いで「18:00~」40.0%となっています。

利用している理由は、「現在就労している」97.5%がほとんどを占めています。

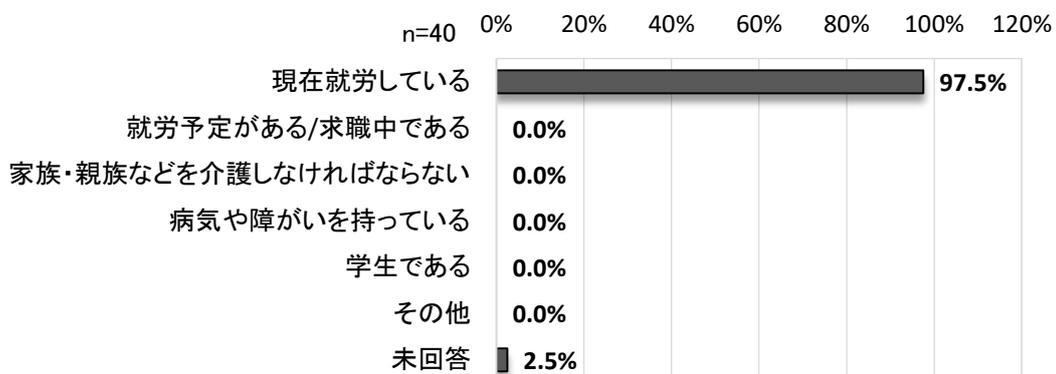
#### ●利用開始時間（数量回答）



#### ●利用終了時間（数量回答）



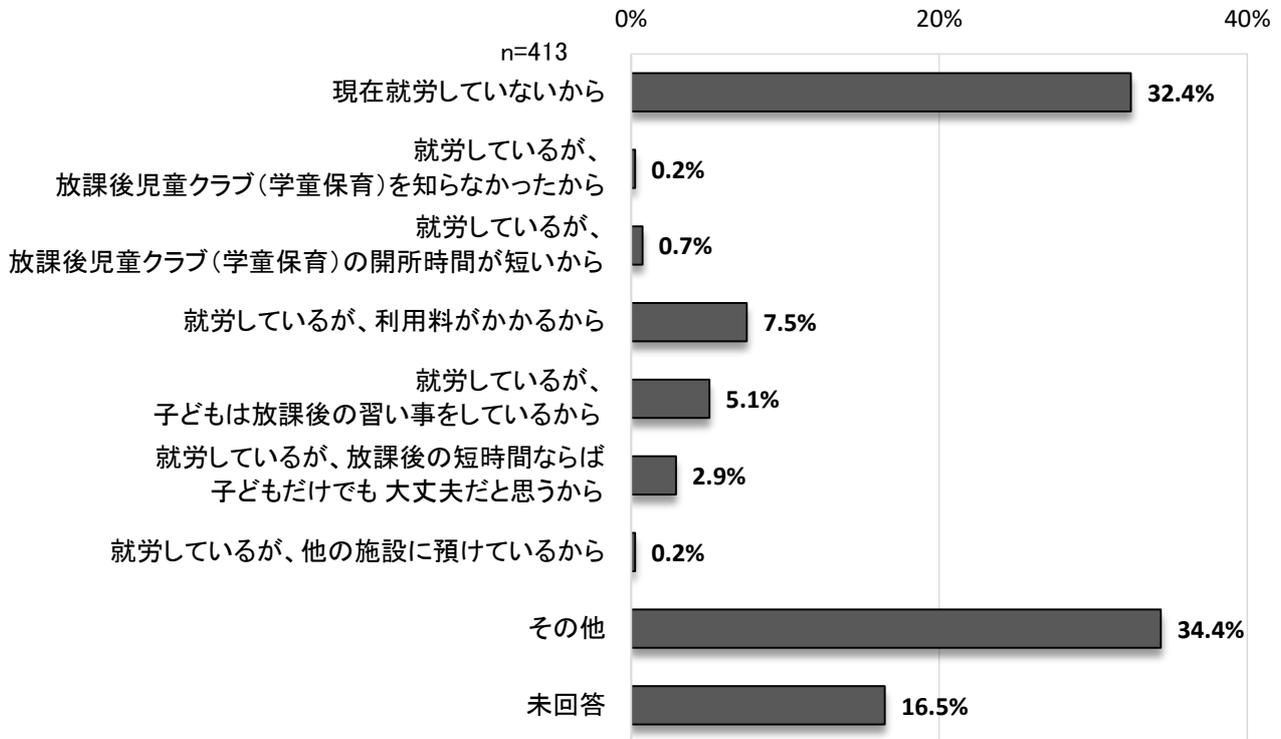
#### ●利用している主な理由（1つに○）



■土曜日に利用していない主な理由（1つに○）

※「3. 利用していない」と答えた方

土曜日に放課後児童クラブを利用していない理由は、「現在就労していないから」32.4%が最も高い割合になっています。



問 18 放課後児童クラブ（学童保育）に対してどのように感じていますか。

(①～⑩のそれぞれ1つに○)

放課後児童クラブ（学童保育）の満足度は、

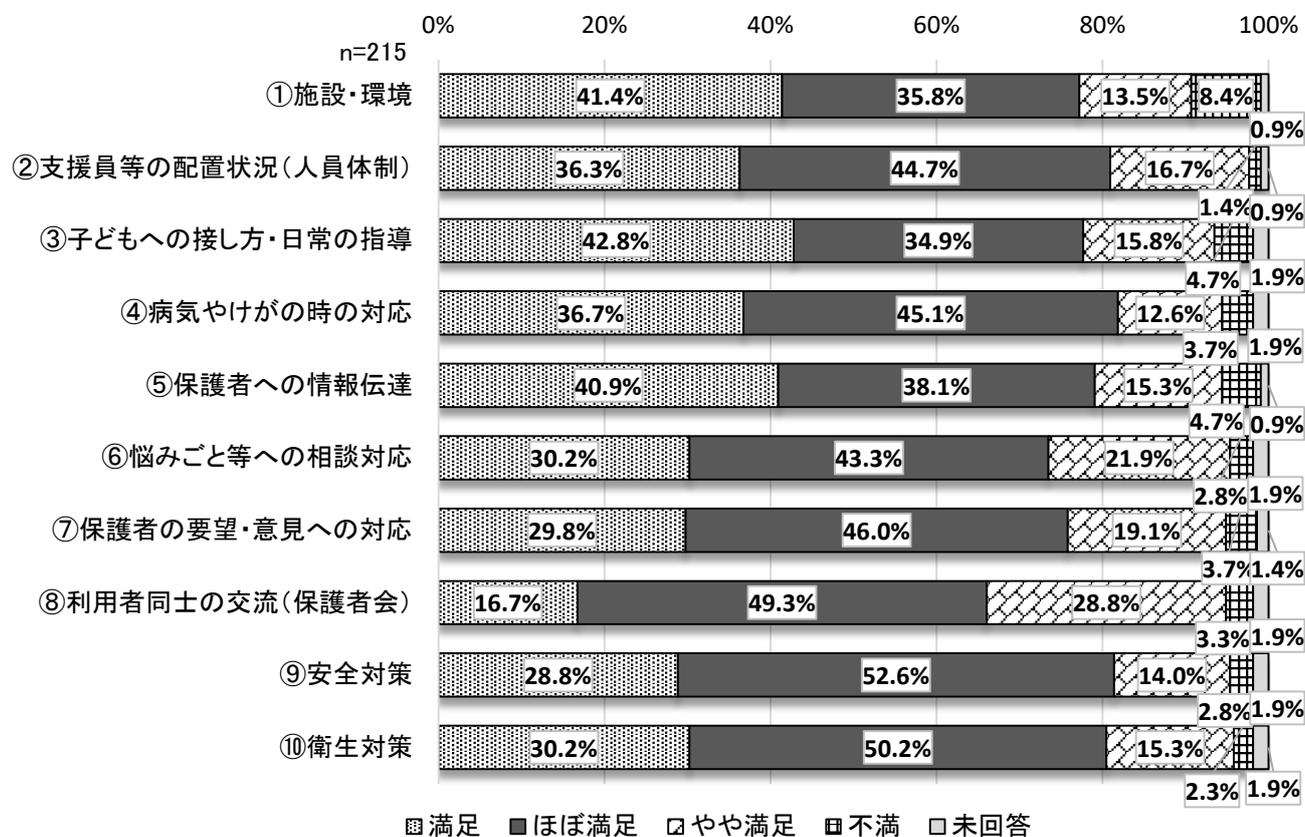
満足が高い：「子どもへの接し方・日常の指導」42.8%、「施設・環境」41.4%、  
「保護者への情報伝達」40.9%

ほぼ満足が高い：「安全対策」52.6%、「衛生対策」50.2%、「利用者同士の交流（保護者会）」49.3%、「保護者の要望・意見への対応」46.0%、「悩みごと等への相談対応」43.3%、「病気やけがの時の対応」45.1%、「支援員等の配置状況（人員体制）」44.7%

やや満足が高い：該当無し

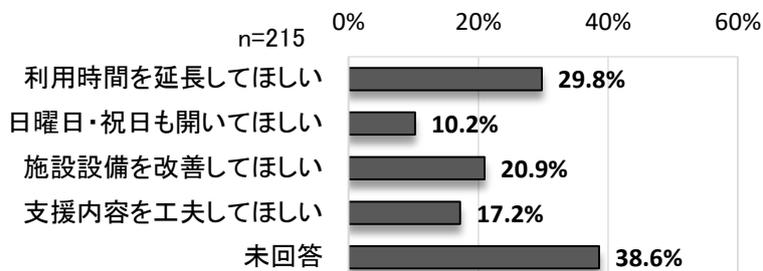
不満が高い：該当なし

となっており、全体的にほぼ満足されている状況となっています。



問 19 現在通っている放課後児童クラブ（学童保育）に対して次のような要望がありますか。（○は2つまで）

放課後児童クラブ（学童保育）への要望は、上位から「利用時間を延長してほしい」29.8%、「施設設備を改善してほしい」20.9%、「支援内容を工夫してほしい」17.2%となっています。

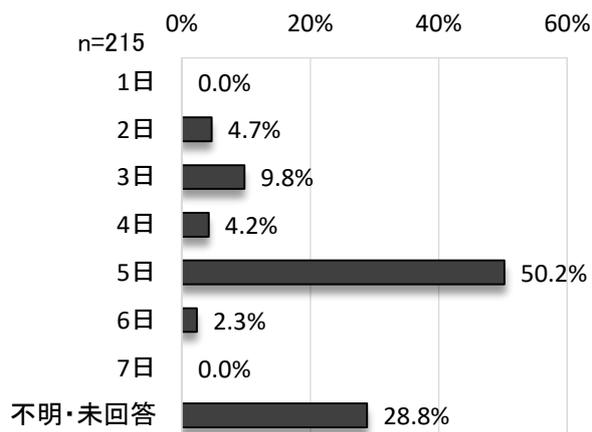


問 20 受け取られたお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後児童クラブの利用希望はありますか。平日（小学校終了後）、土曜日、日曜日・祝日、夏休み・冬休みなどの長期休暇それぞれについてご記入ください。平日は、週当たり日数をご記入ください。また、それぞれの利用を希望する時間もご記入ください。※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

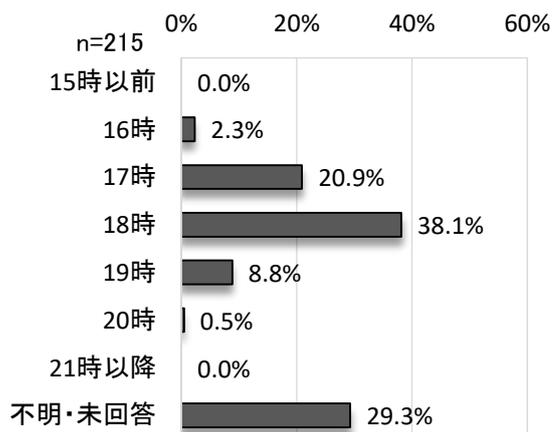
### （1）平日

小学校高学年の放課後児童クラブの利用希望をみると、週当たりの希望日数「5日」50.2%が最も高い割合となっています。下校時からの希望する終了時間は「18時」38.1%、次いで「17時」20.9%となっています。

#### ●週当たりの利用希望日数（数量回答）



#### ●希望する利用終了時間（数量回答）



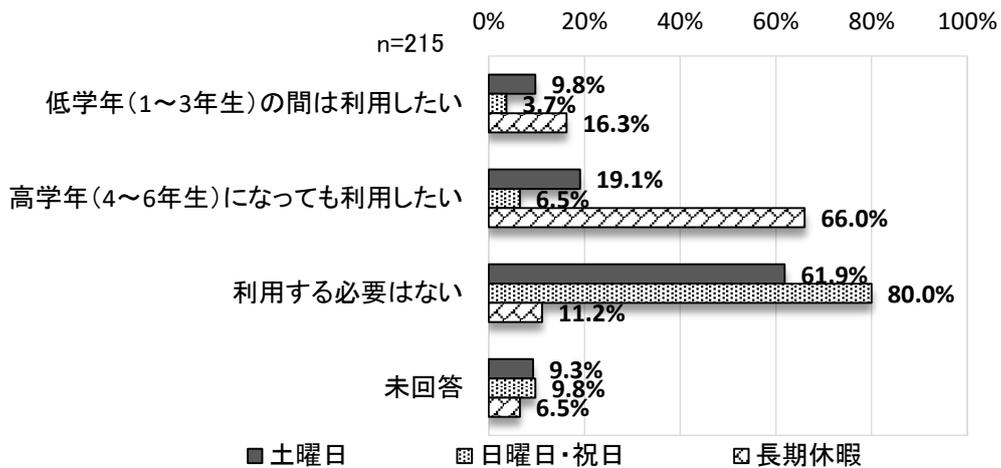
(2) 土曜日・日曜日・夏休み・冬休みなどの長期休暇

小学校高学年の放課後児童クラブの利用希望をみると、土曜日と日曜日・祝日はそれぞれ「利用する必要はない」の割合が最も高くなっています。長期休暇は、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が最も高い割合となっています。

希望する利用開始時間をみると、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇の全てにおいてそれぞれ「8時」の割合が高くなっています。

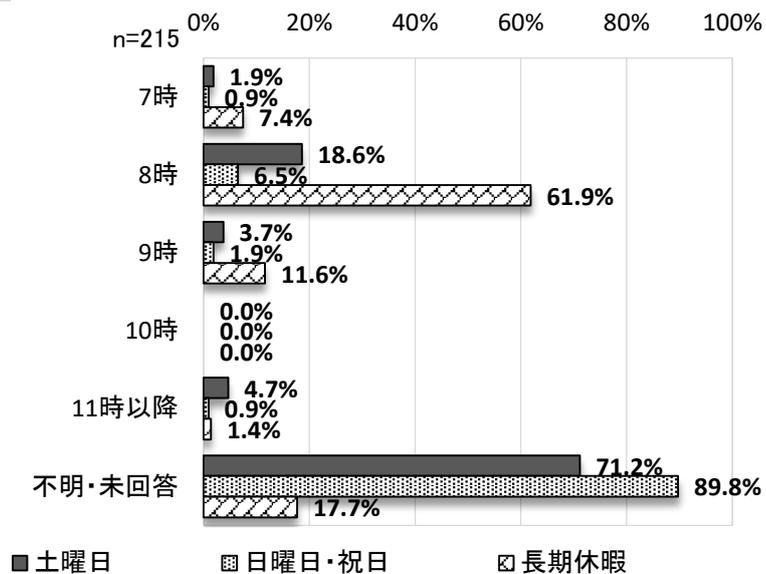
希望する利用終了時間を見ると、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇の全てにおいて「18時」の割合が高くなっています。

●利用の希望（1つに○）

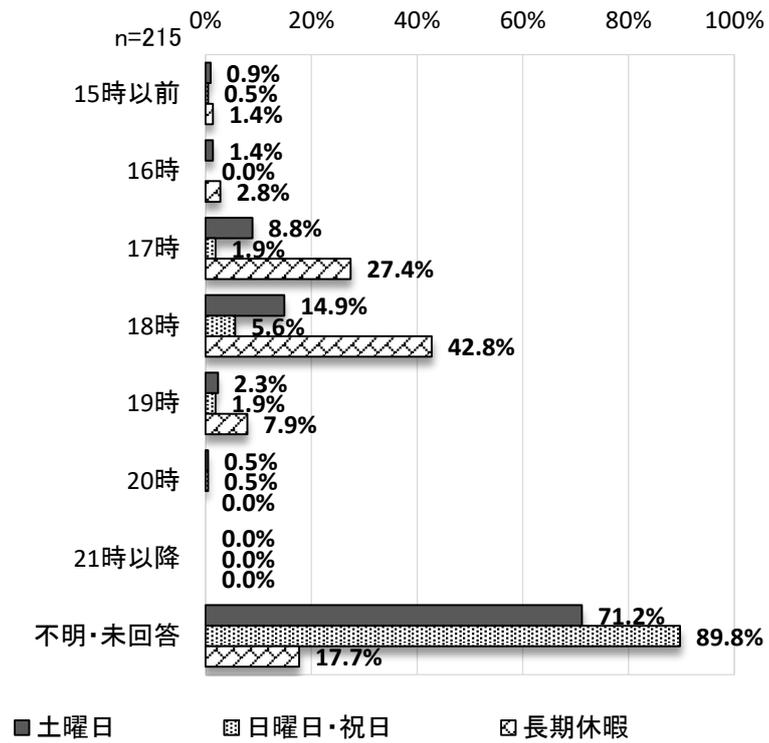


●希望する利用開始時間（数量回答）

※「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」と答えた方



●希望する利用終了時間（数量回答）



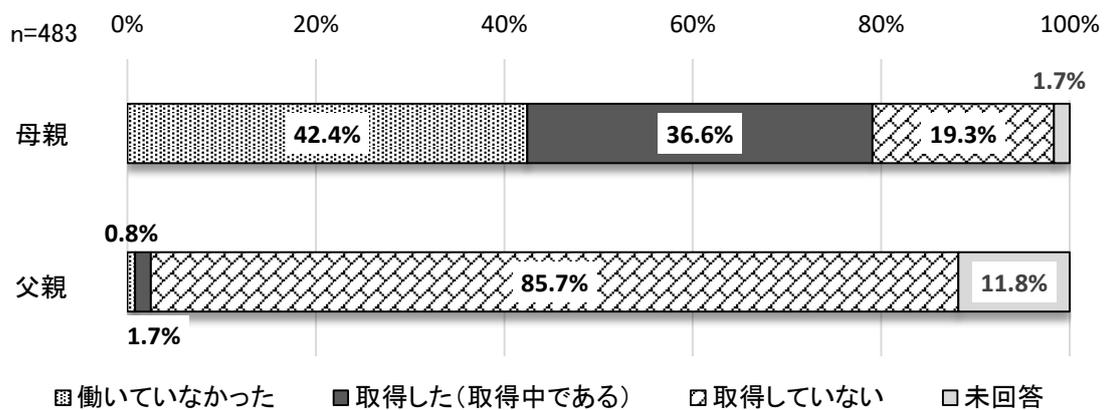
すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など  
職場の両立支援制度についておうかがいします

問 21 受け取られたお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。

また、取得していない方はその理由をご記入ください。

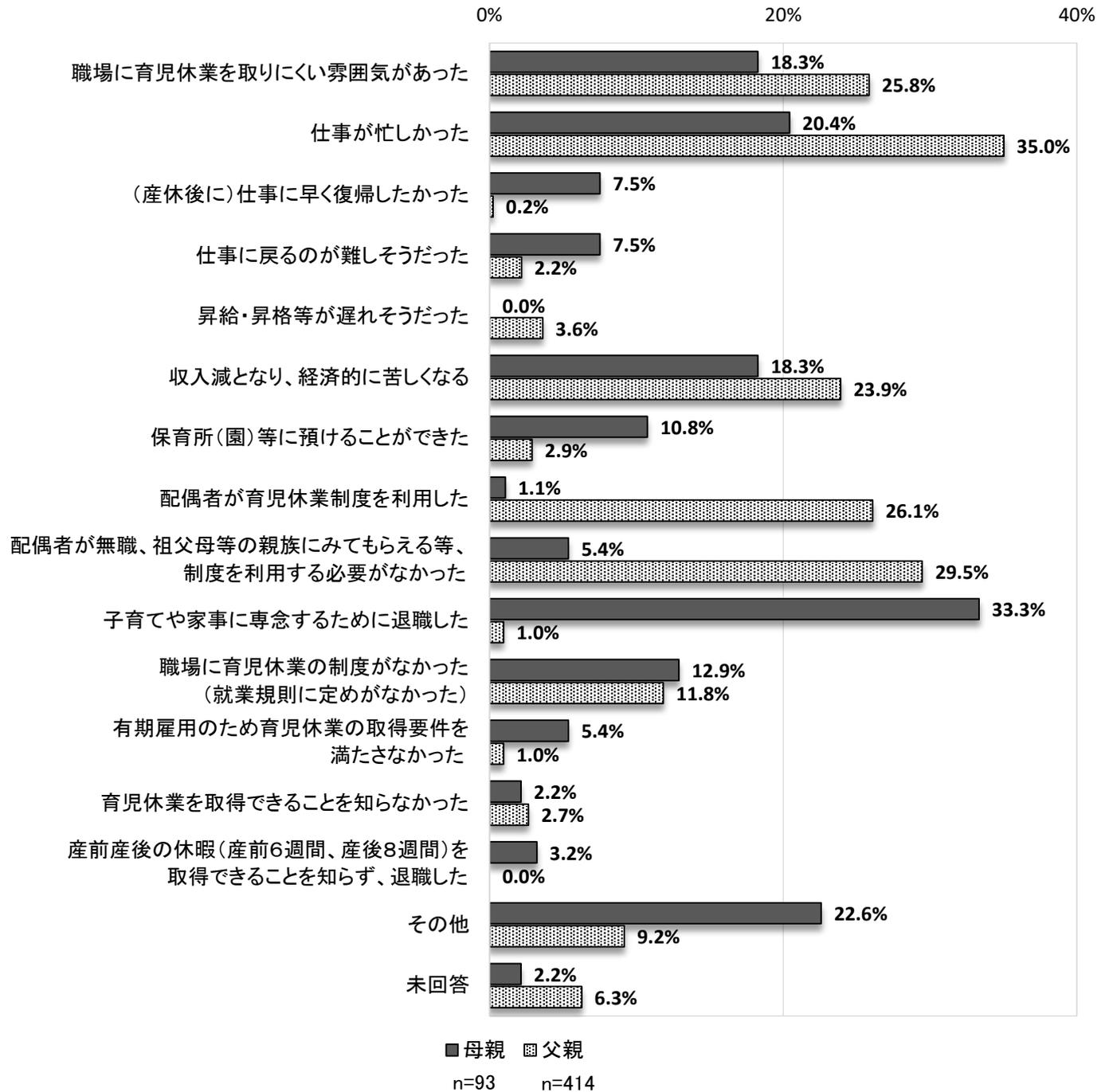
■ 育児休業の取得状況（1つに○）

子どもが生まれた時の保護者の育児休暇取得状況は、母親「働いていなかった」42.4%、父親「取得していない」85.7%の割合が最も高くなっています。「取得した（取得中である）」は、母親36.6%、父親1.7%となっています。



■取得していない理由（あてはまるものすべてに○）

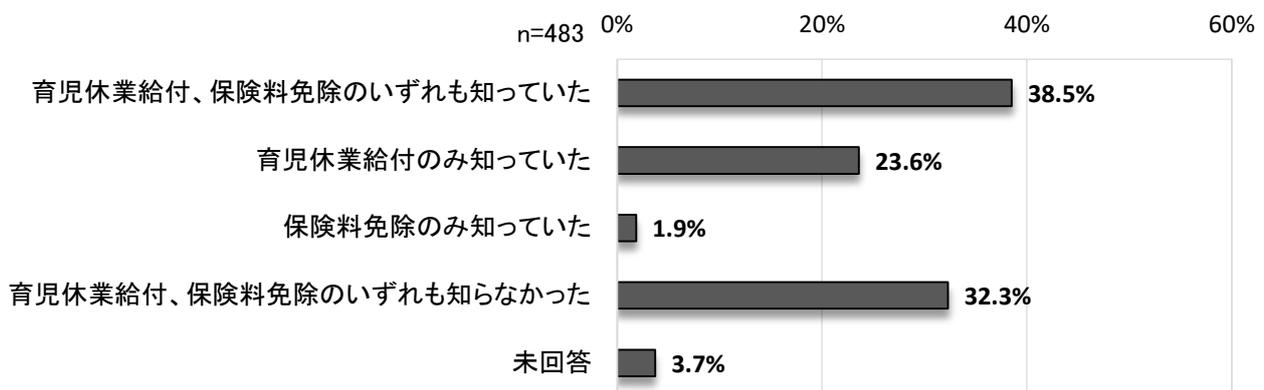
育児休業を取得していない理由は、母親では「子育てや家事に専念するために退職した」33.3%が最も割合が高く、父親では「仕事が忙しかった」35.0%が最も高く、次いで「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」29.5%となっています。



問21-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6カ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組みや、子どもが満3歳になるまでの育児休業など（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）の期間に健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

（1つに○）

育児休業給付や保険料免除の仕組みの認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」38.5%の割合が最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」32.3%となっています。

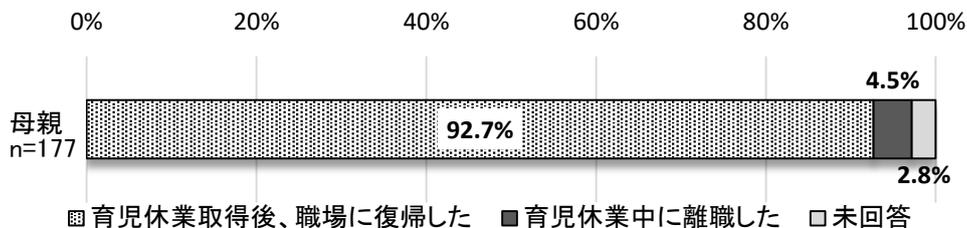


問 21-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(1つに○)

※問 21 で「2. 取得した(取得中である)」と答えた方

育児休業取得後については、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」92.7%とほとんどを占め、父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」に4件の回答がありました。

●母親



●父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
育児休業取得後、職場に復帰した	4	50.0%
育児休業中に離職した	1	12.5%
未回答	3	37.5%
<b>合計</b>	<b>8</b>	<b>100.0%</b>

問 21-3 育児休業からは「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。  
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

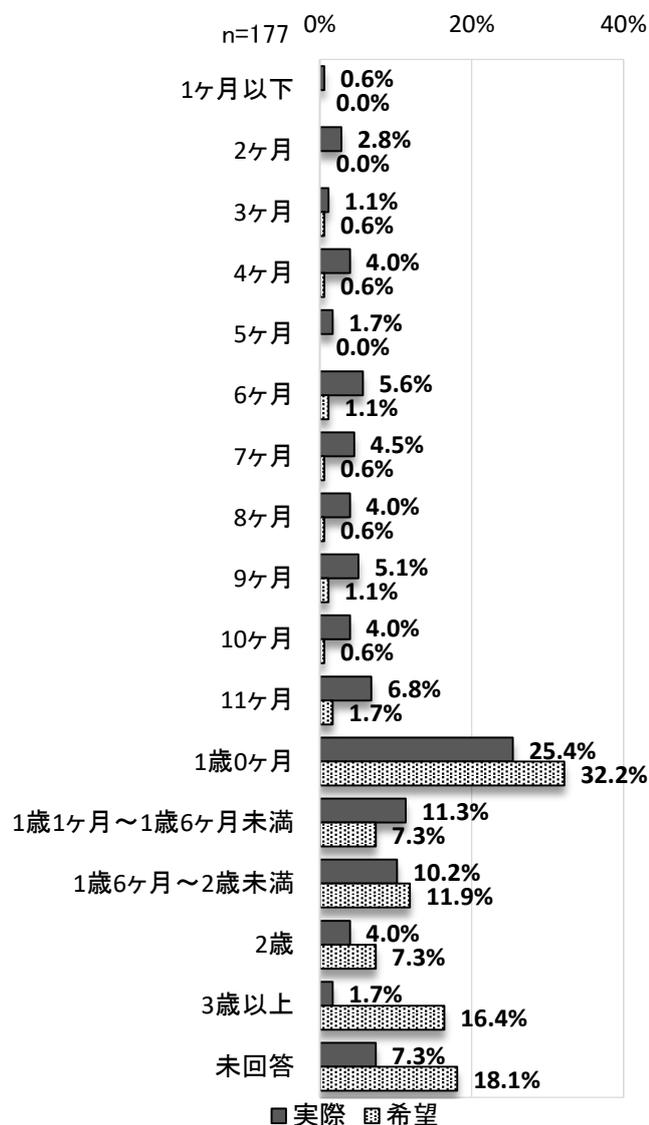
※問 21 で「2. 取得した(取得中である)」と答えた方

■ 職場復帰した時の子どもの年齢 (数量回答)

育児休業から実際に子どもが何歳何か月のときに職場復帰したかは、母親の回答は実際と希望ともに「1歳0ヶ月」の割合が最も高くなっています。父親の回答は実際が「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月未満」に2件、希望が「1ヶ月以下」と「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月未満」にそれぞれ1件ずつ回答がありました。

● 母親

● 父親



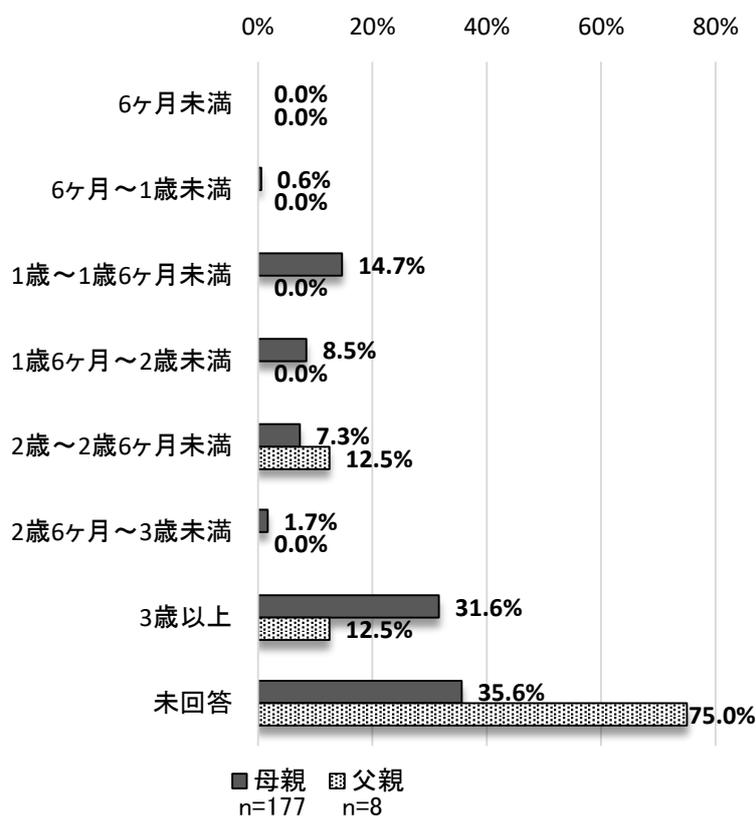
父親	実際		希望	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
1ヶ月以下	1	12.5%	1	12.5%
2ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
3ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
4ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
5ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
6ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
7ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
8ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
9ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
10ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
11ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
1歳0ヶ月	0	0.0%	0	0.0%
1歳1ヶ月～1歳6ヶ月未	2	25.0%	1	12.5%
1歳6ヶ月～2歳未満	0	0.0%	0	0.0%
2歳	0	0.0%	0	0.0%
3歳以上	0	0.0%	1	12.5%
未回答	5	62.5%	5	62.5%
合計	8	100.0%	8	100.0%

問 21-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

※問 21 で「2. 取得した(取得中である)」と答えた方

■ 3歳まで取得できる制度があった場合、職場復帰を希望する子どもの年齢（数量回答）

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、何歳何か月まで取りたかったかについては、母親は「3歳以上」31.6%の割合が最も高く、父親は「2歳～2歳6ヶ月未満」と「3歳以上」が共に12.5%となっています。



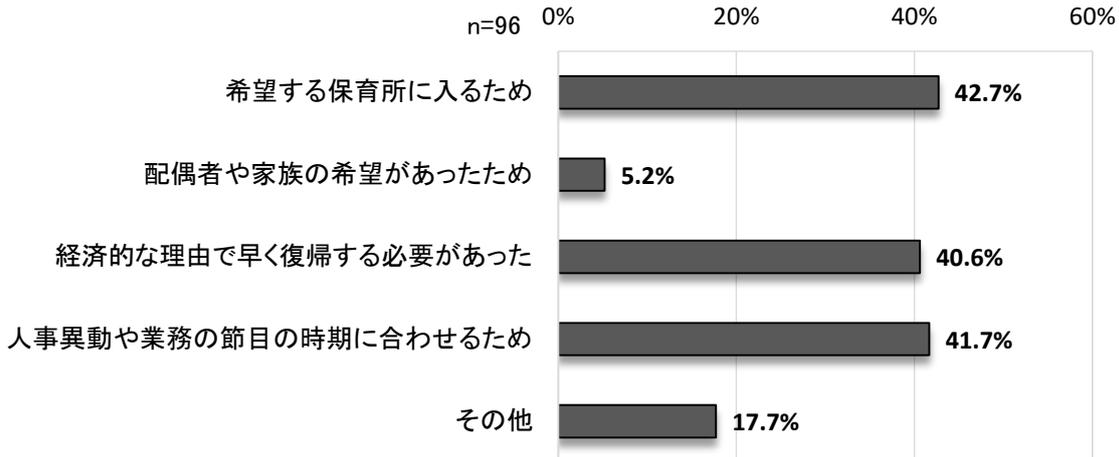
問 21-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についておうかがいします。

※問 21-3 で実際の復帰と希望が異なる方

■ 「希望」より早く復帰した方（あてはまるものすべてに○）

母親の回答で、希望より早く復帰した方は、上位から「希望する保育所に入るため」42.7%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」41.7%、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」40.6%となっています。父親の回答で、希望より早く復帰した方は、「経済的な理由で早く復帰する必要がある」に1件の回答がありました。

● 母親



● 父親

希望より早く復帰	父親	
	件数	割合 (%)
希望する保育所に入るため	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
経済的な理由で早く復帰する必要がある	1	100.0%
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	0	0.0%
その他	0	0.0%
<b>合計</b>	<b>1</b>	<b>100.0%</b>

■ 「希望」より遅く復帰した方（あてはまるものすべてに○）

母親の回答で、希望より遅く復帰した方は、「希望する保育所に入れなかったため」に4件の回答がありました。父親の回答はありませんでした。

希望より遅く復帰	母親	
	件数	割合 (%)
希望する保育所に入れなかったため	4	50.0%
自分や子ども等の体調が思わしくなかったため	1	12.5%
配偶者や家族の希望があったため	1	12.5%
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	0	0.0%
子どもをみてくれる人がいなかったため	2	25.0%
その他	1	12.5%
<b>合計</b>	<b>9</b>	<b>112.5%</b>
	<b>n=</b>	<b>8</b>

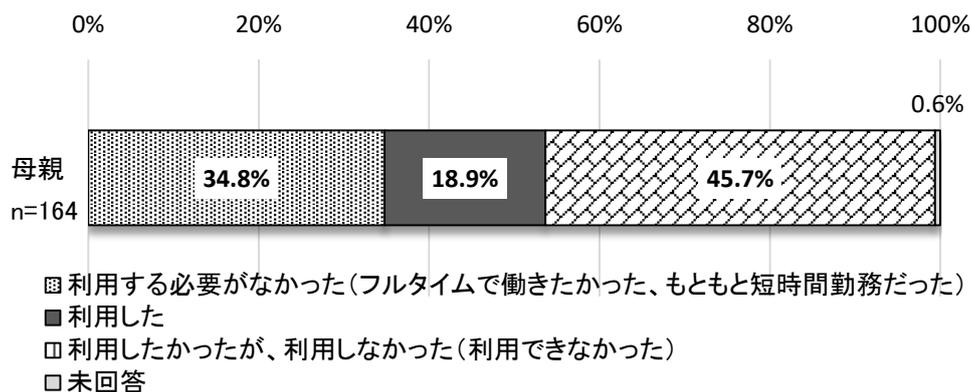
問 21-6 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに○)

※問 21-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と答えた方

短時間勤務制度について、母親は「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」45.7%と割合が最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」34.8%となっています。

父親は「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」に2件の回答がありました。

●母親



●父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	2	50.0%
利用した	0	0.0%
利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	1	25.0%
未回答	1	25.0%
<b>合計</b>	<b>4</b>	<b>100.0%</b>

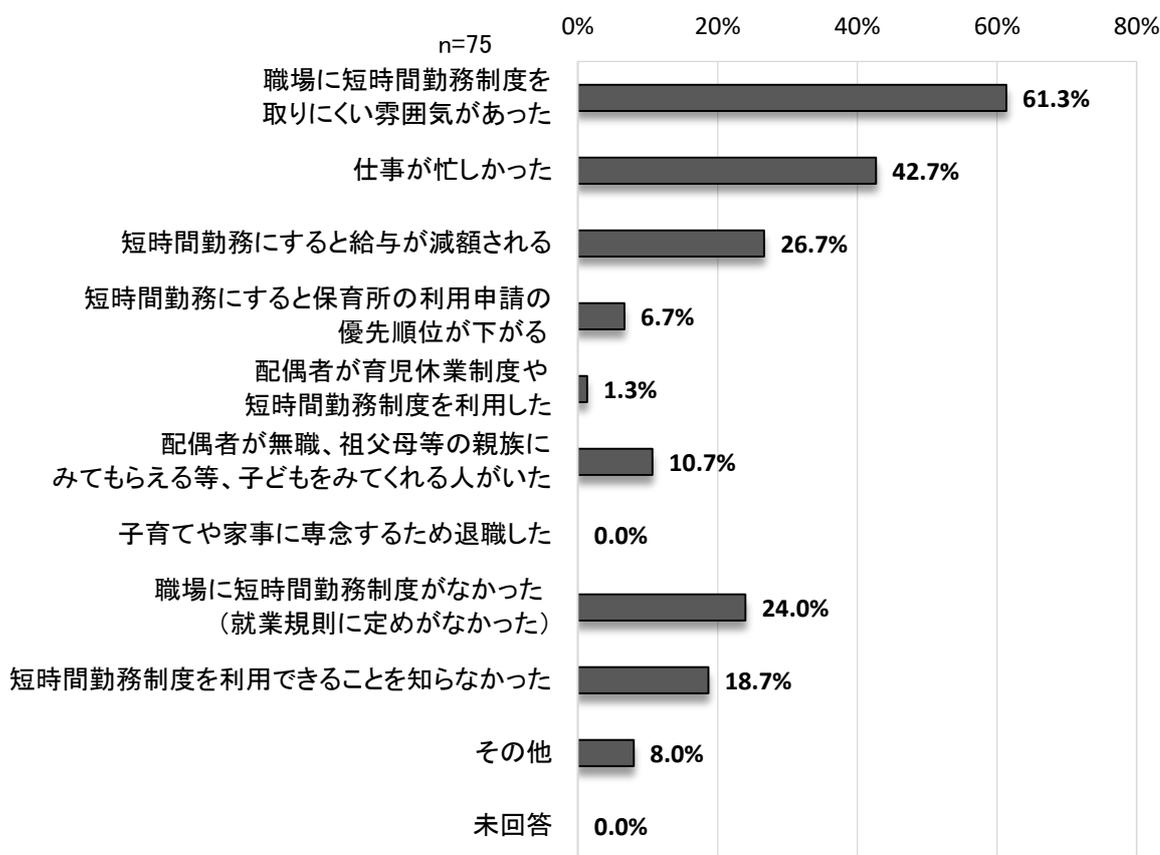
問 21-7 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。  
 （あてはまるものすべてに○）

※問 21-6 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と  
 答えた方

短時間勤務制度を利用しなかった理由については、母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」61.3%の割合が最も高く、次いで「仕事が忙しかった」42.7%となっています

父親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「短時間勤務にすると給与が減額される」「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」それぞれに1件の回答がありました。

●母親

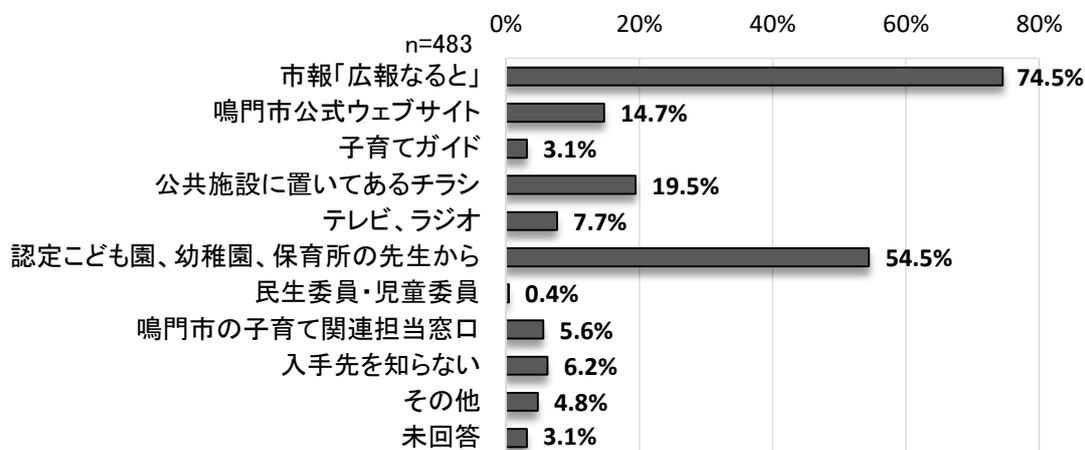


●父親

回答	父親	
	件数	割合 (%)
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1	100.0%
仕事が忙しかった	1	100.0%
短時間勤務にすると給与が減額される	1	100.0%
短時間勤務にすると保育所の利用申請の優先順位が下がる	0	0.0%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	1	100.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、子どもをみてくれる人がいた	0	0.0%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	0	0.0%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
未回答	0	0.0%
合計	4	400.0%
	n=	1

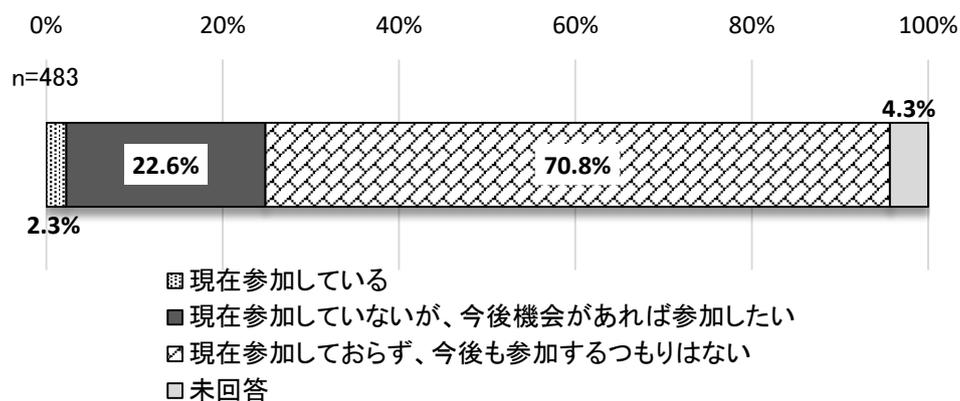
問 22 あなたは、鳴門市の子育てに関する情報はどこから入手していますか。  
 (あてはまるものすべてに○)

鳴門市の子育てに関する情報の入手先は、「市報『広報なると』」74.5%が最も多く、  
 次いで「認定こども園、幼稚園、保育所の先生から」54.5%となっています。



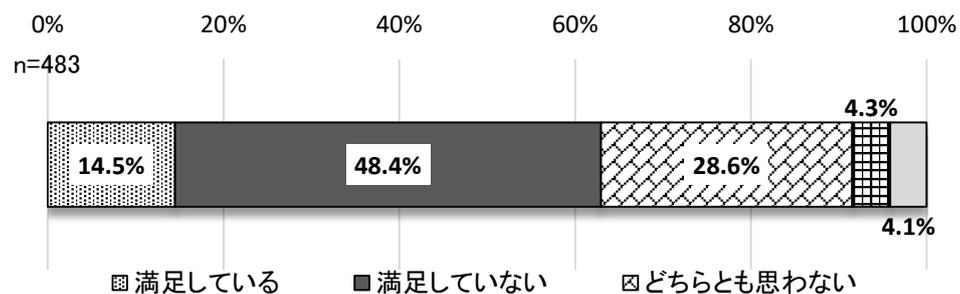
問 23 あなたは、子育てサークルなど自主的な活動に参加していますか。(1つに○)

子育てサークルなどの自主的な活動への参加については、「現在参加しておらず今後も参加するつもりはない」70.8%が最も多くなっています。



問 24 お住まいの地域における子どもの遊び場に関して満足していますか。(1つに○)

子どもの遊び場に関しては、「満足していない」48.4%の割合が最も高く、次いで「どちらとも思わない」28.6%となっています。

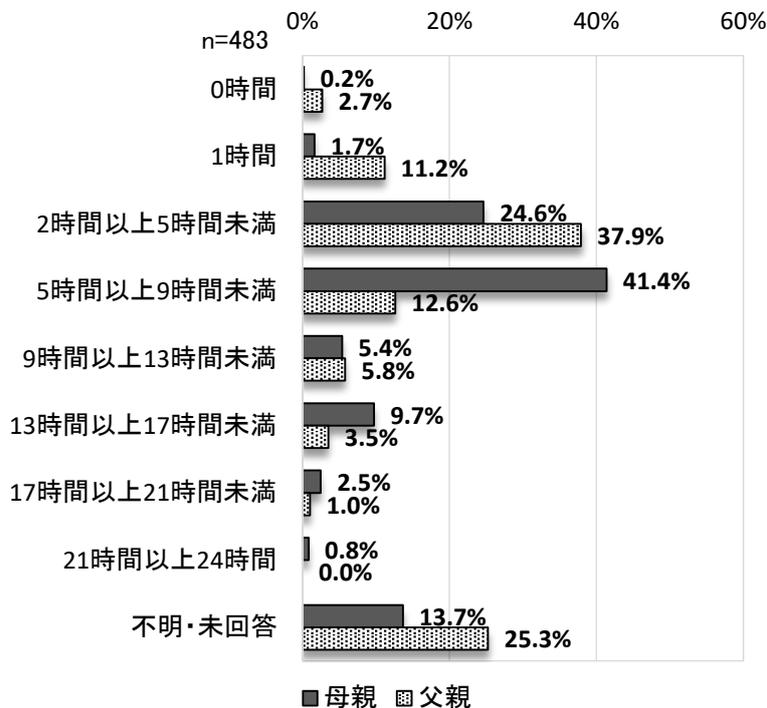


## 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス） についておうかがいします

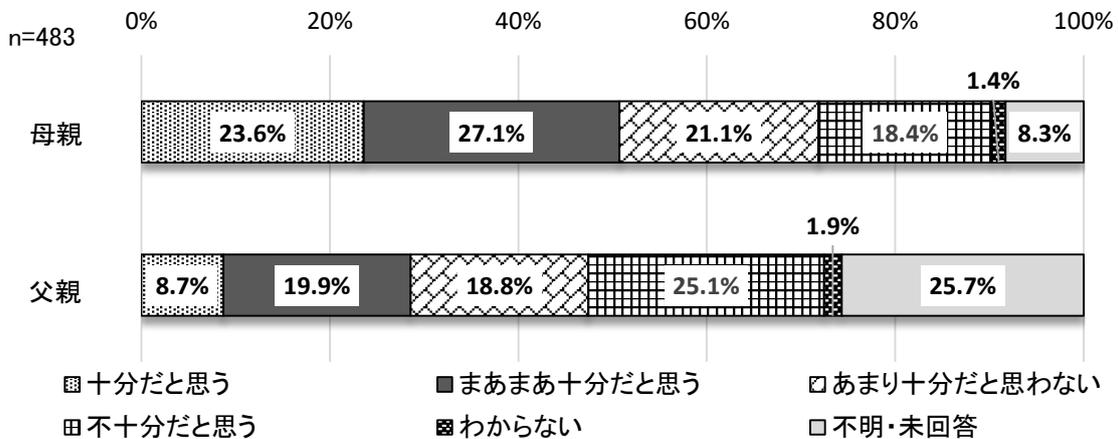
問 25 1日当たりの子どもと一緒に過ごす時間はどのくらいですか。枠内に数字でご記入ください。（1週間の平均的な時間をお答えください。）また、その時間は十分だと思いますか。

子どもと一緒に過ごす時間は、母親「5時間以上9時間未満」41.4%で最も割合が高く、父親「2時間以上5時間未満」37.9%となっています。その時間を十分と思うかは、母親「まあまあ十分と思う」27.1%が最も多く、父親「まあまあ十分と思う」19.9%となっています。

### ●子どもと一緒に過ごす時間（数量回答）

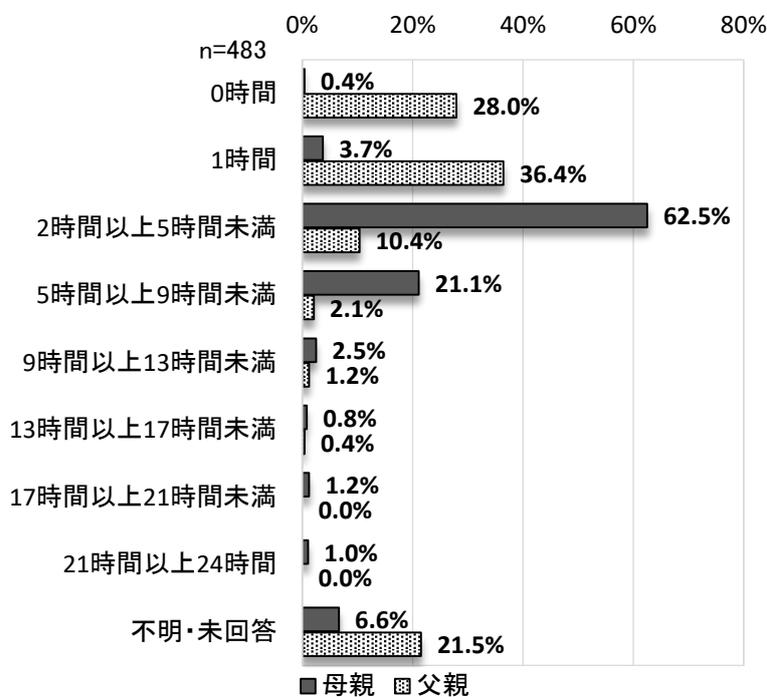


### ●子どもと一緒に過ごす時間への認識（1つに○）



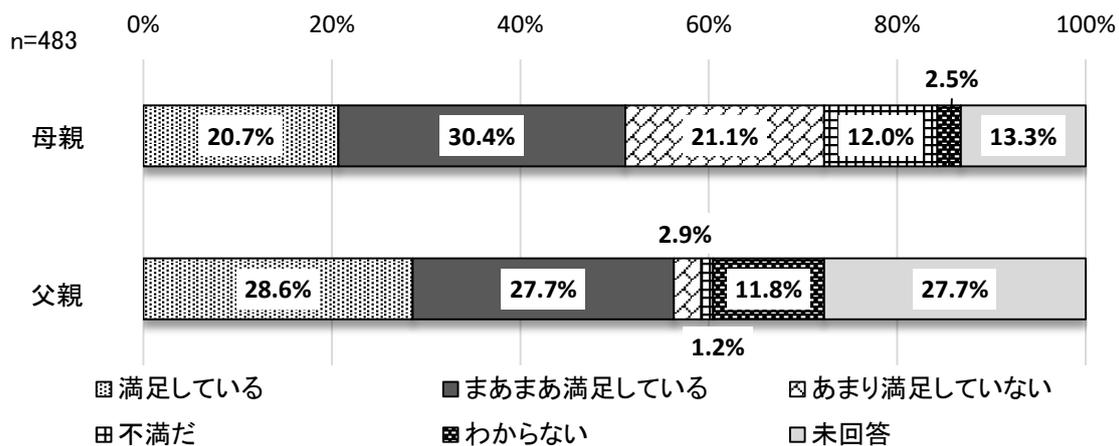
問 26 1日当たりの家事を何時間くらいしますか。枠内に数字でご記入ください。  
 (1週間の平均的な時間をお答えください。) (数量回答)

1日当たりの家事については、母親では「2時間以上5時間未満」62.5%が最も多く、次いで「5時間以上9時間未満」21.1%、父親が「1時間」36.4%、次いで「0時間」28.0%となっています。



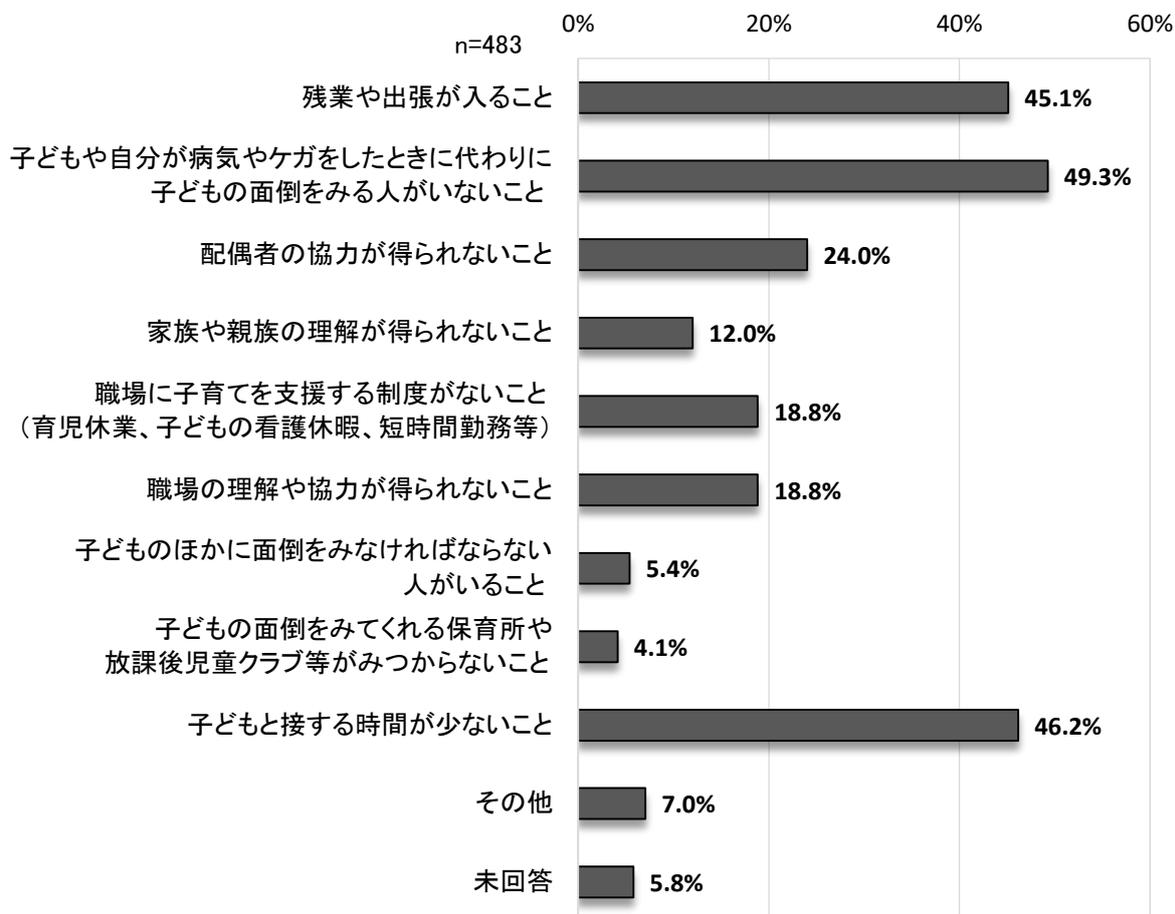
問 27 配偶者との家事、育児分担に満足していますか。(1つに○)

配偶者との家事、育児分担の満足度は、母親では「まあまあ満足している」30.4%の割合が最も高く、父親では「満足している」28.6%となっています。



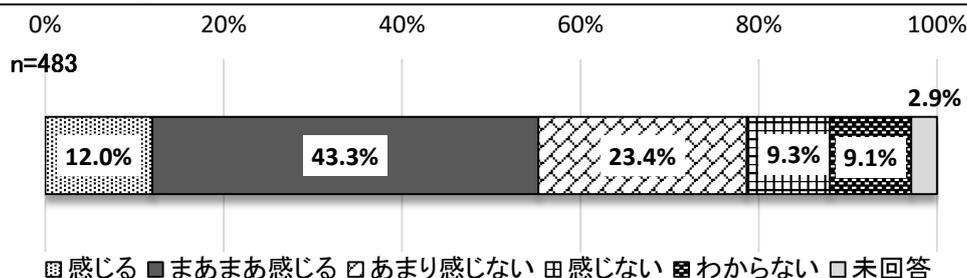
問 28 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で大変だと思うことは何ですか。  
 現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。  
 (あてはまるものすべてに○)

仕事と子育ての両立で大変なことは、上位から「子どもや自分が病気やケガをしたときに代わりに子どもの面倒をみる人がいないこと」49.3%、「子どもと接する時間が少ないこと」46.2%、「残業や出張が入ること」45.1%となっています。



問 29 あなたの家庭では、仕事と生活の調和が図られていると感じますか。  
 現在仕事をされていない方は、仕事をしている場合のイメージでお答えください。  
 (1つに○)

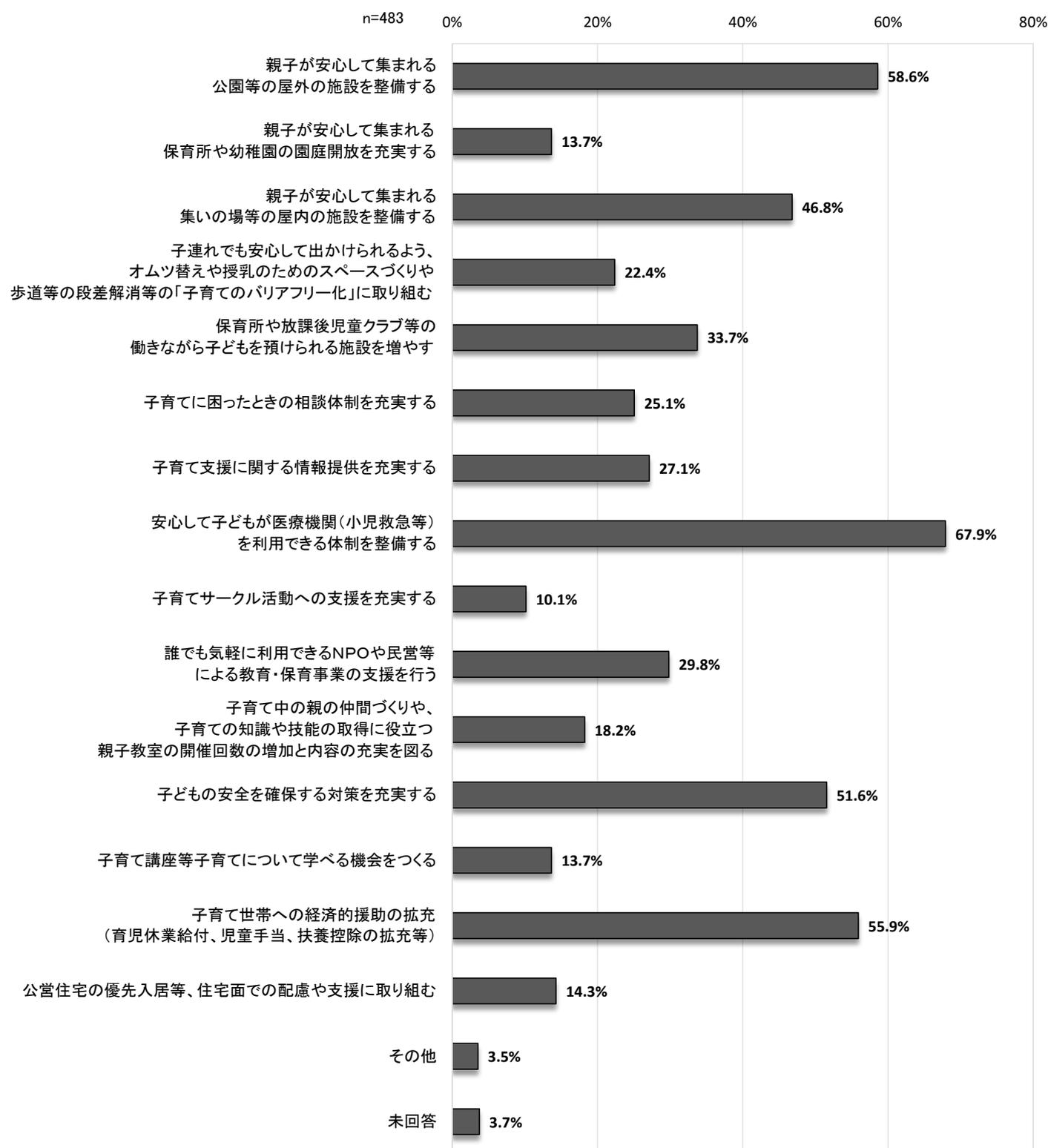
仕事と生活の調和については、「まあまあ感じる」43.3%の割合が最も高く、次いで「あまり感じない」23.4%となっています。



## 行政への要望

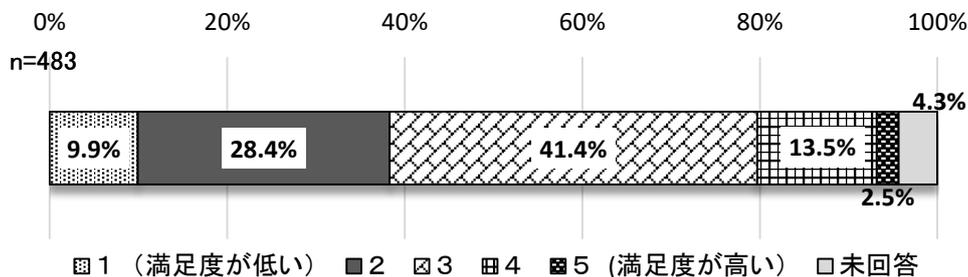
問 30 行政に対して、子育て支援の現状やあなたの子育て経験などから、どのような支援策の充実を図って欲しいですか。（あてはまるものすべてに○）

希望する支援策に関しては、上位から「安心して子どもが医療機関（小児救急など）を利用できる体制を整備する」67.9%、「親子が安心して集まれる公園などの屋外の施設を整備する」58.6%、「子育て世帯への経済的援助の拡充（育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充など）」55.9%となっています。



問 31 鳴門市における子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。(1つに○)

鳴門市での子育ての環境や支援への満足度については、「満足度 3」41.4%の割合が最も高くなっています。



#### IV 自由記載

鳴門市の子育て支援に希望することや、子育てで困っていることなどがありましたら、自由にご記入ください。

(全回答数：507件)

■子育て支援サービスについて(回答数：158件)

- ・相談しやすい、相談できる人や場所をわかりやすく情報に出してほしい。(8件)
- ・発達に関しての相談をした時、情報不足、回答の内容など物足りないと感じた。(8件)
- ・子どもの年代別向けのイベントがあると良い。(7件)
- ・どのような補助制度があるのかわからない。(7件)
- ・情報発信の仕方を充実させるべきだ。(6件)
- ・突発的な出来事が生じたときに、すぐに助けを求めることができる体制があると心強い。(5件)
- ・専業主婦の場合、使える制度や施設が限られているし、サポートも十分でない。(5件)

■子育て支援施設について(公園を含む)(回答数：134件)

- ・もっと気楽に安く預けられる所がほしい。(30件)
- ・雨の日に遊びに行ける屋内施設をつくってほしい。(25件)
- ・公園の整備、遊具の整備、トイレの整備。(20件)
- ・土・日祝実に子どもを預かってもらえる施設がほしい。(15件)
- ・鳴門市にプールがほしい。(12件)
- ・近くに公園がない。(10件)
- ・発達障がいの子どもの集まれる施設や支援があればいい。(8件)

■経済的支援・援助について(利用料を含む)(回答数：124件)

- ・医療費面での援助。中学卒業まで無料だとい。(17件)
- ・医療費面での援助。中学卒業まで無料だとい。(17件)
- ・預かり事業の保育料が高い。(15件)
- ・児童手当の充実を希望する。(11件)
- ・経済的援助を拡充してほしい。(10件)
- ・経済的援助。(10件)
- ・保育料が高すぎる。(9件)
- ・無償化の年齢を長くしてほしい。(高校卒業まで)(7件)
- ・学校や児童クラブ利用料が高い。(7件)
- ・インフルエンザの予防接種を無料にしてほしい。

■幼稚園・保育所について(回答数：77件)

- ・通常・休暇期間もあわせて、預かり時間が短い。(28件)
- ・保育所の質に差があり過ぎる。(8件)
- ・保育所に4月入所でないとい入れない。育休をきりあげなければならない。(7件)
- ・保育士の数が少ない。(7件)
- ・建物の整備。(5件)

■行政について(回答数：50件)

- ・市の窓口の改善。(10件)
- ・図書館の本を充実してほしい。(8件)
- ・道路の整備、歩道の整備。(5件)
- ・道路整備など、子どもの身の安全を守る環境づくりが必要だと思う。(5件)
- ・スムーズに申請や手続きができるように努力してほしい。(4件)
- ・治安にもっと配慮してほしい。(4件)
- ・公共交通機関を使用しやすくしてほしい。(3件)

■放課後児童クラブについて(回答数：48件)

- ・指導員の方にばらつきがある。(11件)
- ・児童クラブが3年生までしか入れなくて困っている。(11件)
- ・長期休暇のみ、利用できるようにしてほしい。(11件)
- ・児童クラブの利用時間を19時や20時までにしてほしい。(10件)
- ・開始と終了時刻が通勤時刻に間に合わない。(8件)
- ・学校内に児童館を置いてほしい。(5件)

■医療関係・検診関係について(回答数：44件)

- ・検診の充実。(数を増やす、5～6歳までの育児相談など)(16件)
- ・小児救急医療体制の整備。(13件)
- ・夜間救急の際、小児をみてもらえる施設が少ない。(10件)
- ・小児科、内科が休日でも受信できるようにしてもらいたい。(9件)

■病児保育について(回答数：37件)

- ・病児保育は定員が少なすぎるので増やしてほしい。(18件)
- ・病児保育を充実させてほしい。(時間延長、土日の預かり、小児科との併設)(12件)
- ・病児保育の受け入れサービスを増やしてほしい。(7件)

■学校・教育について(回答数：35件)

- ・教育に力を入れてほしい。小学校、中学校、高校のレベルが低い。(13件)
- ・早く高校が自由に選べるようにしてほしい。(6件)
- ・将来の進路を考えると不安しかない。(4件)
- ・給食の改善。(4件)
- ・少しの距離の差で通学送迎バスが利用できないため、2.5kmの距離にある家庭において、低学年の子どもを徒歩で通わせるのは厳しい。(3件)

■その他(回答数：52件)

- ・今のままで満足している。楽しく子育てできている。(5件)
- ・仕事を忙しく、子どもと過ごす時間が少ない。(5件)
- ・LINEの情報はとても役立っている。(3件)
- ・鳴門市では子育てと仕事の両立が難しい。(3件)
- ・障がい者のことをもっともっと考えてもらいたい。(2件)
- ・私の両親に子どもの世話の負担がかかっている。